



地籍調査 基本手順書

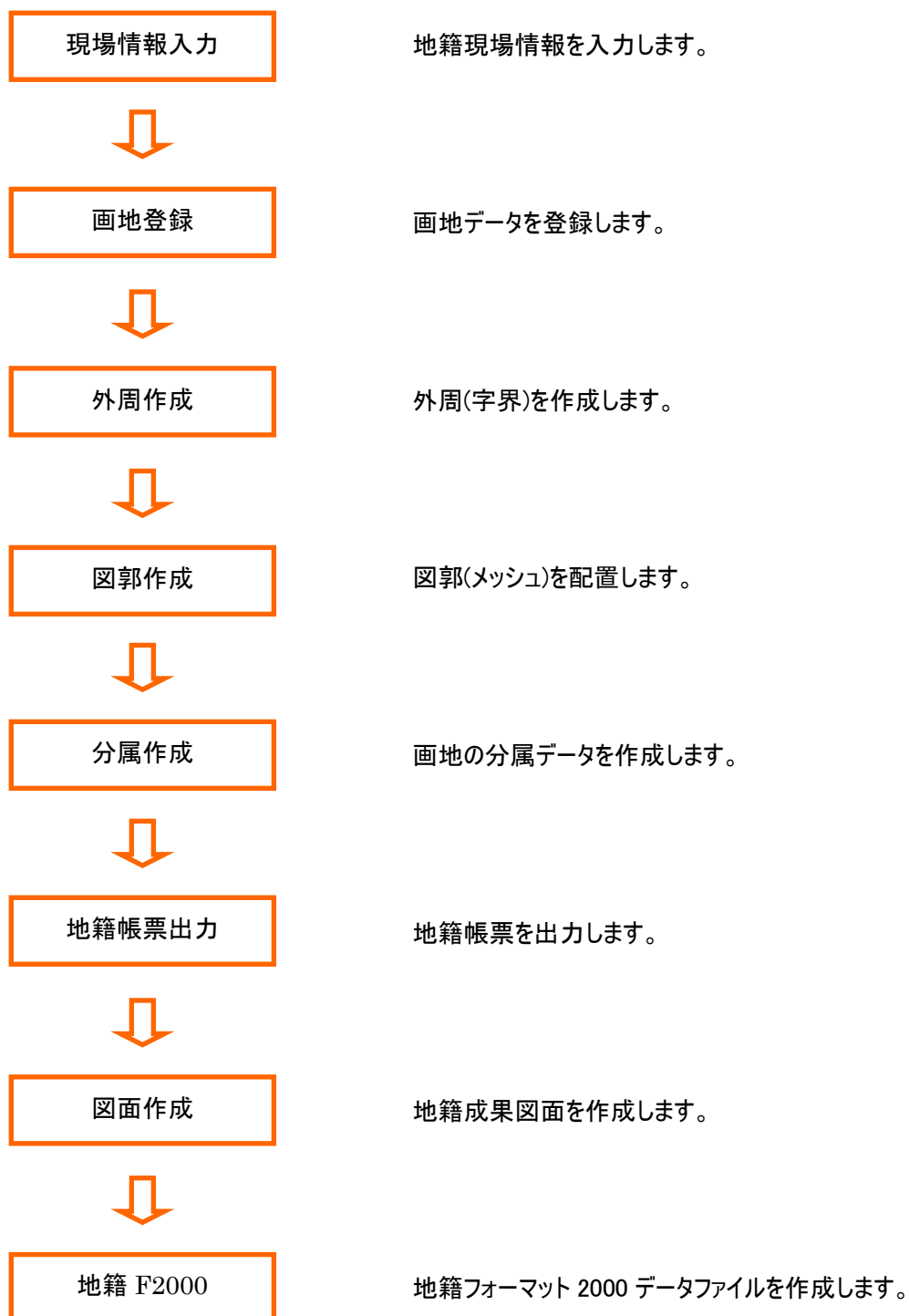
※解説内容がオプションプログラムの説明である
場合があります。ご了承ください。

目次

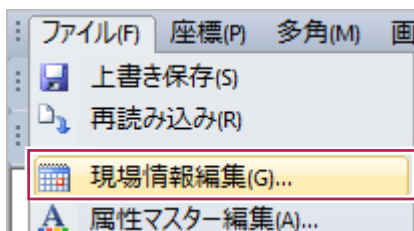
● 第1章	処理の流れ	…	1
● 第2章	現場情報入力	…	2
● 第3章	画地登録	…	4
● 第4章	画地構成のチェック	…	22
● 第5章	画地属性の設定	…	29
● 第6章	外周作成	…	38
● 第7章	図郭(メッシュ)作成	…	42
● 第8章	分属データ作成	…	49
● 第9章	筆界線分種別変更	…	50
● 第10章	共有者編集	…	51
● 第11章	地籍帳票の出力	…	53
● 第12章	図面作成	…	55
● 第13章	地籍フォーマット2000作成	…	78

● 第1章 処理の流れ

LamdMap/【地籍調査】の基本的な流れは以下の通りです。

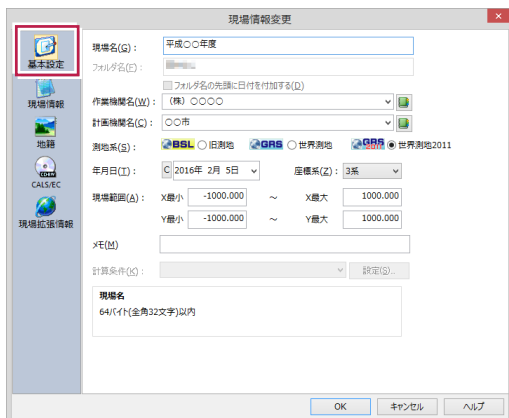


● 第2章 現場情報入力



【ファイル】-【現場情報編集】

(ア) 【現場情報変更】-【基本設定】



【現場名】…現場名称を入力します。

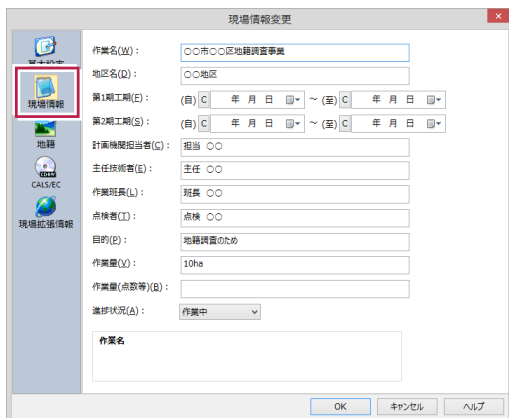
【作業機関名】…作業機関名を入力します。

【計画機関名】…計画機関名を入力します。

【年月日】…本日日付が自動表示されます。

【座標系】…座標系を選択します。

(イ) 【現場情報変更】-【現場情報】



【作業名】… 作業名を入力します。地籍測定点検記録表用の項目です。

【地区名】… 地区名を入力します。地籍測定点検記録表用の項目です。

【第1期工期】【第2期工期】…工期の開始日～終了日を入力します。

【計画機関担当者】… 計画機関担当者を入力します。

【主任技術者】… 主任技術者を入力します。地籍測定点検記録表用の項目です。

【作業班長】… 作業班長を入力します。

【点検者】… 点検者を入力します。地籍測定点検記録表用の項目です。

【目的】… 作業目的を入力します。

【作業量】… 作業量を入力します。地籍測定点検記録表用の項目です。

(ウ) 【現場情報変更】-【地籍】

現場情報変更

調査年月日(I): C 年 月 日 調整年月日(A): C 年 月 日
 測図年月日(O): C 年 月 日 一筆略図日(Q): C 年 月 日
 記入年月日(E): C 年 月 日

地籍図タイトル(T):

市区町村コード(C): 12345 地区番号(B): 123
 都道府県名(D): 市郡名(N):
 町村名(M): 市区町村略称(S): 江
 維持管理者(K): 維持 記入者(L): 記入
 測量面積(S): 10ha
 街区点測量面積(G): 5ha 旧図郭を使用する(Q)

調査年月日
地籍で使用します

OK キャンセル ヘルプ

- 【調査年月日】… 地籍図、筆界点番号図、平板確定図の右下欄に作図されます。
- 【測図年月日】… 地籍図、筆界点番号図、平板確定図の右下欄に作図されます。
- 【調整年月日】… 調整年月日を入力します。
- 【一筆略図日】… 一筆座標面積計算書用の項目となります。
- 【記入年月日】… 記入年月日を入力します。
- 【地籍図タイトル】… 地籍図、筆界点番号図の左上タイトル部に作図されます。
- 【市区町村コード】… 総務省が定める固有の5桁のコードを入力します。

市区町村コードの参照

都道府県名(K) 東京都
 市区町村(C) 江東区
 コード 13108

OK キャンセル ヘルプ

- 【地区番号】… 地区番号を入力します。
- 【都道府県名】… 都道府県名を入力します。
- 【市郡名】… 確定用地目別面積集計表用の項目です。
- 【町村名】… 確定用地目別面積集計表用の項目です。
- 【市区町村略称】… 地籍図、筆界点番号図の左上・右下の図郭名左に作図されます。
- 【維持管理者】… 維持管理者を入力します。
- 【記入者】… 記入者を入力します。
- 【測量面積】… 測量範囲の概略の面積を入力します。

● 第3章 画地登録

画地は、[画地]－[画地登録]や SIMA データの取り込みで登録します。

ここでは、地籍用に用意された特徴的な画地登録の方法を説明します。

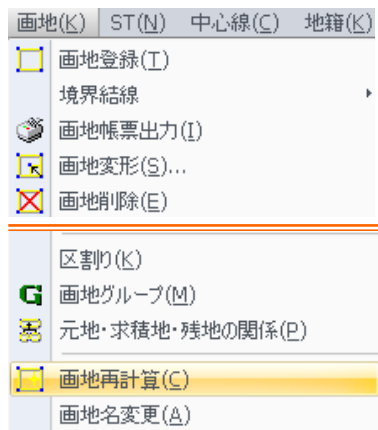
1. [画地再計算]:画地の回り方向を一括で右回りにします。
2. [境界結線]:長狭物(道・水)は、[境界結線]で簡単に画地の登録ができます。
3. 筆界未定地の登録方法
4. [筆界線分種別変更]:境界線種別(区切り線・鎖線)を設定する方法。
5. [画地移動回転]:CAD 的な操作で、画地の位置合わせができます。
6. [公図画地抽出]:公図から画地形状を抽出して登録します。

3-1 [画地]－[画地再計算]

- ・登録されている画地の回り方向・面積の再計算がおこなえます。
- ・登録されているすべての画地の回り方向を一括で右回りにできます。

注意

地籍フォーマット2000では「筆・長狭物図形情報」ファイルのデータは、【右回りに格納する】ことになっています。
[画地]－[画地登録]や SIMA データの取り込みなどで、回り方向を気にすることなく登録した後に、一括で右回り(時計回り)にできます。



回り方向・・・ 【そのまま】【時計回り】【反時計回り】から選択します。

三斜面積の再計算・・・ 【行う】【行わない】から選択します。

最北の境界点を開始点とする・・・ 回り方向を変更する場合の開始点を、最北(X座標の大きい)の点に変更します。

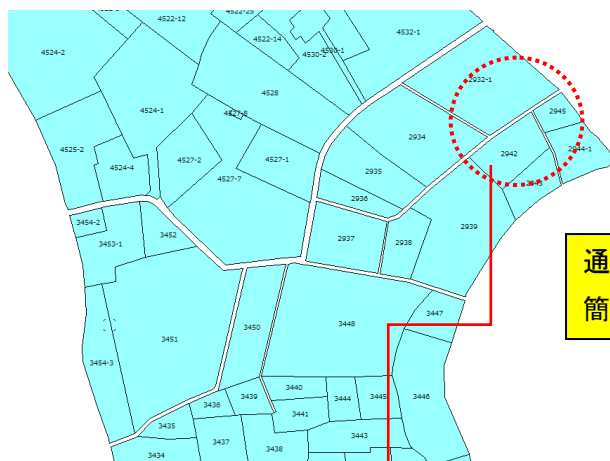
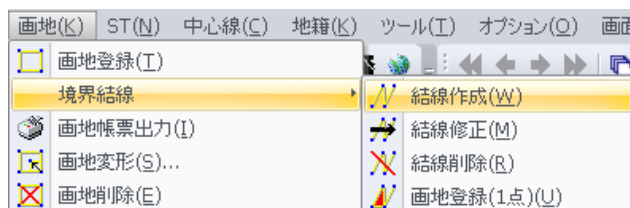
3-2 [境界結線]

[画地]－[境界結線]で、通常画地の境界点を利用して長狭物(道・水)を簡単に登録することができます。

注意

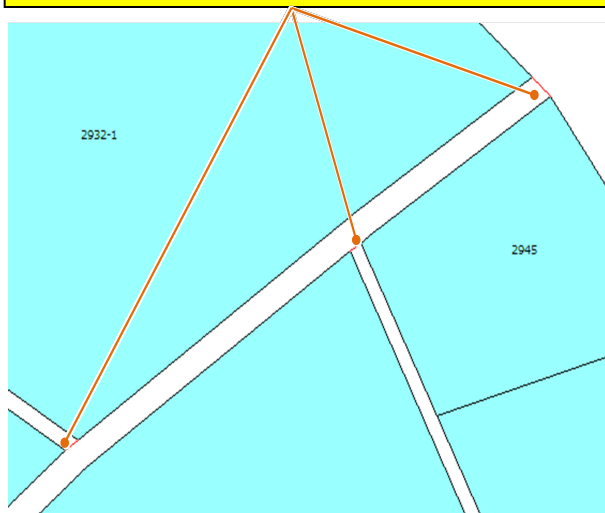
街区単位で画地が登録されているような場合に、長狭物の境界となる箇所に結線をすることで長狭物の登録ができます。

長狭物の場合は、画地登録で指示する測点が多く入力が煩雑になります。また、SIMA データなどで長狭物が登録されていない場合などで利用します。



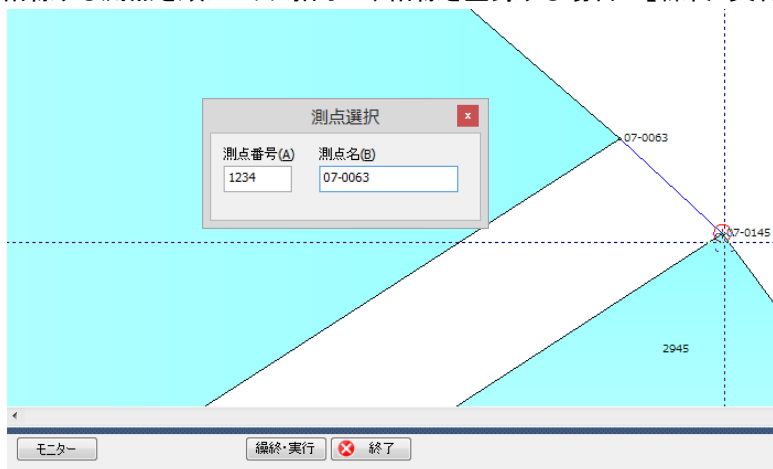
通常画地の間にある、道(長狭物の画地)を簡単に登録したい。

[境界結線]－[結線作成]で、長狭物の区切り線を結線入力します。
区切り線は、長狭物の1筆書きができるように適当な個所に入力します。



(1) [画地]－[境界結線]－[結線作成]

結線する測点を順にマウス指示し、結線を登録する場合は【線終・実行】を指示します。

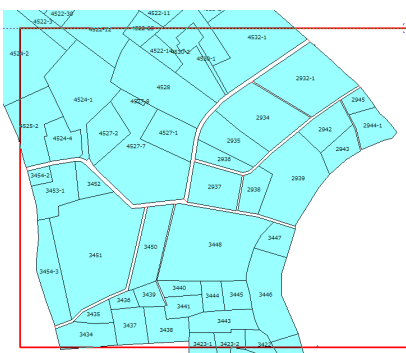


結線を終了する場合は【終了】を指示します。

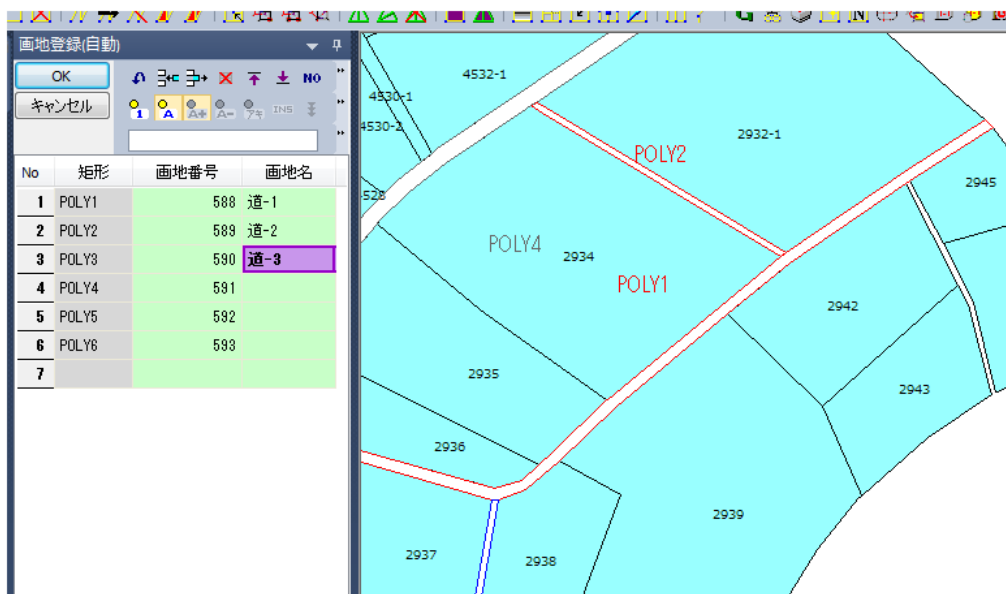
(2) [画地]－[境界結線]－[画地登録(自動)]

長狭物を抽出する範囲を2点で指示します。

抽出された画地に画地名を入力して登録をします。



画地となる閉図形の領域が POLY * で作成されますので、画地名を入力して登録を行います。



3-3. 筆界未定地の登録方法

[画地]－[画地登録]で、境界が確定しない画地を囲む、または、道路と境界が確定しない場合は仮の境界で区切るようにして画地を登録します。

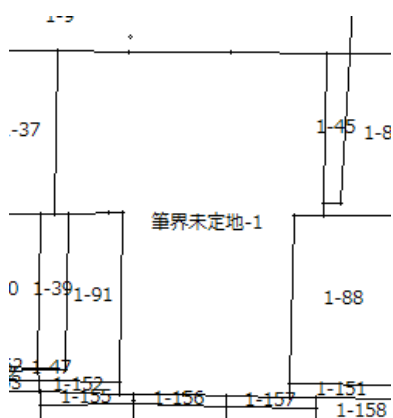
- ・画地属性の筆状態を「3:筆界未定地」に設定します。
- ・画地属性の筆界未定地番名に、境界が確定しない画地を“+”を区切り文字として登録します。

画地属性	
画地番号	1
画地名	筆界未定地-1
地目	92:その他
大字	1:中本町
小字	1:五丁目
精度区分	1:甲1
筆界未定地番名	1-36+1-59+1-60+1-61+1-83+1-84+1-89+1-90
筆状態	3:筆界未定地

注意

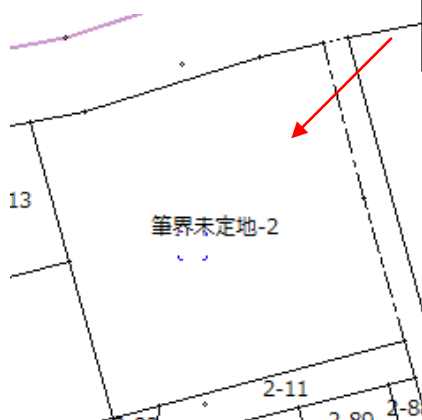
地籍フォーマット 2000 では、筆界未定地の仮地番名は「筆界未定地-n」(nは1からの連番)で登録することが勧められています。

道路との境界が未定な個所は、筆界線分種別を「鎖線」に設定します。



境界が確定しない画地を囲む例

画地属性	
画地番号	1
画地名	筆界未定地-1
地目	92:その他
大字	1:中本町
小字	1:五丁目
精度区分	1:甲1
筆界未定地番名	1-36+1-59+1-60+1-61+1-83+1-84+1-89+1-90
筆状態	3:筆界未定地

道路と境界が確定しない例
確定しない境界は「鎖線」に設定します。

画地属性	
画地番号	169
画地名	筆界未定地-2
地目	24:未定地
大字	1:中本町
小字	1:五丁目
精度区分	1:甲1
筆界未定地番名	2-5+道-8
筆状態	3:筆界未定地

3-4. [筆界線分種別変更]

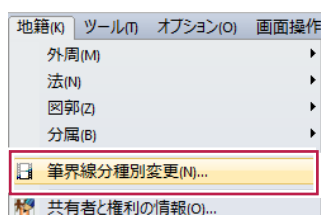
[地籍]－[筆界線分種別変更]で筆の境界線分の種別(区切り線・鎖線)を設定して、地籍フォーマット 2000(筆・長狭物図形情報ファイル)に線分種別を出力します。

(1) 変更したい線分の種別を選択します

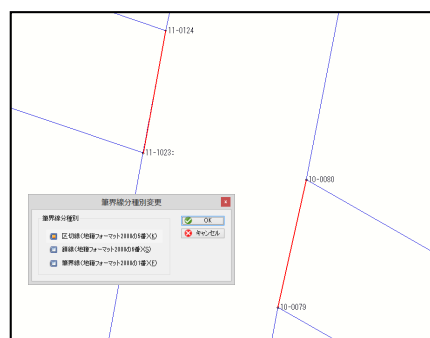
【区切線】 長狭物の区切りの境界線

【鎖線】 筆界が未確定の境界線

【筆界線】 筆界線に戻します。

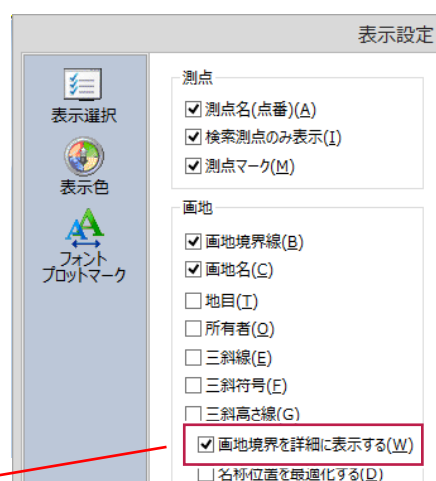
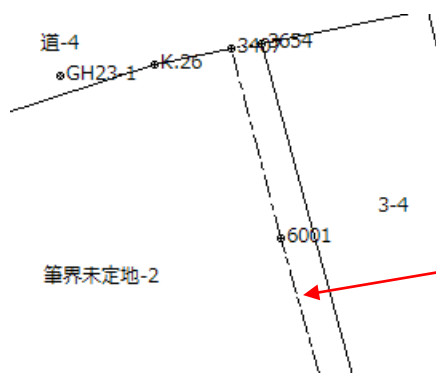


(2) モニター上から、線分の種別を変更したい境界を選択します(複数可)(右図)の赤い箇所【OK】ボタンで、対象線分が変更されます。



(3) [設定]－[表示設定]の画地の項にある

[画地境界を詳細に表示する]のチェックをオンにしますと、線種の表現が変わり線分種別が確認できるようになります。



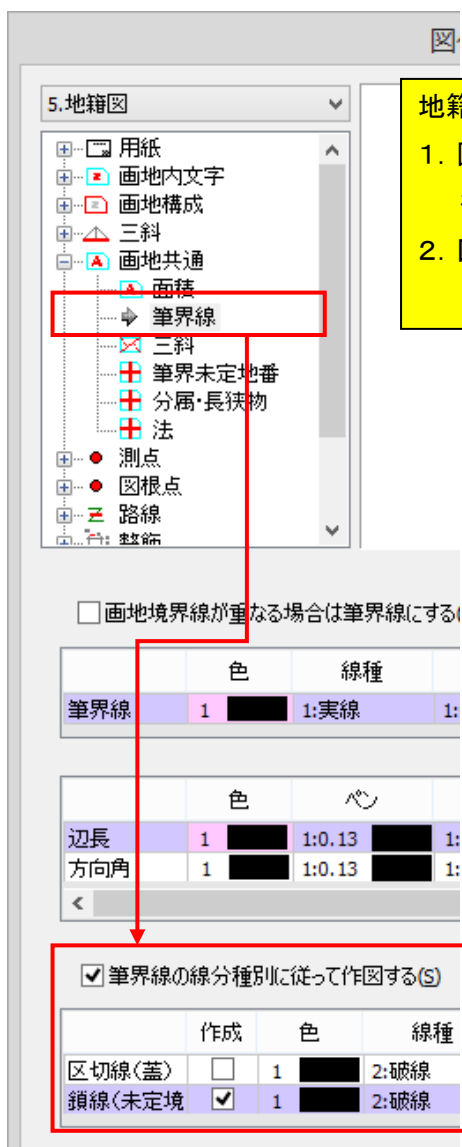
注意

線分種別の「字界」は、[地籍]－[外周]－[外周字界作成]で自動的に設定されます。
境界線が、字界線と(筆界線・区切り線・鎖線)で2重の定義になる箇所では、字界線が優先されます
(地籍フォーマット 2000 の線分種別は、字界として出力されます)。

【地籍図・番号図での線分種別の作図】

地籍図・番号図では、図化条件の設定により、区切り線・鎖線に該当する筆界線の表現が変更できます。

- (1) 区切り線・鎖線も筆界線(実線)として作図する。
- (2) 区切り線は筆界線を作図しない。鎖線は鎖線で作図する。



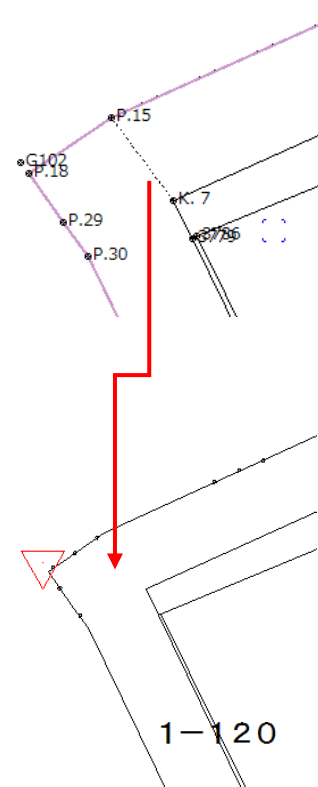
色	線種
1	1:実線

色	線種
1	1:0.13
1	1:0.13

作成	色	線種
<input type="checkbox"/>	1	2:破線
<input checked="" type="checkbox"/>	1	2:破線

地籍図・番号図を線分種別に従って作図する場合は、

1. 図化条件の[画地共通]－[筆界線]で、「筆界線の線分種別に従って作図する」のチェックをオンにします。
2. 区切線は、作成のチェックをオフにして区切り線を作図しないようにします。



線分種別に従って図化した場合は、区切り線の箇所に該当する筆界線を図面に作図しません。

3-5. [画地移動回転]

[画地]－[画地移動回転]－[画地1点移動]・[画地2点移動]・[画地回転]で、地図 XML や公図などのラスタから読み込んだ任意座標の画地データを、CAD 的な操作で位置合わせができます。



【画地1点移動】・・・

平行移動を行います。

【画地2点移動】・・・

移動・回転・拡大縮小を行います。

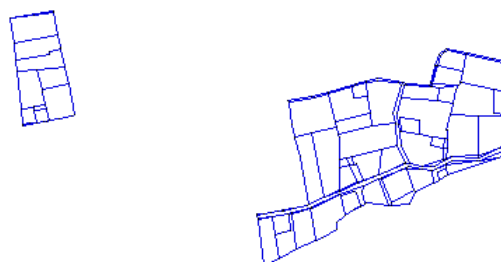
【画地回転】・・・

回転を行います。

注意

移動・回転・拡大縮小での位置合わせになります(形状の変形は行いません)。

地図 XML で取り込んだ画地の位置がずれているので、【画地2点移動】で位置合わせをします。

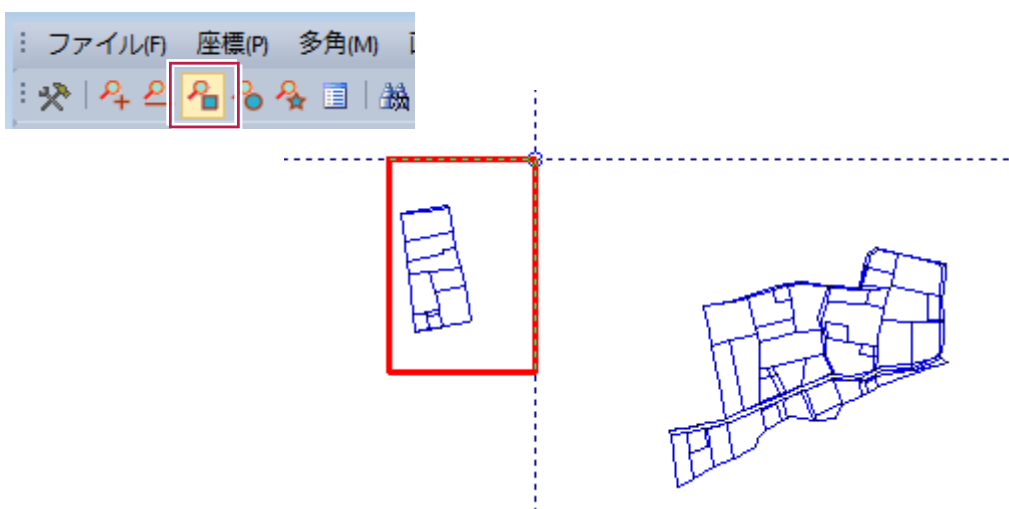


(1) 移動させる画地を選択します。

・移動させたい画地を選択します(繰り返し画地の選択ができます)。

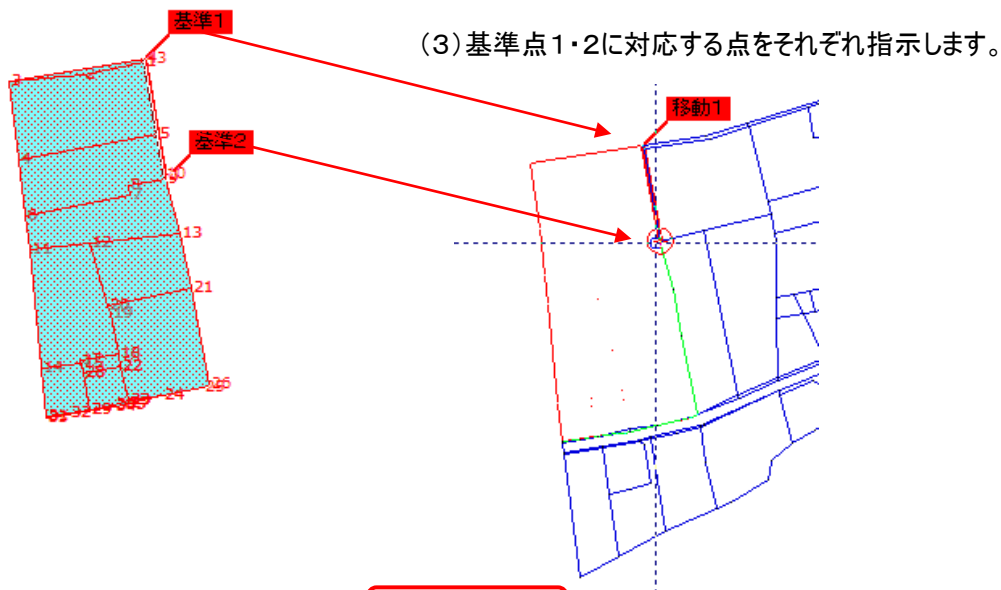
検索モードの切り替えで、矩形・多角形などの範囲検索に切り替えることができます。

・【F2】キーで画地の選択の指示が終了し、位置合わせの点の指示に移ります。

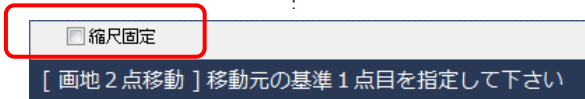


(2) 基準点1・2の指示をします。

・位置合わせのための2か所の点を指示します。



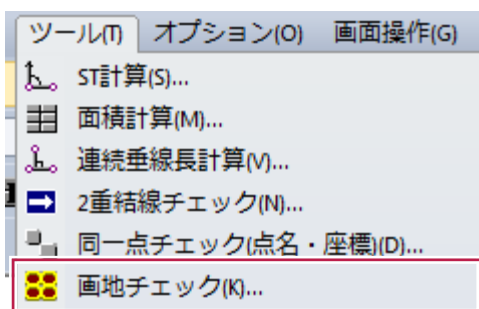
(3) 基準点1・2に対応する点をそれぞれ指示します。



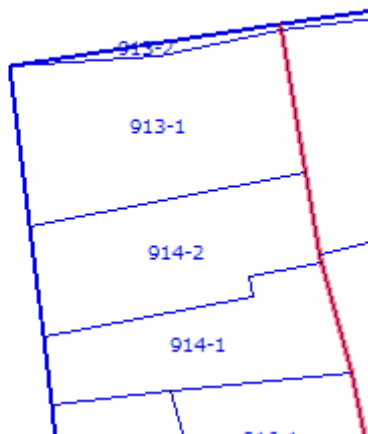
コマンドバーの「縮尺固定」のチェックがオフならば、基準点と移動点の比率で拡大縮小して位置合わせを行います。

(4) 同一点チェックで、2重になった座標を1点化します。

[ツール]ー[同一点チェック(点名・座標)]で、位置合わせで2重になった境界点を1点化します。



位置合わせの境界部分(下図赤線の箇所)が2重になりますので、1点化をします。



- ・同一座標の点を検索します。

座標が一致する判定基準(許容範囲)を設定して、検索を行います。

同一座標と判定された測点が一覧表示されます。

測点を確認して「1点化」を行います。

同一点検索

① 同一点名検索
 同一座標値検索

許容範囲: ② 下3桁まで 四捨五入
 標高は考慮しない

空白点名は無視する

No	点名	X座標	Y座標	標高
VF	274 43	-306.902	58.948	
VF	42 K-43	-306.902	58.948	
VF	240 1	-308.596	59.287	
VF	1 K-1	-308.596	59.287	

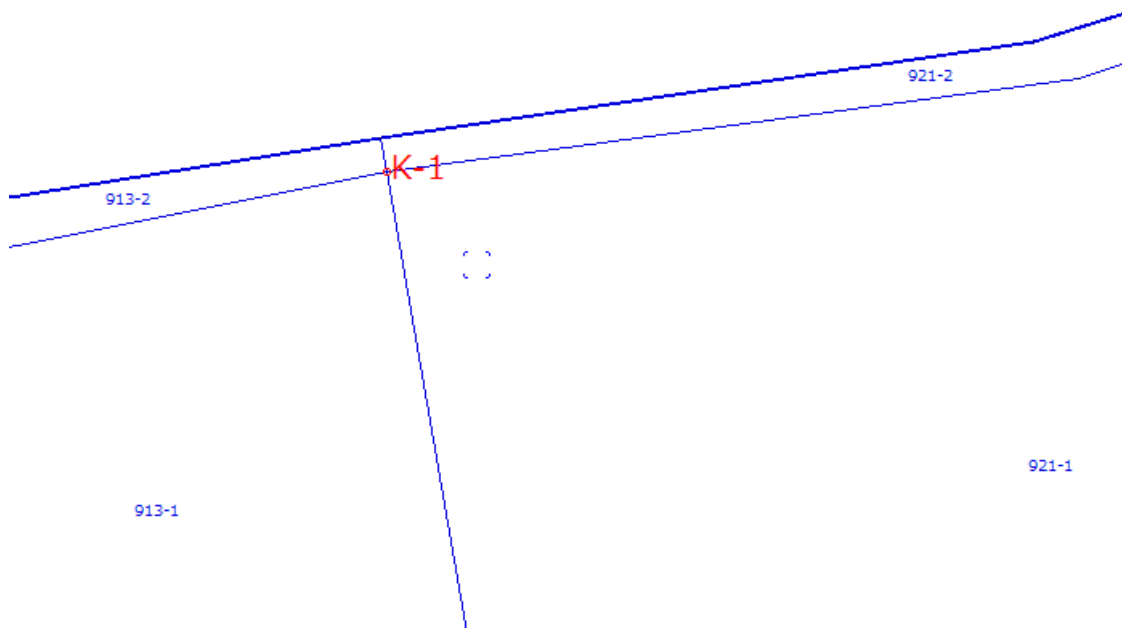
③ 検索実行
一括検索
検索範囲指定...

検索範囲: 全要素
ページ: 1/1

④ 点名変更... 点削除 一点化 モニター 座標シートへ 閉じる

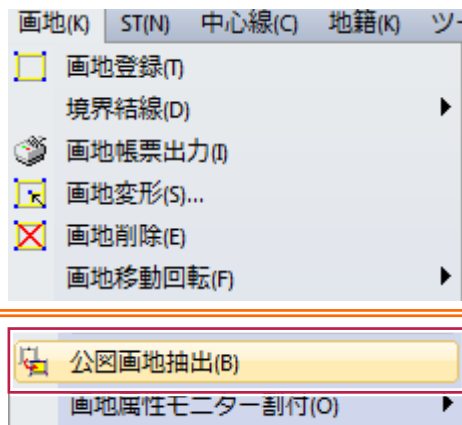
- ・1点化された測点で、関連する画地の結びも自動的に更新されます。

下図では、913-2と913-1の画地が、“K-1”の測点を境界点となるように更新されます。



3-6. [公図画地抽出]

[画地]－[公図画地抽出]で、ラスタ化されている公図などの画像データから画地形状を抽出し、画地の登録を行います。



注意

ラスタデータを[ファイル]－[画像]－[読み込み]などで読み込んでいる場合には、[公図画地抽出]コマンドの動作が変わります。

公図などでラスタに透かしなどが入っている場合には、[画像編集]で画像の編集が必要となる場合があります。

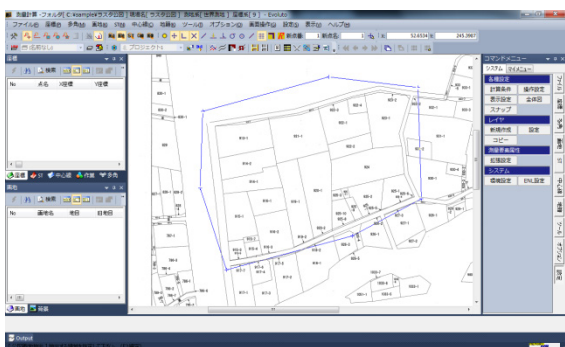
(1) [画地]－[公図画地抽出]でラスタを読み込み、画地を抽出する範囲を指示します。

・ラスタを読み込みます。

既に画像が読み込まれている場合には、画地の抽出範囲の指定から始まります。

・画地の抽出範囲を多角形で指定します。

範囲入力の終了は右ボタンで[確定]を選びます。

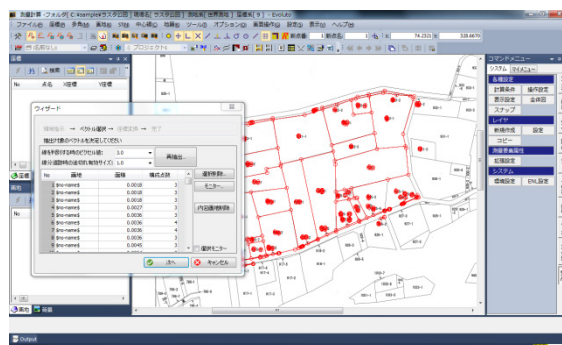


(2) 不要なゴミを削除します。

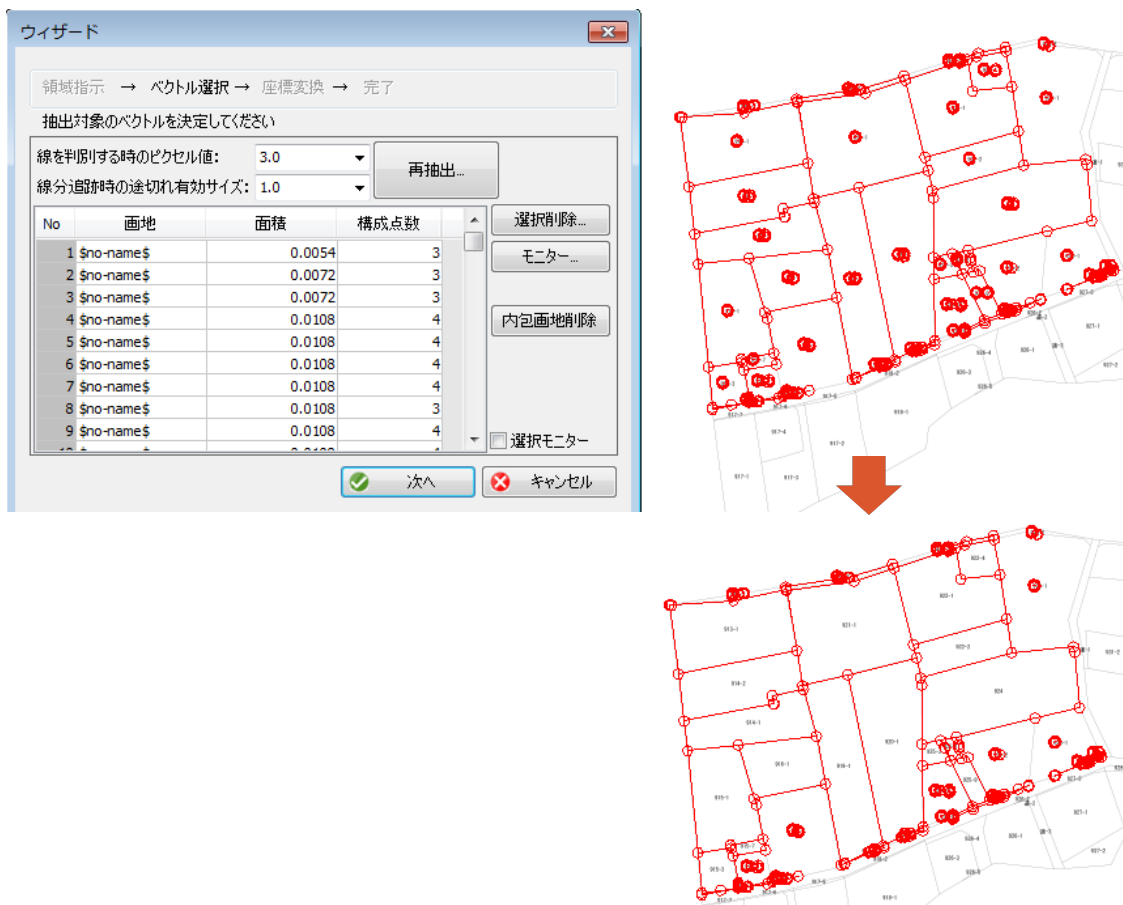
画地名の“6”や“8”などが、閉じた領域として画地抽出される場合があります。

画地抽出された不要なゴミを削除します。

ベクタ変換で画地が自動抽出されます。



- ・[内包画地削除] ボタンで、画地の中に別の画地として認識された画地を削除します。

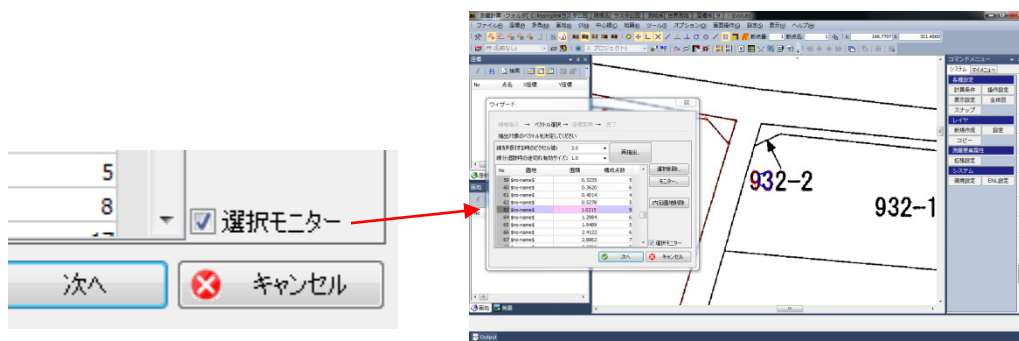


- ・[面積]から判断して不要な画地を削除します。

[面積]タイトルを指示し面積の小さい順にソートします。

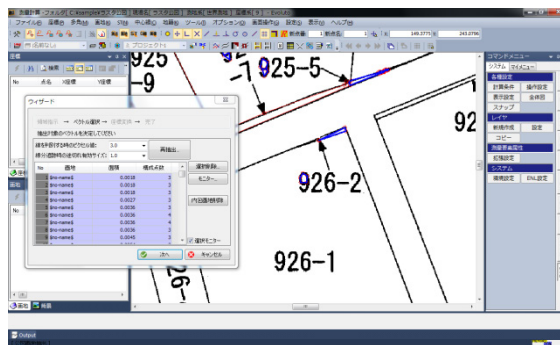
No	画地	面積	構成点数
1	\$no-name\$	0.0054	3
2	\$no-name\$	0.0072	3
3	\$no-name\$	0.0072	3
4	\$no-name\$	0.0108	4
5	\$no-name\$	0.0108	4
6	\$no-name\$	0.0108	4

モニターを適度に拡大し、[選択モニター]のチェックをオンにすると、画地一覧の選択で対象がモニター中央に強調表示されます。



ここで[DEL]キー押すか、または[選択削除]ボタンを指示すれば画地が削除されます。

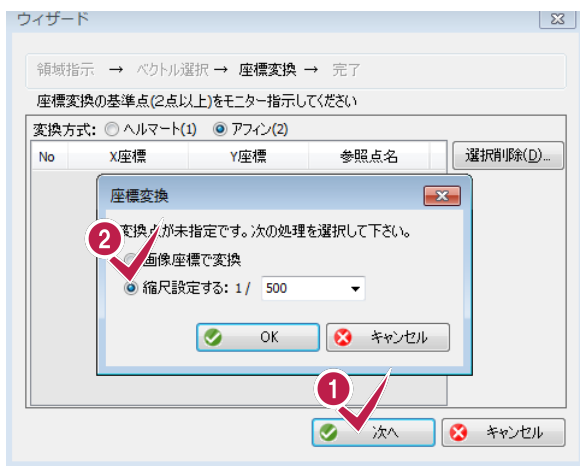
これを繰り返すか、または一覧から画地を複数選択して一括削除も可能です。



(3)位置合わせ(座標変換)を行います。

- ・既存に別のラスタが存在している場合には位置あわせの処理は行いません。
- ・また、「位置をすり合わせる画地」が登録されている・いないで処理がわかります。

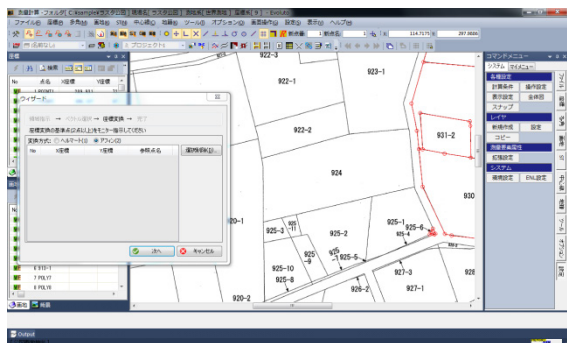
・「位置をすり合わせる画地」が現場に登録されていない場合の処理
座標変換では[次へ]ボタンを押して、[画像座標で変換]か[縮尺設定する]を指定し[OK]ボタンを押します(任意座標での画地登録になります)。



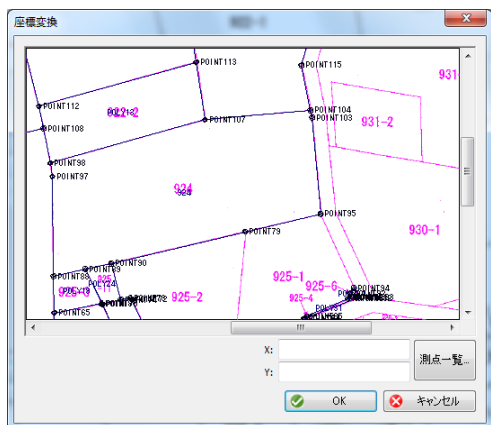
・「位置をすり合わせる画地」が現場に登録されている場合の処理

画地として抽出された2点で位置あわせを行います。

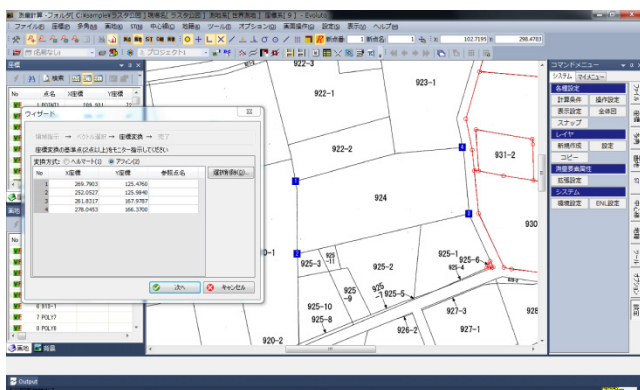
位置あわせの1点目と対応する点の指示、位置あわせの2点目と対応する点の組み合わせの指示で入力を行います。



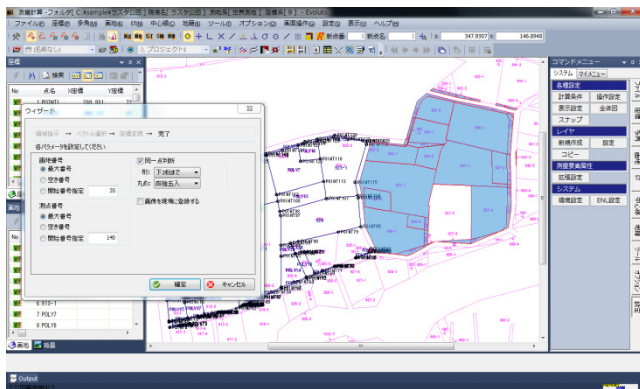
抽出された画地の位置あわせの点をマウスで指示します。



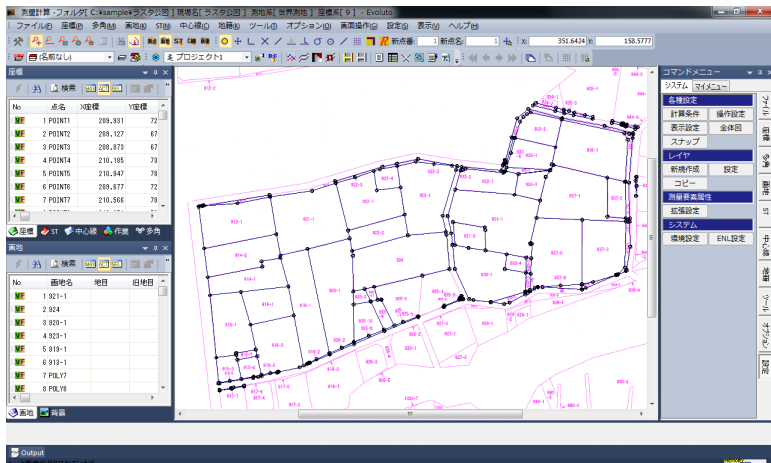
現場に登録されている画地がモニター表示されますので、対応する点をマウスまたは、測点一覧から選択します。



対応させる点の指示が終わりましたら [次へ] ボタンを押します。



画地・測点の登録開始番号を指定して登録を行います



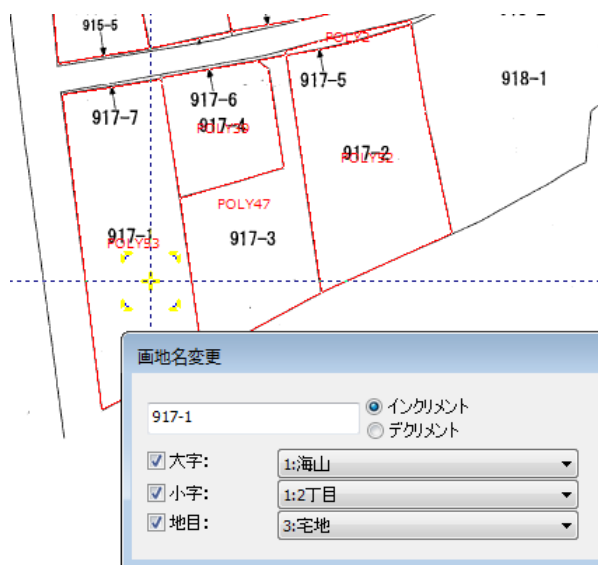
画地が接合されて登録されます。

(4)画地名と属性(字・地目)の入力を行います。

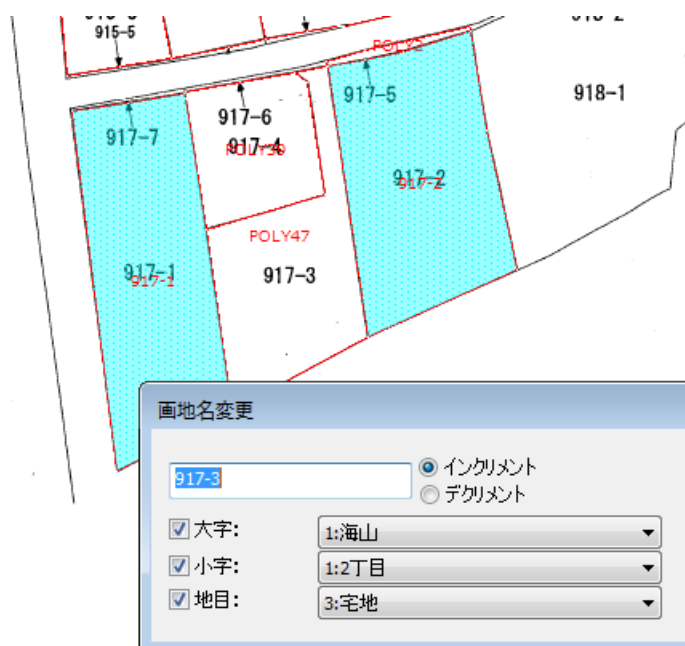
[画地]－[画地属性モニター割付]－[画地名]で、画地名と属性を割付けます。

- ・抽出された画地は Poly1～(連番)の仮地番名で登録されます。
- ・背景のラスタを参照して画地名の設定を行います。

- ・自動で画地名をインクリメントして割付けることができます。
- ・右図の例では、917-1～始まるので初期値を917-1に設定してあります。



- ・順次画地をマウスでクリックして割付けができます。また、字・地目の属性も同時に設定することができます。



(5) 画像編集 画像により作業が必要になります。

作業対象の画像に「透かし」などが入っている場合には、画地抽出ができない場合があります。

必要に応じて、画地抽出を行う前に画像の編集を行ってください。

・基本的な画像編集の手順

1. [ファイル]－[画像]－[画像操作]で、画像編集モードにします。
2. [ゴミ取り(濃淡)]で、透かしの線を間引きます。
3. [特殊効果(ぼかし)]で、間引いた隙間を埋めます。
4. [色調補正]で、境界を鮮明にします。

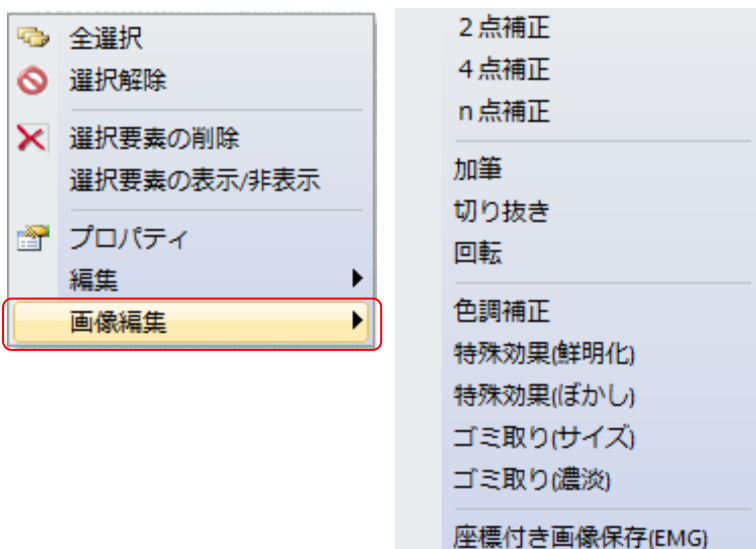
1. [ファイル]－[画像]－[画像操作]で、画像編集モードにします。

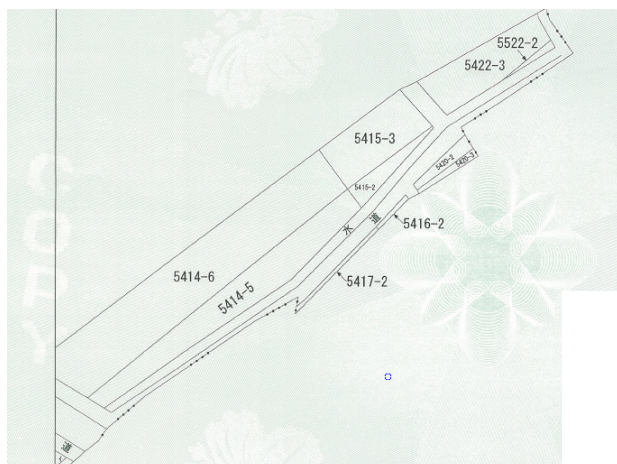


2. [ゴミ取り(濃淡)]で、透かしの線を間引きます。

対象の画像を選択して、マウス右ボタンメニューの[画像編集]－[ゴミ取り(濃淡)]で透かしの線を間引きます。

画像編集のメニュー一覧





画像に「透かし」があるために画地の抽出ができません。

- ・[ゴミ取り(濃淡)]を行う範囲を対角2点で指定します。
- ・コマンドバーに表示される「濃度の指定」をつまみで調整します。
- ・「全範囲」ボタンでゴミ取りを行います。



- ・透かしの線が間引かれます。
- ・按配を確認して、問題がなければ「確定」ボタンを押します。やり直しは「アンドゥ」を押します。



3. [特殊効果(ぼかし)]で、間引いた隙間を埋めます。

透かしの線を間引いた結果、境界線が途切れて隙間ができる場合があります。

[特殊効果(ぼかし)]で隙間を埋めます。



・コマンドバーに表示される「特殊効果(ぼかし)」のつまみで調整します

(経験的には、左側に寄せて調整することが多いです)

・隙間の按配を確認して問題がなければ「確定」します。やり直しは「アンドウ」を押します。

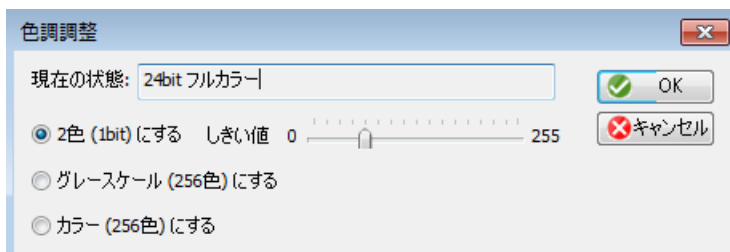


4. [色調補正]で、境界を鮮明にします。

ぼかした状態のままでは、画地の抽出ができません。

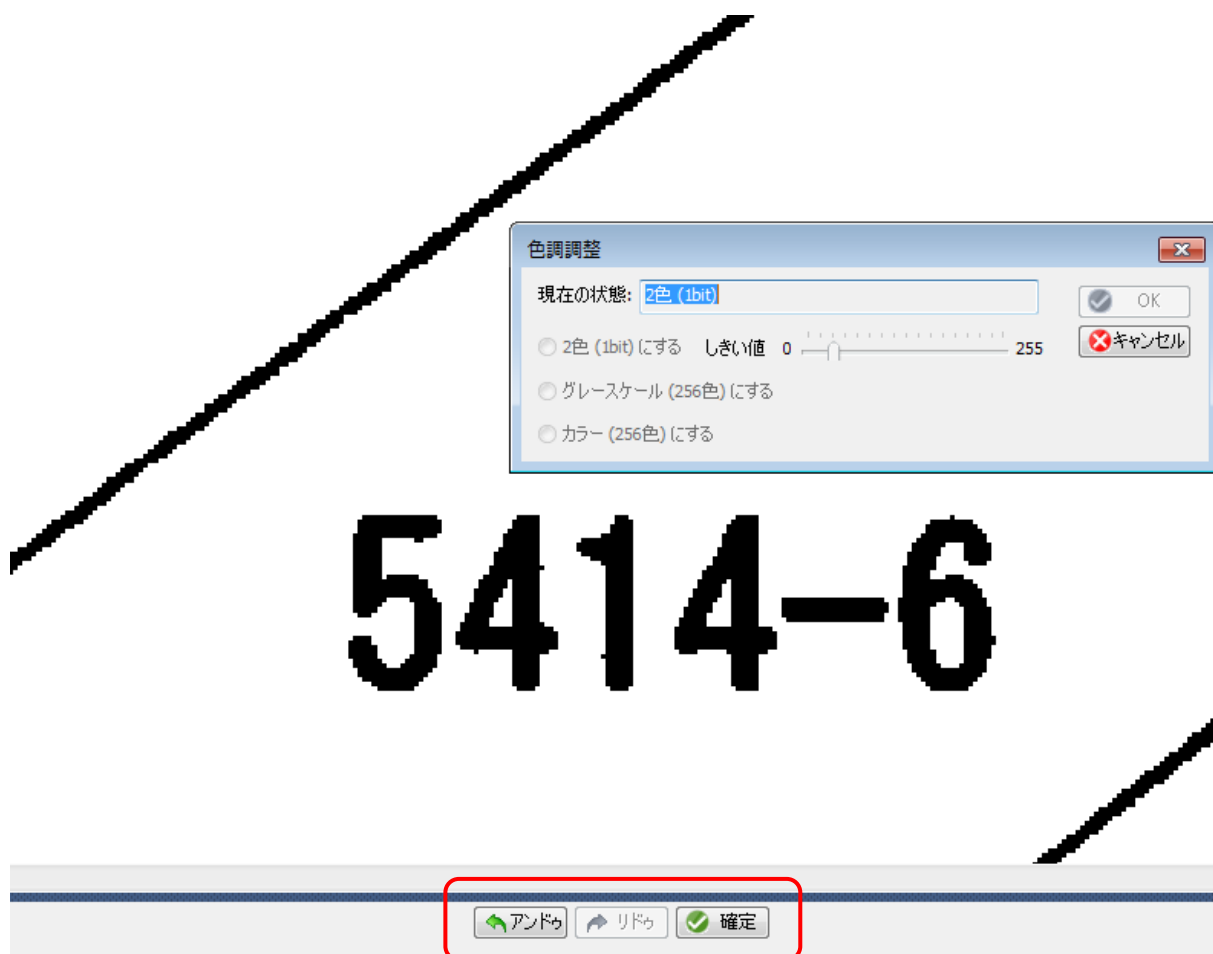
[色調補正]－[2 値化]で境界を鮮明にします。

画像を白・黒に区別する「しきい値」をつまみで調整します。



しきい値で画像が白黒の2色になります。

問題がなければ「確定」を押します。やり直しは「アンドウ」を押します。



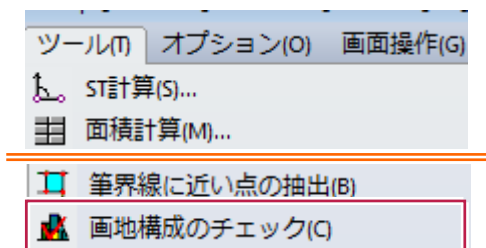
● 第4章 画地構成のチェック

最終成果の地積測定精度管理表では、調査区域の外形面積と各画地の合計面積で較差がない状態になる必要があります。

画地の形状が正しく登録されているか、結線ミスがないかの確認の方法を説明します。

1. [画地構成のチェック]境界線が交差していないかチェックします。
2. [2重結線チェック]調査区域内で境界線の重なりをチェックします。
3. [画地チェック]「外周画地」を利用して、構成点の入力をチェックします。

4-1. [画地構成のチェック]境界線が交差していないかチェックします。



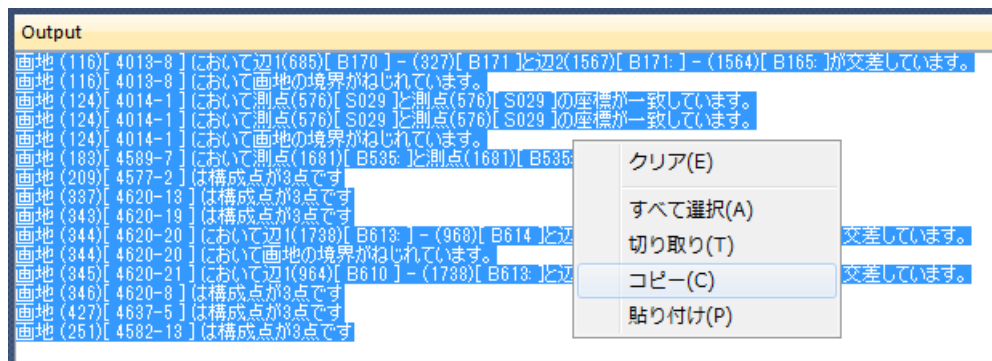
注意

チェック結果は Output ウィンドウに表示されますので、必要に応じてチェック結果の内容をコピー・貼り付けなどをして作業をします。

中抜き画地(ドーナツ形状)は、Mercury の入力方法と異なっている場合はチェック対象になります。

・エラーメッセージの表記

“(画地番号)[画地名] エラー内容”で表示されます。

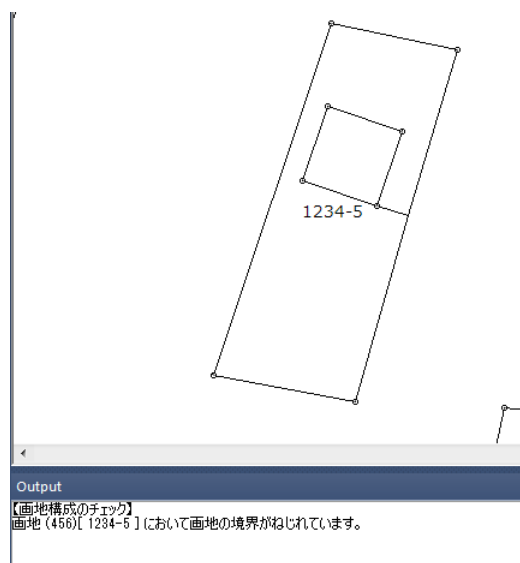
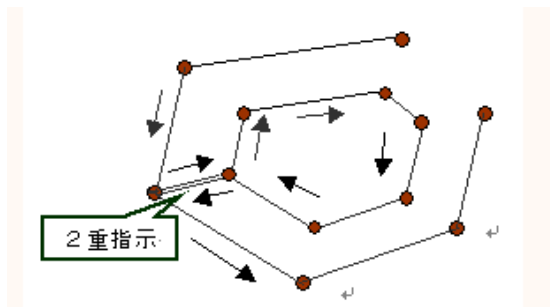


・エラーの個数が多い場合には、マウス右ボタンメニューで「すべて選択(A)」で、行を選択してメモ帳などにコピー・貼り付けしてご利用願います。

代表的なチェック項目

[境界がねじれています]

- Mercury の中抜き画地は、下図のように外側とは逆向きに内側の境界を結ぶ必要があります。
- 中抜き画地で「境界がねじれています」のエラーがでた場合には、境界の結び方向の確認も行ってください。



【画地構成のチェック】
画地(456)[1234-5]において画地の境界がねじれています。

[座標が一致しています]

- 2重に境界点を指示しています。
- Mercury では、画地登録において終点を始点にまで戻して入力する必要はありません。地籍フォーマット 2000 の[筆・長狭物図形情報]の仕様とは、異なります。地籍フォーマット 2000 の入出力では自動的に双方の仕様にあうように処理を行います。

No	項目	点番	点名	半
1	1:画地	183	1234-2	11:求積:
2	3:境界点	1681	K535:	
3	3:境界点	882	K535	
4	3:境界点	836	K532	
5	3:境界点	1680	K532:	
6	3:境界点	835	K538	
7	3:境界点	880	K624	
8	3:境界点	256	K625	
9	3:境界点	257	K743	
10	3:境界点	1687	K744:	
11	3:境界点	1681	K535:	

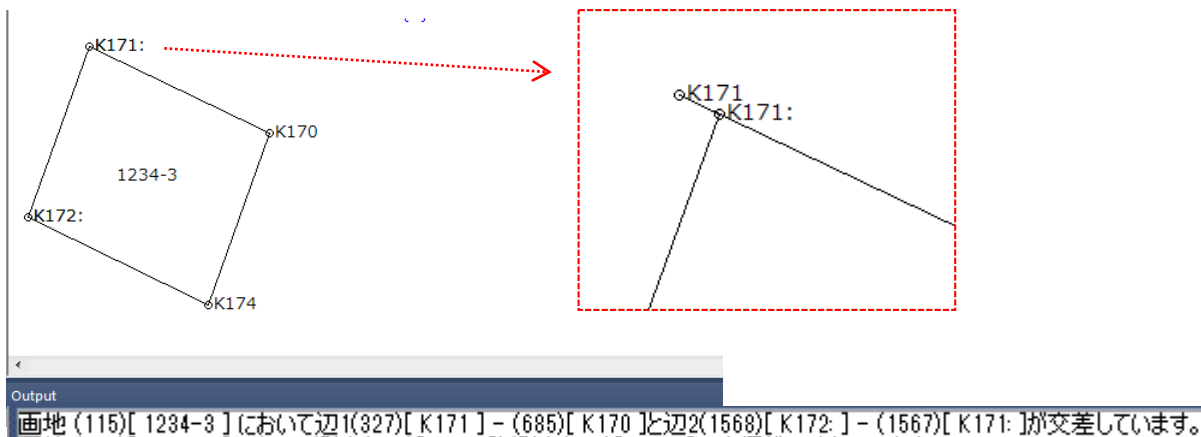


Output
画地(124)[4014-1]において画地の境界がねじれています。
画地(183)[1234-2]において測点(1681)[K535:]と測点(1681)[K535:]の座標が一致しています。

[交差しています]

- ・境界が交差している箇所を表示します。

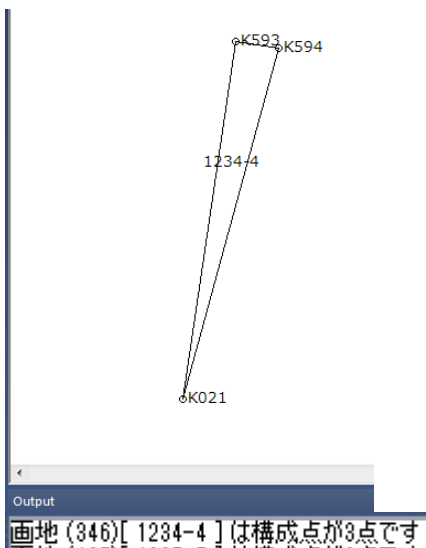
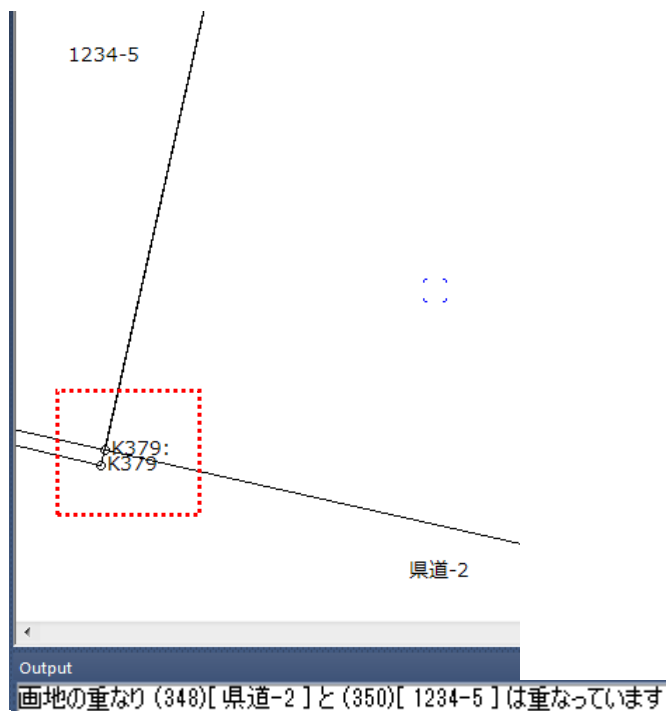
[K171]-[K170]と[K172:]-[K171:]が交差している例です。



[画地の重なり]

- ・隣の画地領域と重なっています。

交点計算などで境界を求めた場合に、片方の画地で結線の修正を忘れた場合などで互いの画地領域が重なります。

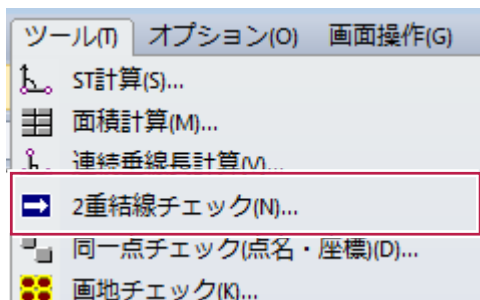


[構成点が3点です]

- ・境界点数が3点の画地が表示されます。

境界点が3点の画地は、境界点の入力忘れの場合が多いので警告的な意味で表示をしています。

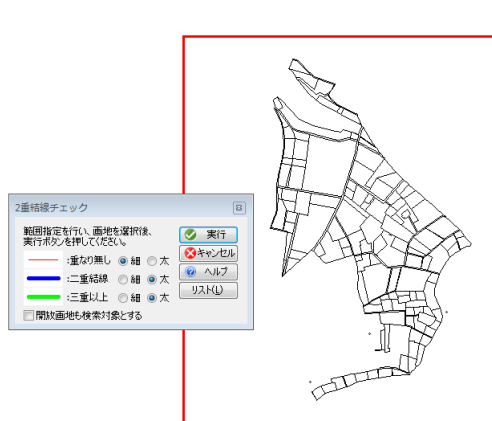
4-2. [2重結線チェック] 調査区域内で境界線の重なりをチェックします。



注意

調査区域においては、外周部は1重線となり内部は2重線(隣地と境界を共有)になります。境界線を共有する画地が多く存在する場合など、境界線の重なり状態を視覚的に確認することにより、画地の登録し忘れなどを確認することができます。また、割り込みコマンドなので、他のコマンドを実行中に動作することができます。

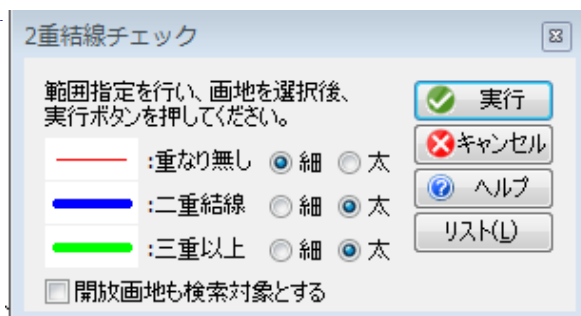
【ツール】-【2重結線チェック】を指示します。



①チェックを行う範囲を2点で指示します。

結線が確定していない「開放画地」の境界もチェックの対象にするかしないかの指定もできます。

- 重なり無し 【検索色】に従います。
- 2重結線 【青】固定です。
- 3重結線 【緑】固定です。

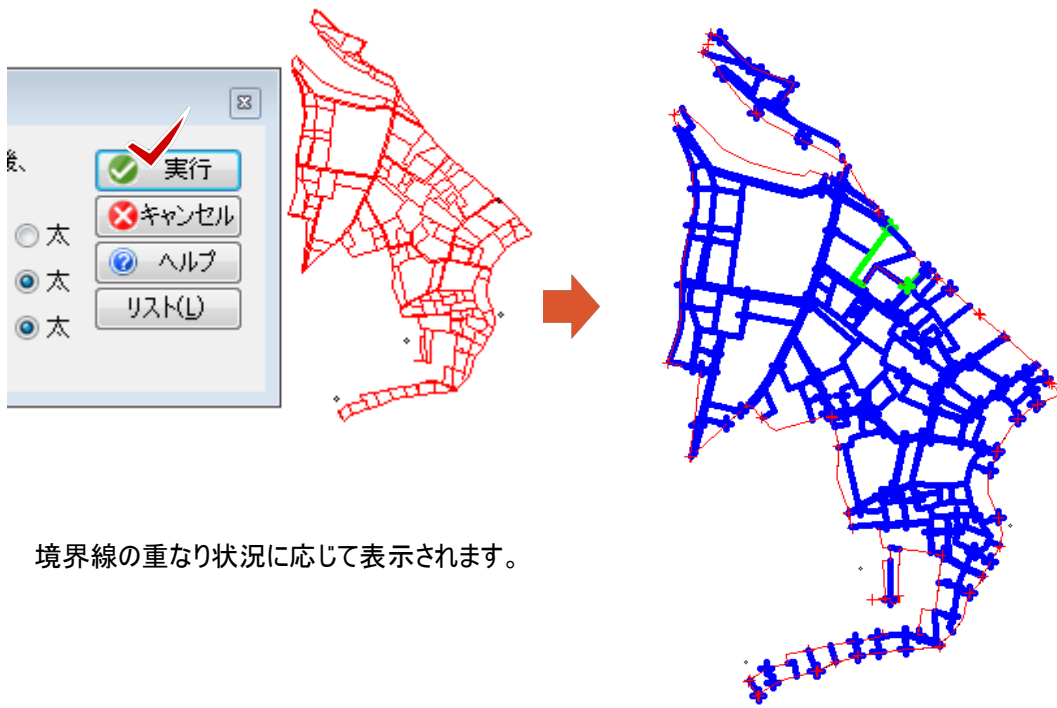


重なりなしの【検索色】は、【設定】-【表示設定】-【表示色】で指定ができます。



②チェック対象のデータが検索されます。

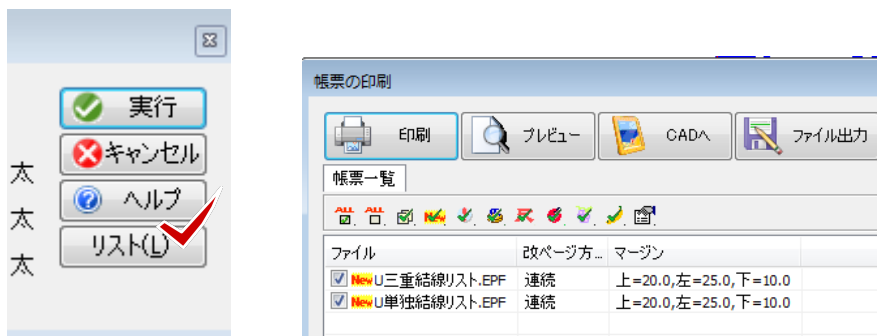
【実行】ボタンを指示して2重結線チェックを実行します。



境界線の重なり状況に応じて表示されます。

③【リスト】では、3重結線と単独結線の帳票を出力することができます。

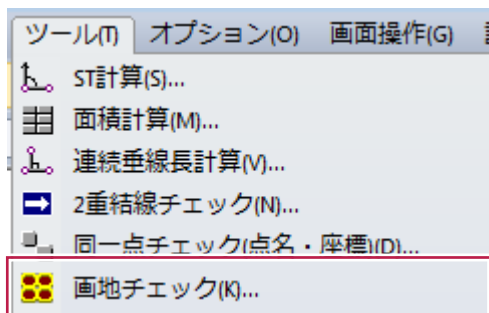
必要に応じて帳票を出力し結線の修正を行います。



三重の結線を含む画地の一覧表

測点 A - 測点B	地番
08-1016* 08-0032*	市道-36 4522-2 4522-2.2
08-0027* 08-0039	市道-35 4522-2 4522-2-1
08-0039- 08-1020*	市道-35 4522-2 4522-2-1
.....

4-3. [画地チェック] 「外周画地」を利用して、構成点の入力をチェックします。



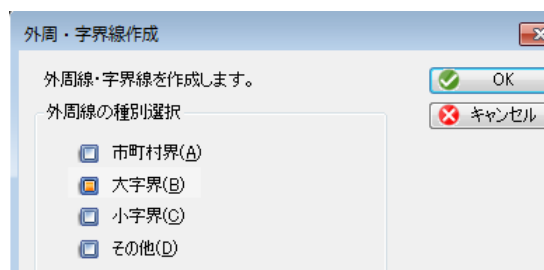
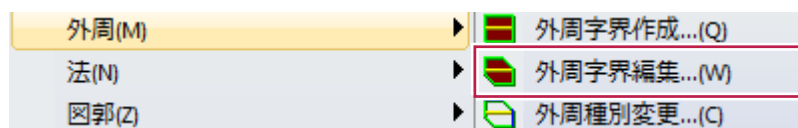
注意

地積測定精度管理表の外周面積を求めるための[外周画地]を利用することにより画地の結線ミスがないかを確認します。

[画地チェック]でチェックされる内容は、画地構成に問題があると思われる項目のチェックです。

①【地籍】－【外周】－【外周字界作成】で[外周画地]を作成します。

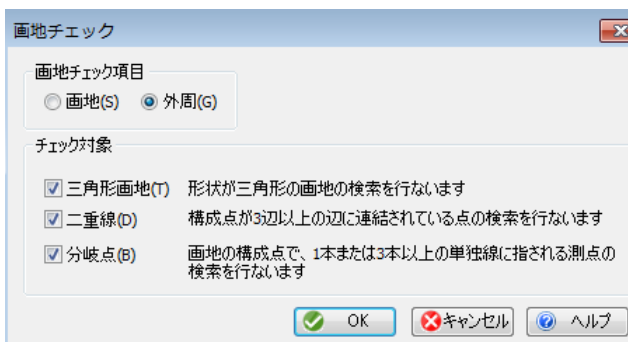
画地チェックの用に[外周画地]作成する場合には、外周部の字界は任意のものを選択して構いません。



画地の結線から自動的に外周画地を作成します。

②【ツール】-【画地チェック】を指示します。

チェック対象を「外周」に、チェックを行います。



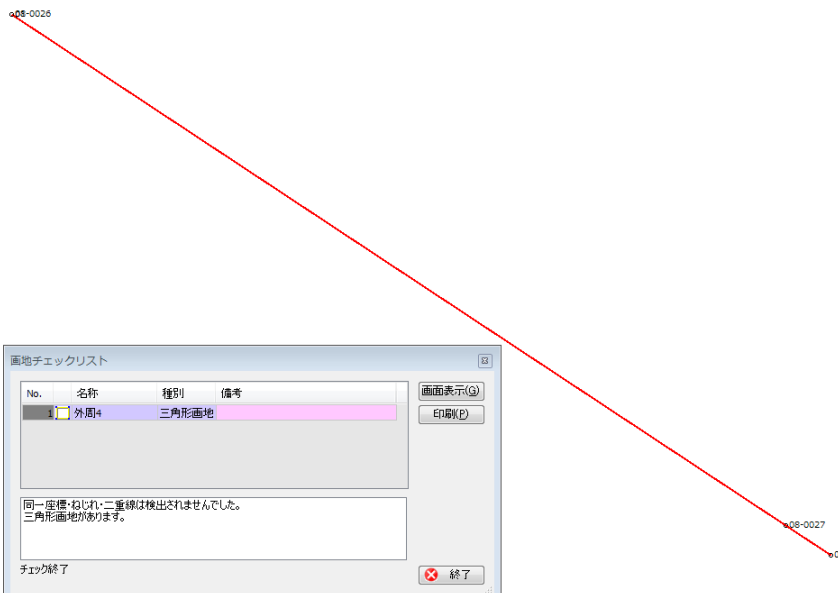
チェック対象

【三角形画地】・【二重線】・【分岐点】から対象をチェックします。

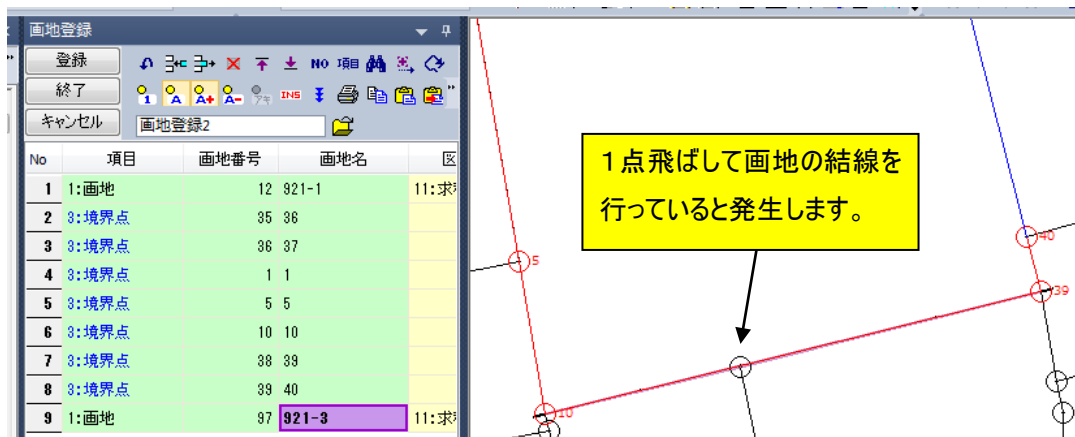
チェック結果を表示します。

対象の行をマウスでダブルクリックすると該当箇所を拡大表示します。

内容を確認して、問題があれば画地の編集を行ってください。



「外周」で三角形の形状になるのは、隣接する画地で共有する1点を結び忘れた場合に発生しやすい形状としてチェックをしています。



● 第5章 画地属性の設定

成果作成用に画地に対して各種の属性を設定します。

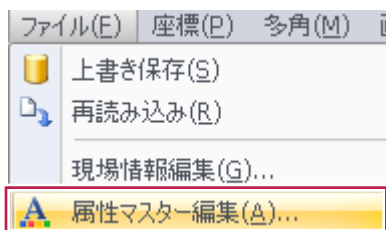
属性の設定には下記の方法があります。

1. 属性マスターのデータを登録してから、画地に対して属性を割り付け行う方法
2. 画地の属性情報が定義されている CSV データから割り付ける方法
3. 地籍調査支援システム(LandStation)から属性データを取り込む方法
4. 要約書(登記情報)データから取り込む方法

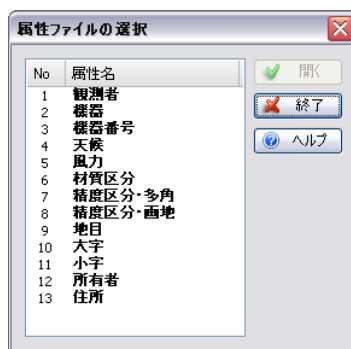
注意

3. 地籍調査支援システム(LandStation)・4. 要約書(登記情報)データを取り込む機能は、別商品およびオプションです(標準機能ではありません)。

5-1 属性マスターのデータを登録してから、画地に対して属性を割り付け行う方法



【ファイル】-【属性マスター編集】で、地目・大字・小字・所有者の属性マスターのデータを登録します。



No	ID	地目名称	地目分類
18	18	保安林	0:(通常画地)
19	19	公衆用道路	0:(通常画地)
20	20	公園	0:(通常画地)
21	21	鉄道用地	0:(通常画地)
22	22	学校用地	0:(通常画地)
23	23	雑種地	0:(通常画地)
24	81	道路	1:道
25	82	運河	0:(通常画地)
26	83	用悪水路	1:道
27	84	堤防	11:国道
28	85	みぞ	12:県道
			13:市道
			14:町道
			2:水
			21:河川
			3:その他

【地目】

- ・通常地目と長狭物に大別されます。
- ・80番以降を長狭物として設定してください。
- ・長狭物は「地目分類」で、道・水・その他に分類ができます。
- ・また、道は「道・国道・県道・市道・町道」に、水は「水・河川」に細分化もできます。
- ・現場固有の地目を追加することもできます。

大字

実行 終了

No	ID	大字名称	大字コード
1	1	○田	011
2			

【大字】・【小字】

- ・名称と字コードを設定します。
- ・字名・字コードは、地籍フォーマット 2000 に設定した内容で出力されます。

小字

実行 終了

No	ID	小字名称	小字コード
1	1	字○郷	101
2	2	字○前	102
3			

【所有者】

- ・画地を所有する人の、名称・居住地および所有者コードを登録します。
名称・居住地・所有者コードは、地籍フォーマット 2000 での必須入力項目です。
- ・郵便番号と所有者カナの入力もできます。
- ・居住地の入力欄が都道府県・市郡名・町村名・その他・番地に細分化されていますが、まとめて1つの欄に入力しても問題はありません。

所有者

実行 終了

No	ID	所有者名1	郵便番号	都道府県名	市郡名	町村名	その他	番地	台帳番号
10	10	○田仁		〇〇市〇田	9 1 7 番地 2				000000013
11	11	○崎恭之		〇〇市〇田	7 8 7 番地				000000011
12	12	○崎公一		〇〇市〇田	9 1 7 番地 4				000000012
13	13	○中壇吉		〇〇市〇田	9 2 1 番地				000000023

- ・「簡易的」な共有者の設定ができます。
所有者1～5まで共有者名を入力するか、所有者1に“他n名”を付加します。

No	ID	所有者名1	所有者名2	所有者名3	所有者名4	所有者名5
19	19	○場利幸	○林成男	○山勝美	○武井久雄	
20	20	○野敏明				
21	21	○場利幸 他3名				

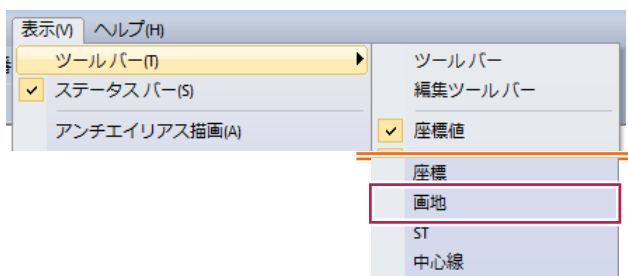
注意

- ・共有者は、正式には【地籍】－【共有者と権利の情報】で設定をします。
地籍フォーマット 2000 出力で共有者情報ファイルが出力されます。
- ・「簡易的」な共有者の設定では、地籍フォーマット 2000 出力で共有者情報ファイルは出力されません。
(上記の例では、どちらも所有者名が“○場利幸 他3名”で出力されます。)

画地を選択して、属性を設定します。

- ・画地のデータ管理ウィンドウ(画地シート)からの属性を設定します。
- ・【画地】—【画地属性モニター割付】—【属性マスター】で属性を設定します。
- ・画面モニターから CAD 的な操作で属性を設定します。

- ・画地のデータ管理ウィンドウ(画地シート)からの属性を設定します。



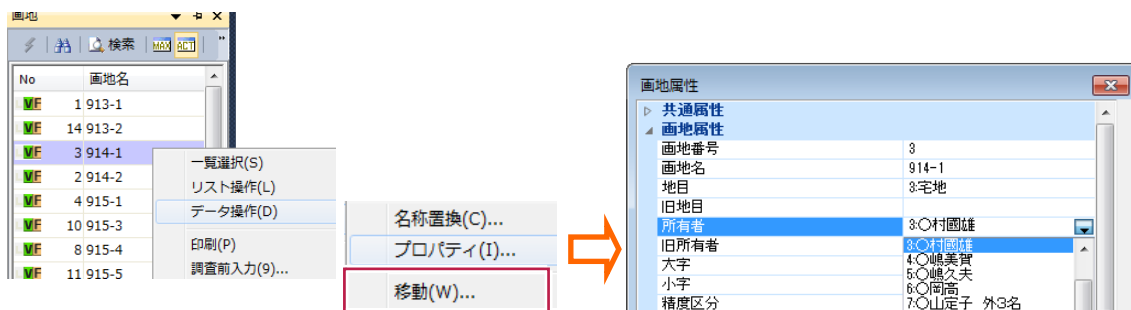
【表示】—【ツールバー】—【画地】で、画地シートを表示します。

変更対象の画地をシートから選択して、マウス右ボタンメニューの【データ操作】で属性の設定を行います。

【プロパティ】

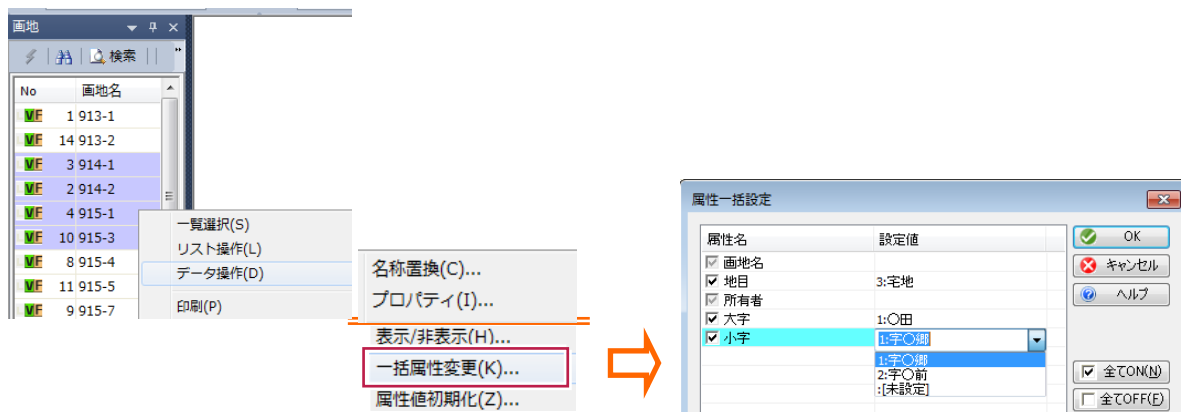
画地シートから対象の画地を「一筆」選択した状態で、属性を個別に変更します。

- ・画地属性の内容を表示するウィンドウで、属性の設定をします。

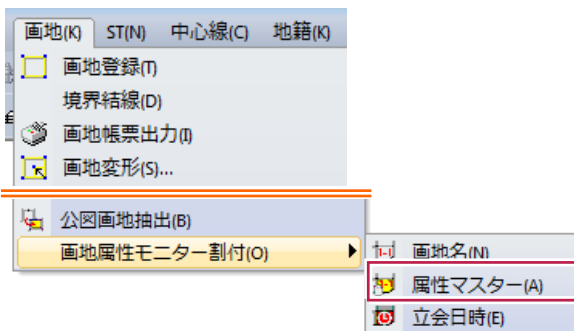


【一括属性変更】

画地シートから対象の画地を複数選択した状態で、属性を一括設定で属性の設定をします。



・【画地】－【画地属性モニター割付】－【属性マスター】で属性を設定します。



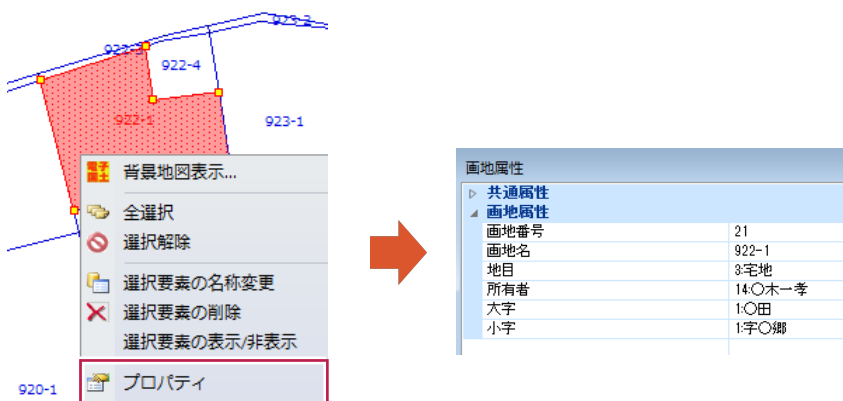
- ・画地に設定する属性を選択します。
- ・画面モニターから、属性を割り付ける画地を指示します。



- ・画面モニターから、CAD 的な操作で属性を設定します。
- コマンド検索バーで「画地」を検索対象にします。



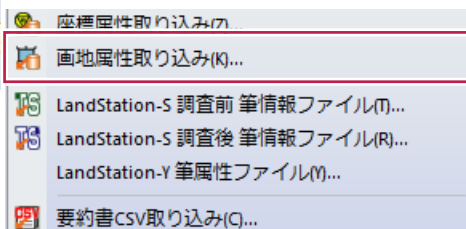
画面モニターから画地を選択して、マウス右ボタンメニューのプロパティで属性の設定が行えます。



5-2. 画地の属性情報が定義されている CSV データから割り付ける方法



【ファイル】－【属性取り込み】－【画地属性取り込み】で、属性の割り付けを行います。



注意

取り込んだ字・所有者などの情報は、属性マスターにも同時に登録されます。

概略の手順

- ・CSV の 1 行目には、項目の名称を定義してください。
- ・突き合わせのためのデータキー設定を行います(複数の項目でも設定ができます)。
- ・取り込む属性データの指定を行います。
- ・対象画地の有無の確認をしてから取り込みます。

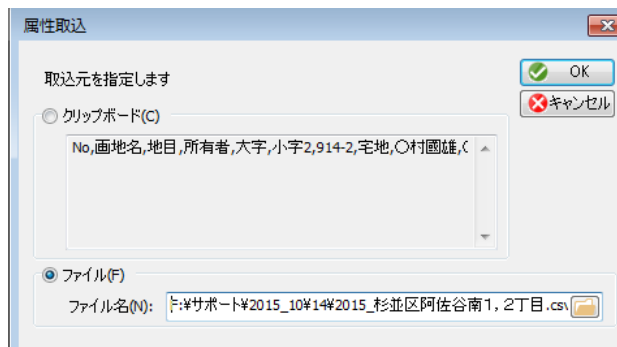
- ・項目の名称の定義をします。

CSV の 1 行目のデータは項目名を設定してください。

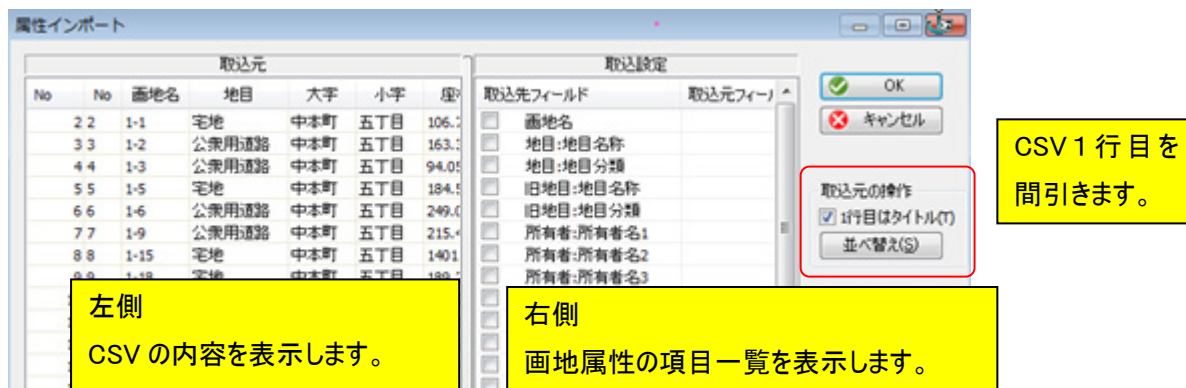
No	画地名	地目	大字	小字	座標法面積
1	1-1	宅地	中本町	五丁目	100.7363203
2	1-2	公衆用道路	中本町	五丁目	163.3930795
3	1-3	公衆用道路	中本町	五丁目	94.055011
4	1-5	宅地	中本町	五丁目	184.551817
5	1-6	公衆用道路	中本町	五丁目	249.068996
6	1-9	公衆用道路	中本町	五丁目	215.4945865
7	1-15	宅地	中本町	五丁目	1401.9428135
8	1-18	宅地	中本町	五丁目	189.2484045
9	1-19	宅地	中本町	五丁目	172.2126095

- ・データファイルを指定します。

Excel でコピーした場合には、クリップボードから取り込みができます。



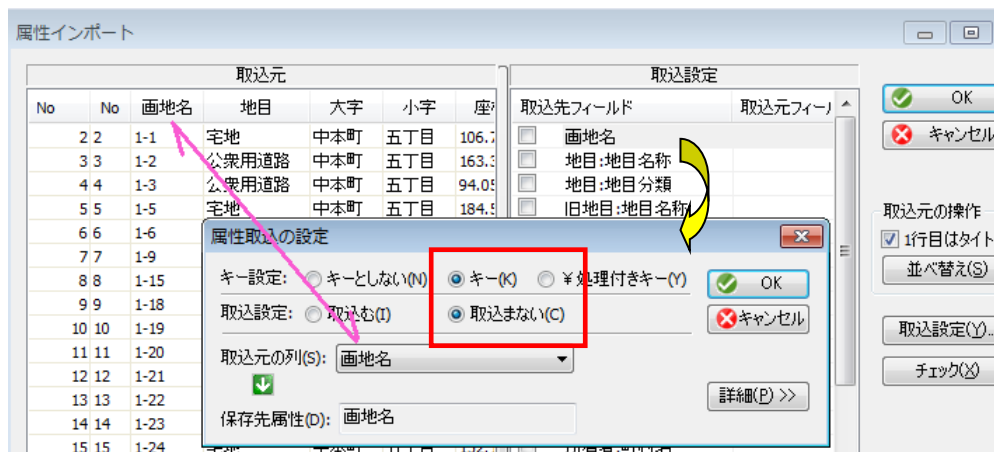
CSV データの内容が表示され、取り込みの設定を行います。



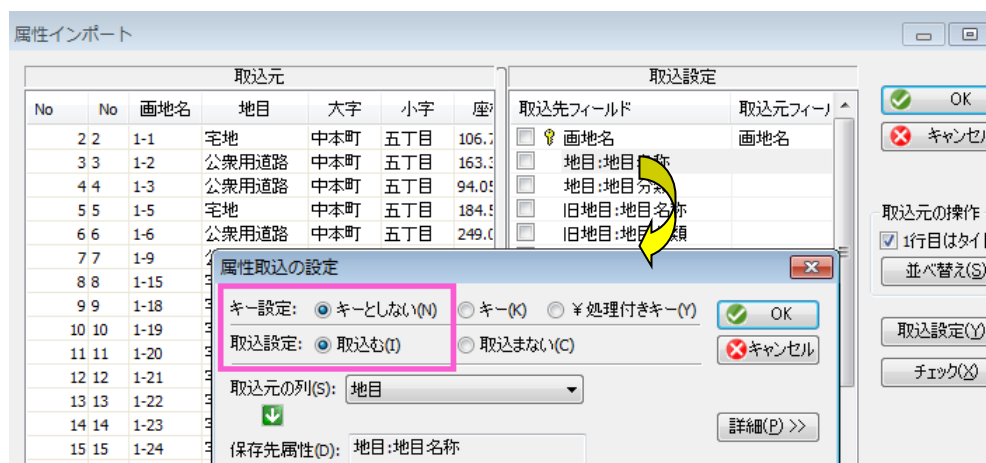
- ・突き合わせのためのデータキー設定を行います(複数の項目でも設定ができます)。
 - 右側の属性の項目行をクリックし、取り込み元のどの列と比較するかの設定を行います。
- ・キー設定の“キー”は、CSV データと現場の画地の突き合わせを行うデータの意味になります。
- ・“キー”の場合は、現場の画地データには属性が設定されているので“取込まない”を指定します。

(補足)

- ・現場に同一地番名の画地が存在する場合には、他の属性(大字など)をキーとして追加設定してください。(キー設定は複数可能です。)



- ・取り込む属性データの指定を行います。
 - 取り込むデータの設定を行います。
 - 設定する画地属性は、“○○名称”の属性に割り当てることを基本としてください。(下図は、地目データを地目名称に割り当てる例)
- ・地目のキー設定は、現場の画地の地目と CSV の地目の突き合わせはしないので“キーとしない”を指定します。
- ・地目データを現場の画地に割り当てるので、“取込む”を指定します。



・対象画地の有無の確認をしてから取り込みます。

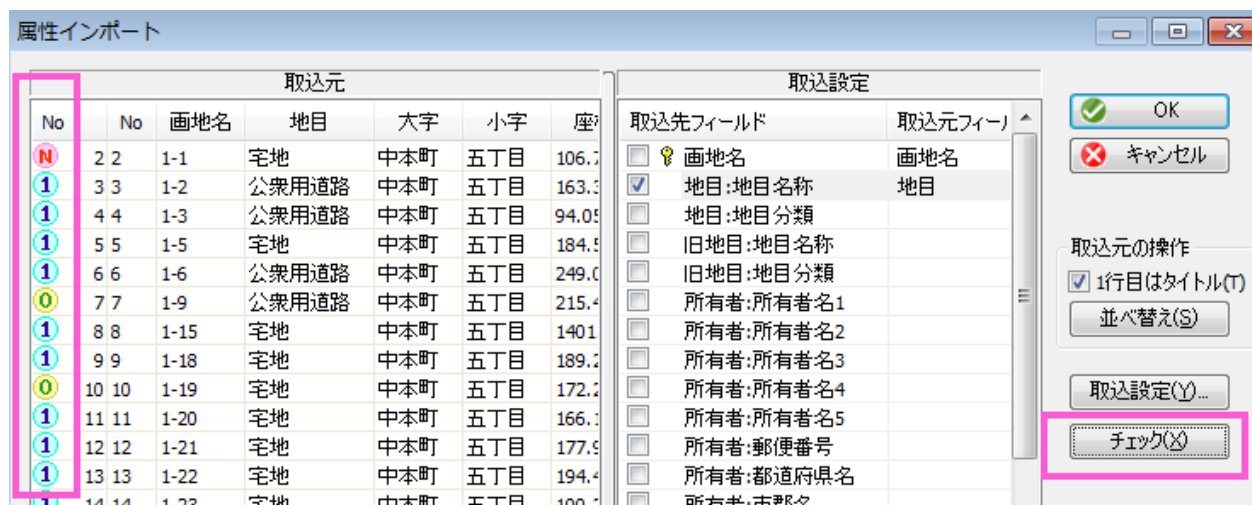
取り込みの設定が終了したら、CSVの画地と現場の画地の突き合わせの確認を行います。

・「チェック」ボタンを押しますと、突き合わせの状況がNoの欄に表示されます。

“0”の場合：現場に対応する画地が存在しません。

“1”の場合：現場に対応する画地が1つだけ存在します。

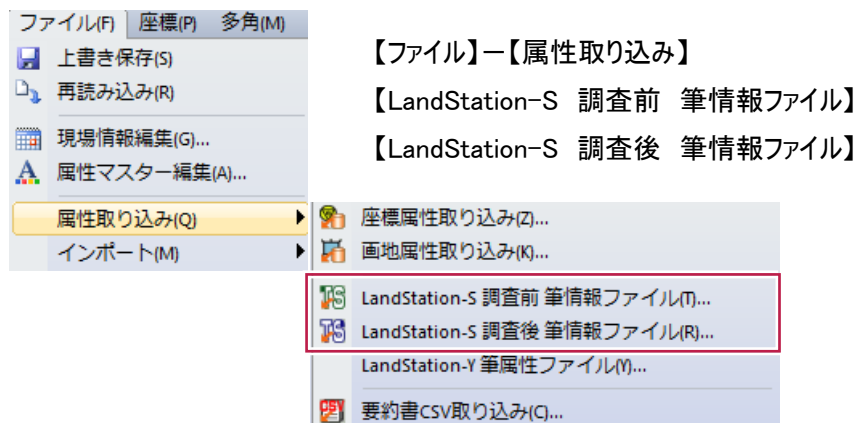
“N”の場合：現場に対応する画地が複数個存在します。キー設定を見直す必要があります。



・「OK」ボタンを押すと、キーにより突き合わせができた現場の画地の属性を更新します。

また、属性マスターのデータも同時にマスターデータとして追加されます。

5-3. 地籍調査支援システム(LandStation)から属性データを取り込む方法



注意

別商品との連動機能です(標準の機能ではありません)。

地籍調査支援システム(LandStation-S)に登録している調査前・調査後の筆属性を取り込むことができます。

・LandStation-S が起動している必要があります。

LandStation-S が起動していると、現場フォルダの下の lssdb フォルダにできる

調査前は「beffude.csv」のデータが読み込めます。

調査後は「aftfude.csv」のデータが読み込めます。

・対象のファイルを読み込むことで、現場の画地に属性の割り付け・更新が行われます。

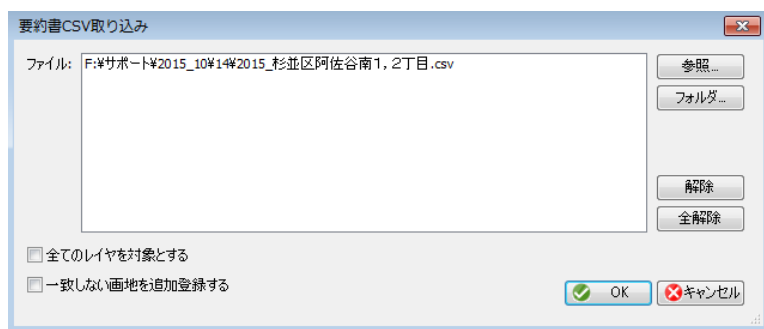
5-4. 要約書(登記情報)データから取り込む方法



注意

オプションです(標準の機能ではありません)。

「参照」ボタンを押して、取り込む CSV ファイルを設定します。
複数の CSV ファイルを指定して同時に取り込むことができます。



・「全てのレイヤを対象とする」

作業対象のレイヤだけでなく、複数の地図 XML の読み込みでレイヤを分けて画地を取り込んでいるような場合にチェックをします。

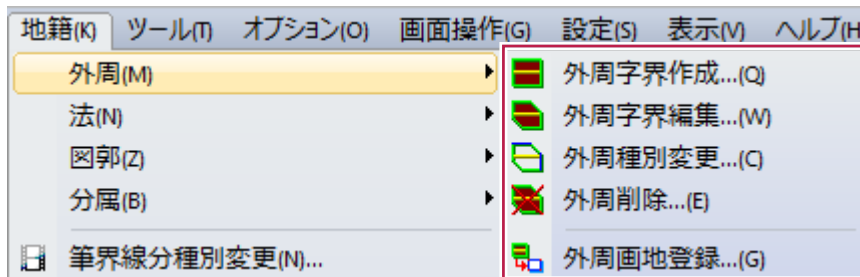
・「一致しない画地を追加登録する」

現場に属性を割り付ける対象となる画地が存在しない場合に“画地名”（結線がない）だけの画地を登録し、属性の割り付けをします。

● 第6章 外周作成

外周線(字界線)の作成・編集・削除等をおこないます。

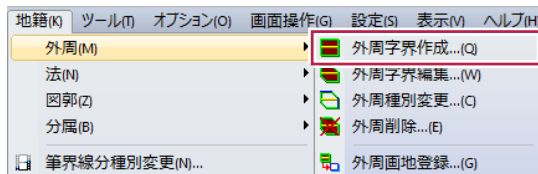
【地籍】-【外周】を使用します。



➤ 外周線作成

外周線(字界線)の作成をおこないます。

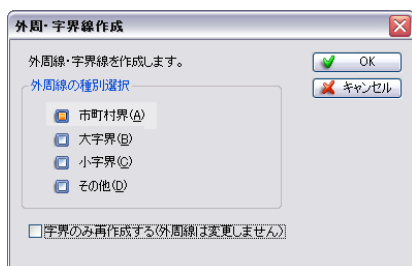
この処理を行わないと、ブロック図・字界線が作成されません。



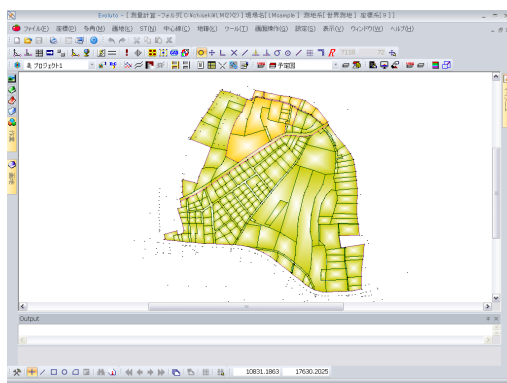
【地籍】-【外周】-【外周字界作成】を指示します。

この外周は、【地積測定精度管理表】単位区域の外周面積となります。

また、外周設定を行うと、地籍図等の字界マークが作成されます。

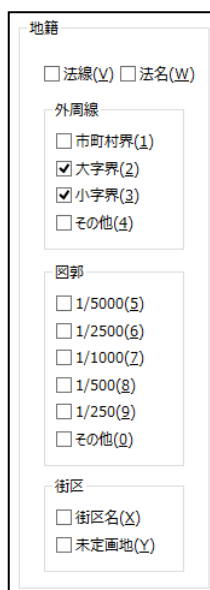


作成された字界線の状態は、モニタで確認することができます。



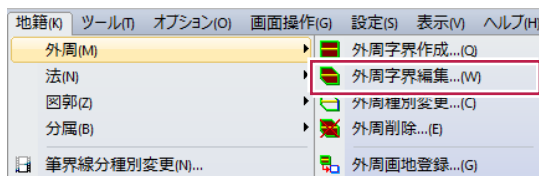
【表示設定】-【表示選択】

【表示設定】-【表示色】



➤ **外周線編集**

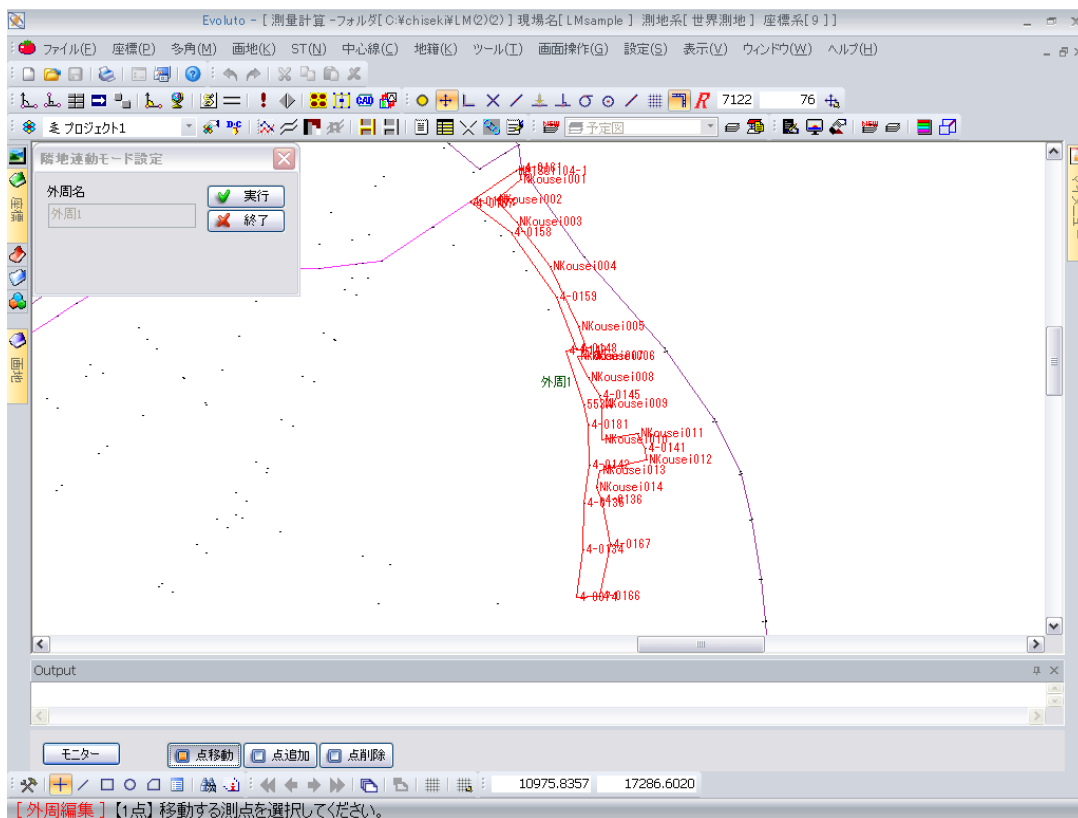
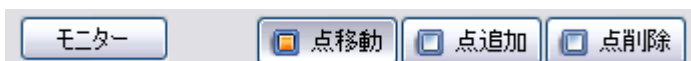
外周線(字界線)の形状を変更します。



【地籍】-【外周】-【外周字界編集】を指示します。

指定した外周線(字界線)に対して、点の【移動】・【追加】・【削除】をおこないます。

外周線の種別()を保持したまま形状を変更することが出来ます。

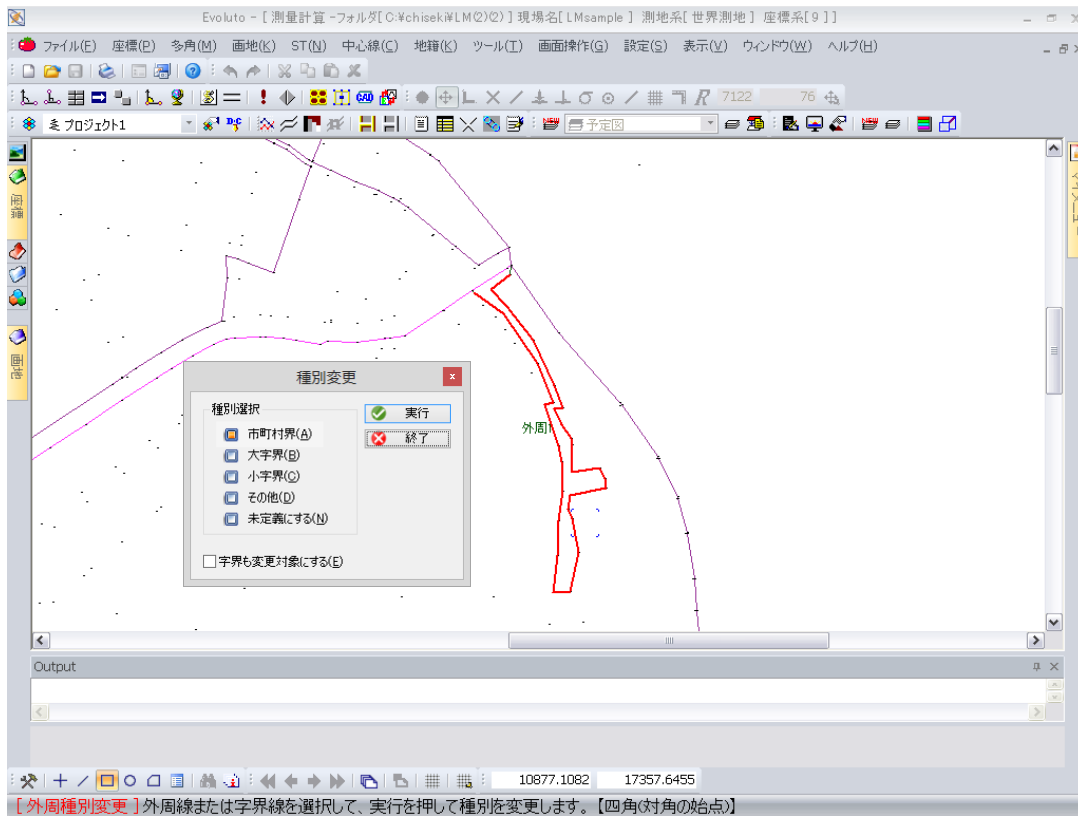
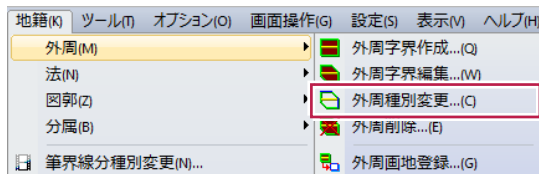


【外周編集】 【1点】 移動する測点を選択してください。

➤ 外周種別変更

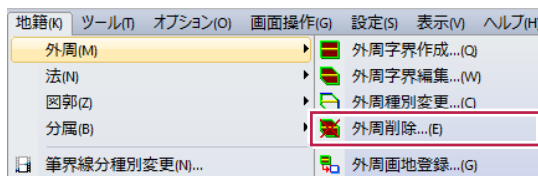
外周線(字界線)を個別に選択し、種別を変更します。

【地籍】-【外周】-【外周種別変更】を指示します。



➤ **外周削除**

外周線(字界線)を削除します。



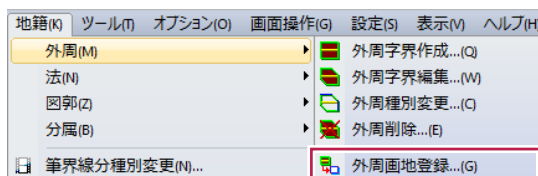
【地籍】-【外周】-【外周削除】を指示します。



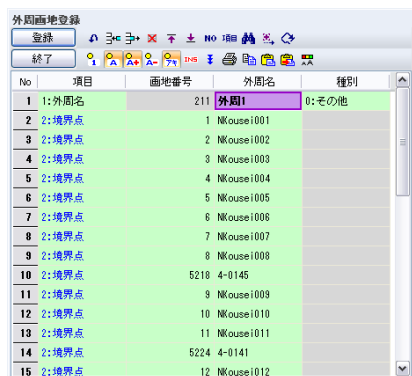
削除する外周(字界)画地をチェックして【削除実行】します。

➤ **外周画地登録**

外周線(字界線)となる画地を登録します。

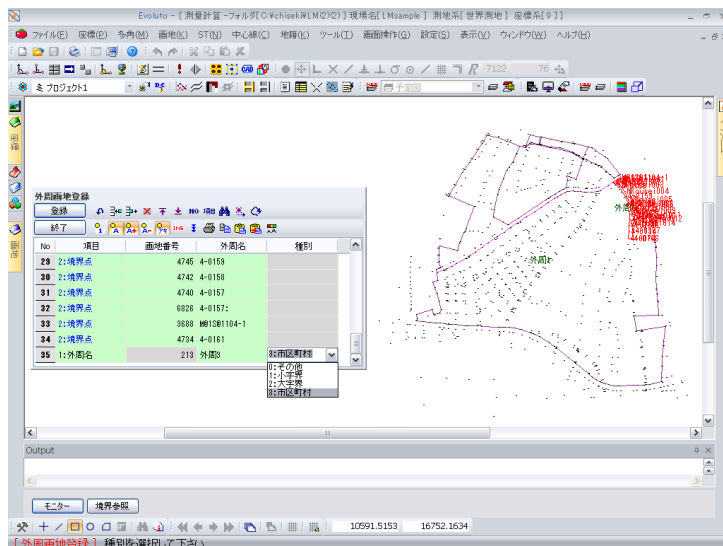


【地籍】-【外周】-【外周画地登録】を指示します。



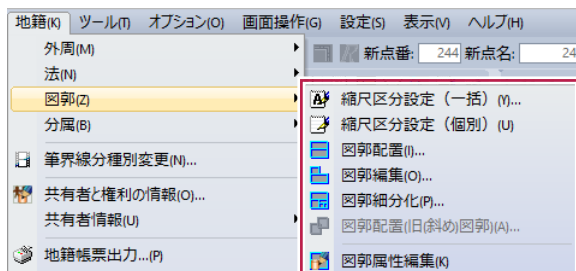
【画地登録】と同様に、【外周名】を入力し境界点モニタから指示して【外周画地】を登録します。

【種別】は【0.市区町村】【1.大字】【2.小字.】【3.市町村界】から選択します。



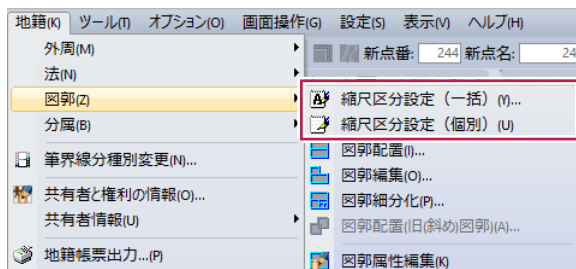
● 第7章 図郭(メッシュ)作成

図郭(メッシュ)の作成・編集・削除等をおこないます。



➤ 縮尺区分設定

画地に対して縮尺区分を設定します。



【地籍】-【図郭】を指示します。

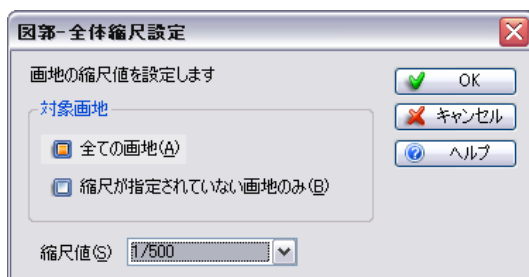
属性登録するには、以下の2通りの方法があります。

【地籍】-【図郭】-【縮尺区分設定(一括)】

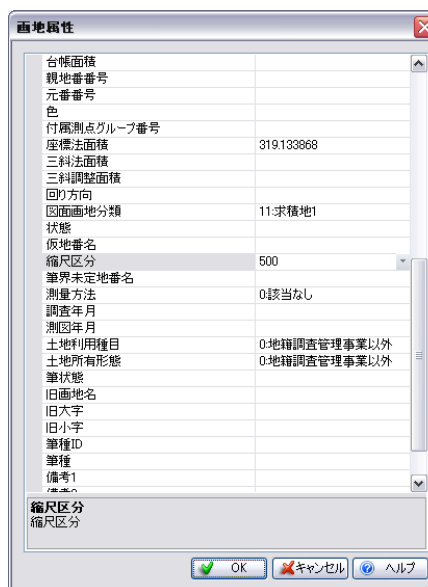
【地籍】-【図郭】-【縮尺区分設定(個別)】

◇ 縮尺区分設定(一括)

全ての画地または未設定の画地に対して、縮尺区分を登録します。



縮尺区分は【画地シート】の【プロパティ】で確認することができます。



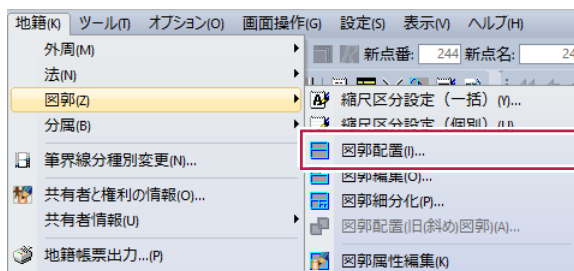
◇ 縮尺区分設定(個別)

画地を指定して縮尺区分を登録します。

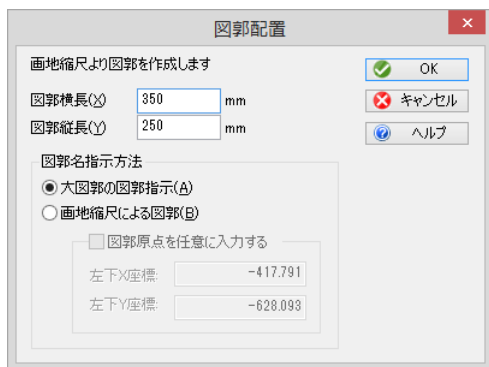


➤ 図郭配置

現場の画地に対して図郭(メッシュ)を作成します。



【地籍】-【図郭】-【図郭配置】を指示します。

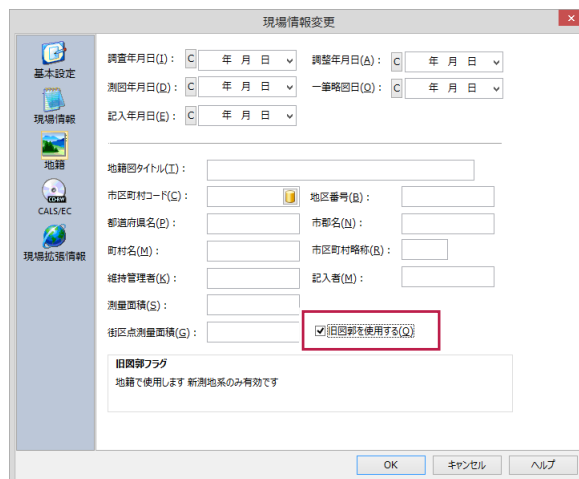


図郭のサイズは 350*250(新図郭)が基本となります。
400*300(旧図郭)で配置する必要がある場合は、
【ファイル】-【現場情報変更】で
【□旧図郭を使用する】のチェックが必要です。

図郭名の指示方法には以下の2種類があります。

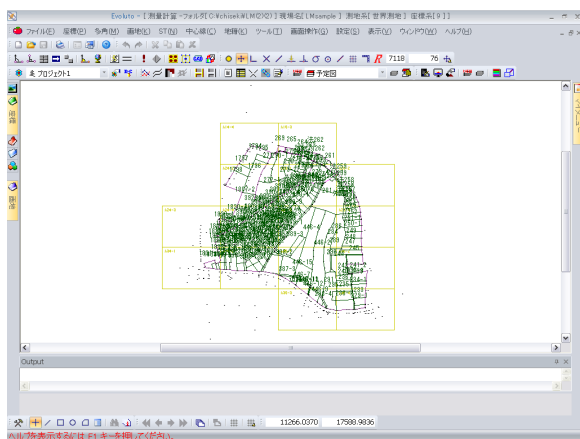
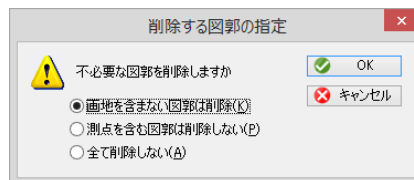
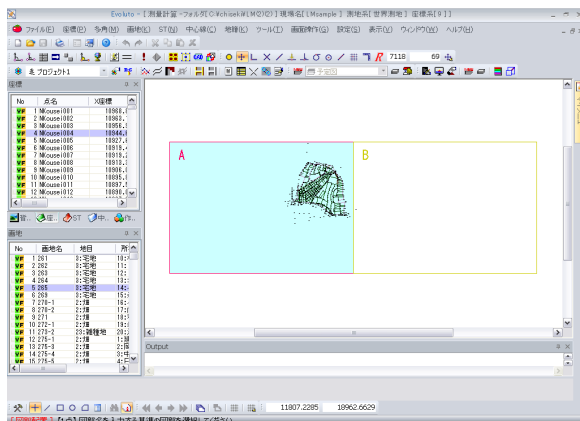
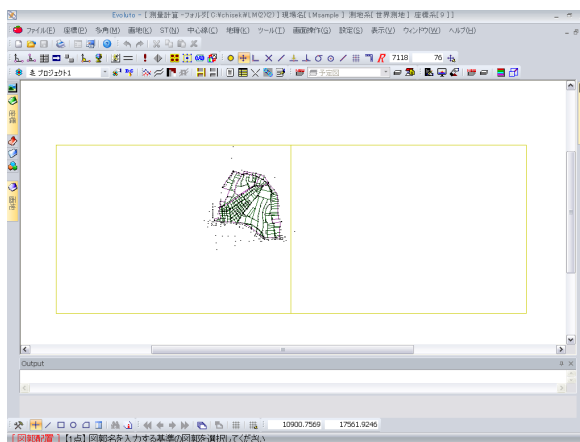
【大図郭の図郭名称を指示する】

【画地縮尺による図郭名を指示する】



❖ 大図郭の図郭指示

大図郭の名称を指示して、指定縮尺の名称を自動付与します。

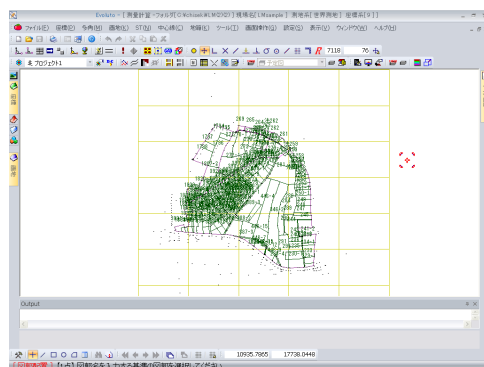


削除する図郭の指定方法を選択します。

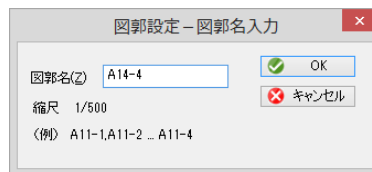
- 【画地を含まない図郭は削除】
- 【測点を含む図郭は削除しない】
- 【全て削除しない】

❖ 画地縮尺による図郭指示

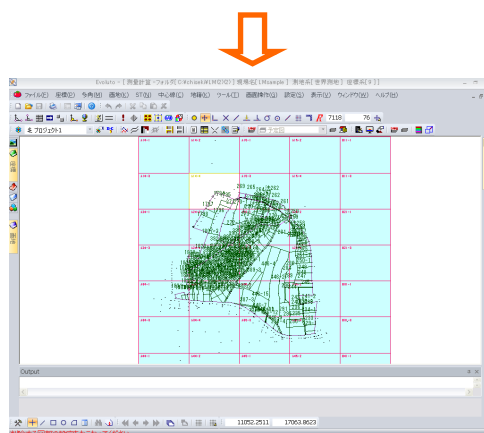
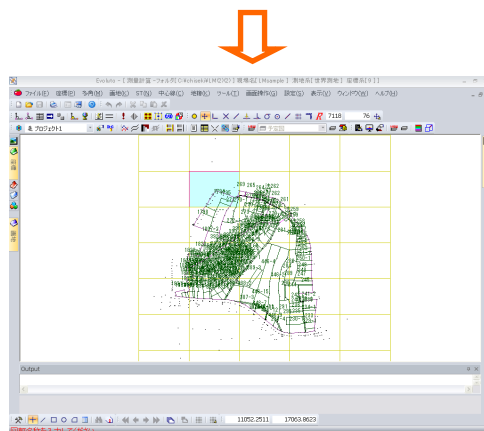
大図郭の名称を指示して、指定縮尺の名称を自動付与します。



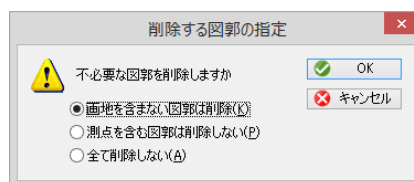
縮尺に応じた図郭(メッシュ)が表示されます。



基準となる図郭名称を指定し、名称を入力します。



全ての図郭に対して名称が表示されます。

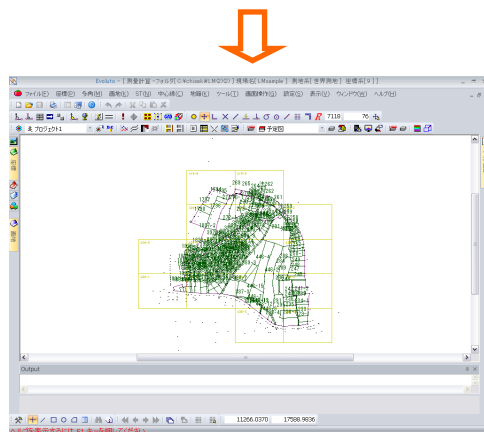


削除する図郭の指定方法を選択します。

【画地を含まない図郭は削除】

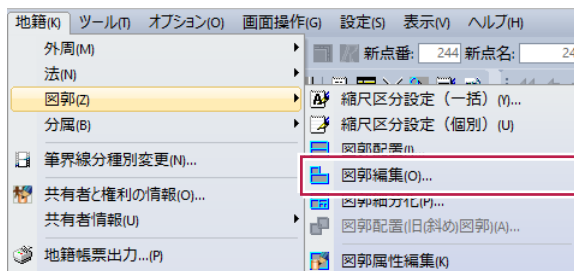
【測点を含む図郭は削除しない】

【全て削除しない】



➤ **図郭編集**

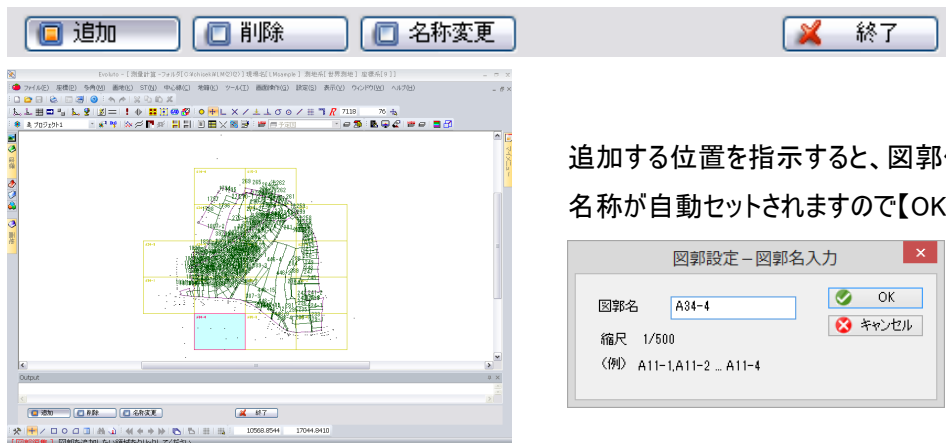
図郭(メッシュ)の編集として、追加・削除・名称変更をおこないます。



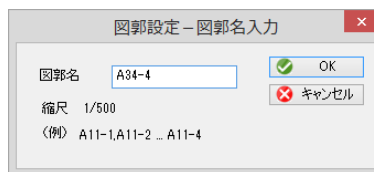
【地籍】-【図郭】-【図郭編集】を指示します。

◇ **図郭追加**

図郭を追加します。

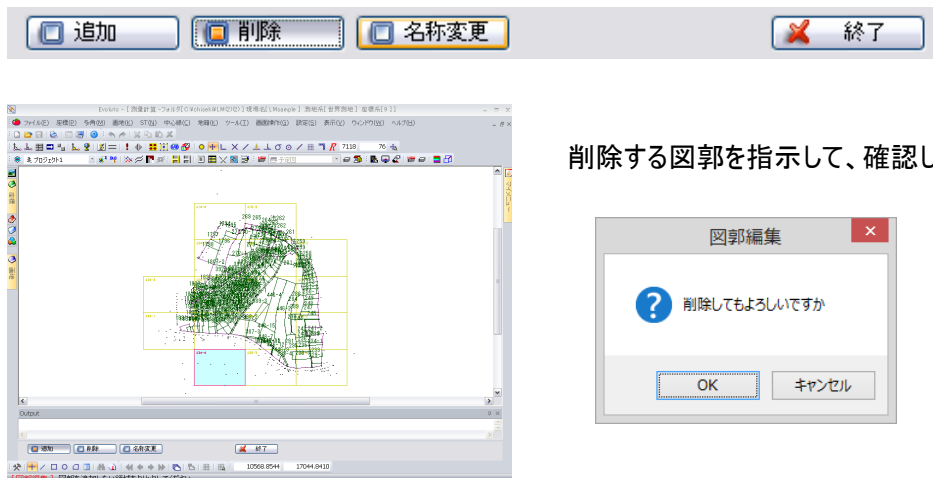


追加する位置を指示すると、図郭位置が表示され、名称が自動セットされますので【OK】で確定します。

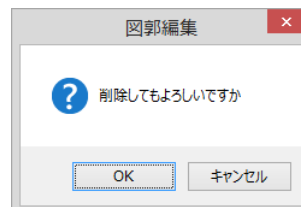


◇ **図郭削除**

図郭を削除します。

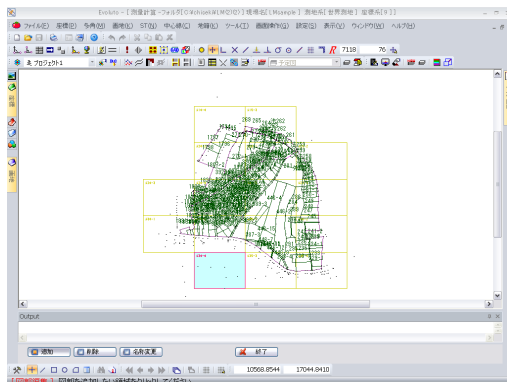


削除する図郭を指示して、確認します。

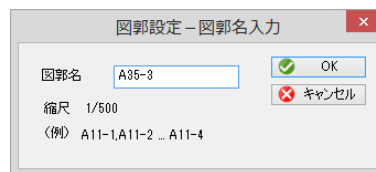


◇ 図郭名称変更

図郭の名称を変更します。

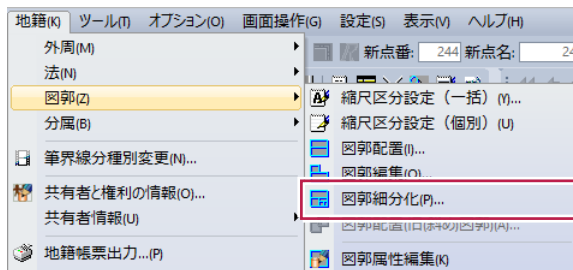


名称変更する図郭を指定して、名称を入力します。



➤ 図郭細分化

作成された図郭(メッシュ)を縮尺に応じて細分化します。

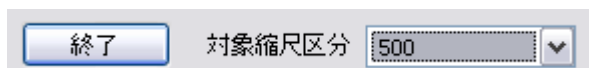


【地籍】-【図郭】-【図郭細分化】を指示します。

【1/5,000】 → 【1/2,500】または【1/1,000】

【1/1,000】 → 【1/500】

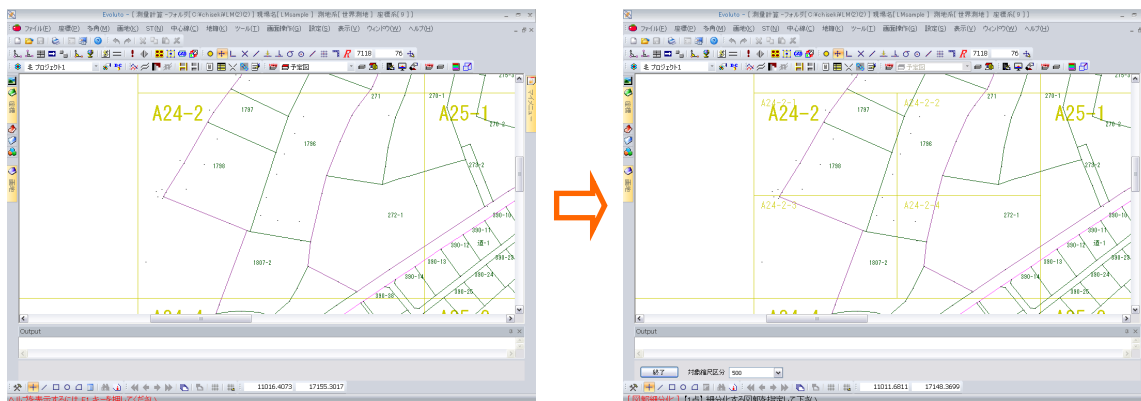
【1/500】 → 【1/250】



細分化された図郭名は自動作成されます。

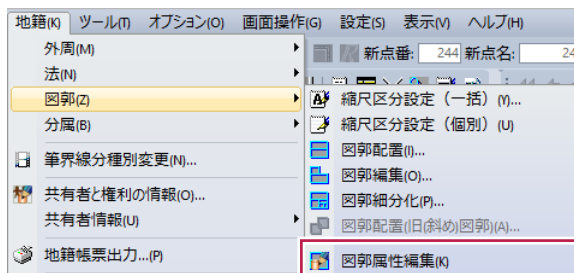
【1/2,500】と【1/250】で配置されている場合は、細分化コマンドを使用できません。

既に細分化された図郭を選択すると、以前の細分化の取消しになります。



➤ 図郭属性編集

作成された図郭(メッシュ)の属性を編集します。



【地籍】-【図郭】-【図郭属性編集】を指示します。

図郭情報編集のエディタが表示されます。

No	地図番号	縮尺	図郭左下X座標	図郭左下Y座標	図郭左上X座標	図郭左上Y座標	図郭...
1	江A0014-4	2:500	11000.000	18975.000	11125.000	18975.000	
2	江A0015-3	2:500	11000.000	17150.000	11125.000	17150.000	
3	江A0024-2	2:500	10875.000	18975.000	11000.000	18975.000	
4	江A0025-1	2:500	10875.000	17150.000	11000.000	17150.000	
5	江A0025-2	2:500	10875.000	17925.000	11000.000	17925.000	
6	江A0024-3	2:500	10750.000	18900.000	10875.000	18900.000	
7	江A0024-4	2:500	10750.000	18975.000	10875.000	18975.000	
8	江A0025-3	2:500	10750.000	17150.000	10875.000	17150.000	
9	江A0025-4	2:500	10750.000	17925.000	10875.000	17925.000	



属性名	設定値
<input checked="" type="checkbox"/> 実施機関名	江東区役所
<input checked="" type="checkbox"/> 実施区分	1:国土調査法に基づく地籍
<input checked="" type="checkbox"/> 測図年月1	0:不明
<input checked="" type="checkbox"/> 測図年月2	1:国土調査法に基づく地籍図
<input type="checkbox"/> 測図年月3	2:公共測量による確定図
<input type="checkbox"/> 測図年月4	3:土地改良の確定図
<input type="checkbox"/> 測図年月5	4:土地区画整理事業
<input type="checkbox"/> 測図年月6	5:民間事業
<input type="checkbox"/> 測図年月7	6:その他

【一括変換】では以下の項目の一括設定が可能です。

【実施機関名】

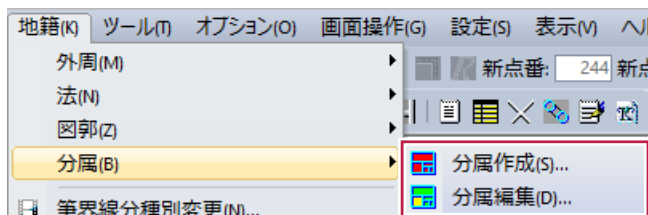
【実施区分】

【調査年月】

【測図年月】

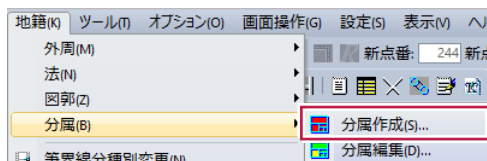
● 第 8 章 分属データ作成

画地が配置した図郭(メッシュ)の 2 枚以上にまたがる場合に分属データを作成します。

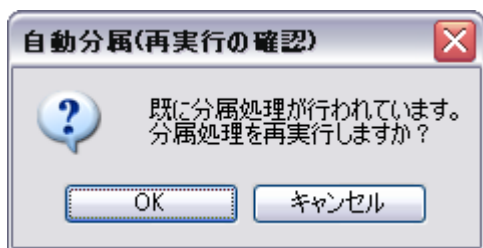


➤ 分属作成

画地に対して自動分属処理を行います。



【地籍】-【分属】-【分属作成】を指示します。



属性処理を実行する場合は以下の通りです。

【新規に分属データを作成する場合】

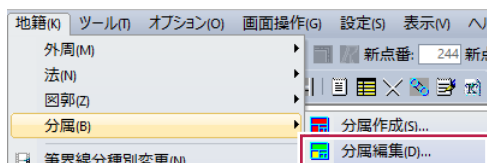
【画地の結線データが変更された場合】

自動分属処理となります。

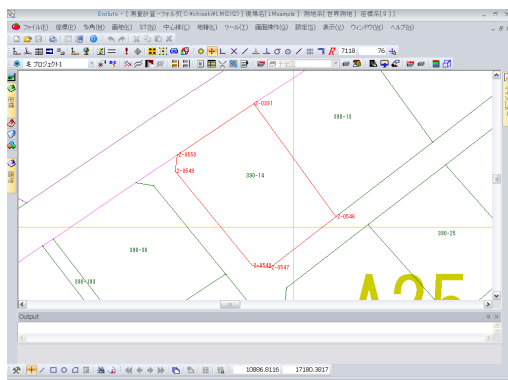
既に分属処理が行われている場合は、確認メッセージが表示されます。

➤ 分属編集

画地に対して分属編集処理を行います。

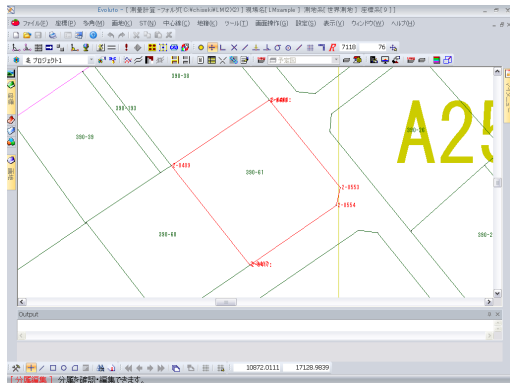


【地籍】-【分属】-【分属編集】を指示します。

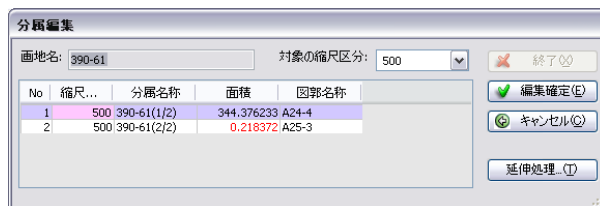


編集する画地を指定して、分属の情報を確認します。

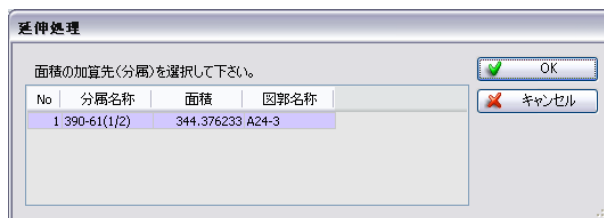




分属結果で微小面積が存在する場合は、図郭の延伸処理が可能です。

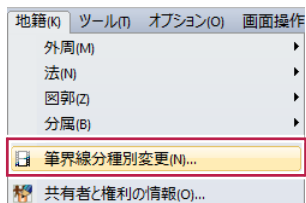


面積を加算する分属情報を選択します。



● 第9章 筆界線分種別変更

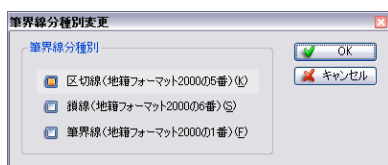
筆の境界線分の属性として、地籍フォーマット 2000(筆・長狭物図形情報ファイル(POL ファイル))にあわせた編集を行います。



【地籍】-【筆界線分種別変更】を指示します。



編集した結果をモニタ上で確認するために、予め【設定】-【表示設定】で【画地境界を詳細に表示する】のチェックをオンにしてください。



変更したい種別として、【区切線】【鎖線】【筆界線】から選択します。

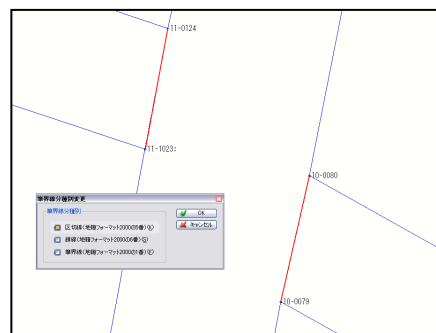
モニター上から、線分種別を変更したい境界を選択します。

(複数可) (右図)の赤い箇所

【OK】ボタンで実行後、対象線分が変更されたのが確認できます(選択対象の線分に含まれる筆はすべて対象になります)

(注)このコマンドで線分種別を変更していない筆は、POLファイルにおいて“筆界線”の種別で出力されます。

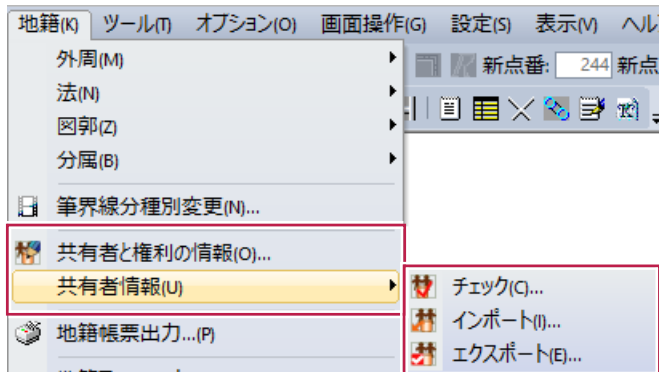
「外周・字界作成」コマンドで字界を作成してある場合は所定のコード(2~4)が出力されます。字界と区切線が重複している場合は、字界線が優先されます。



● 第 10 章 共有者編集

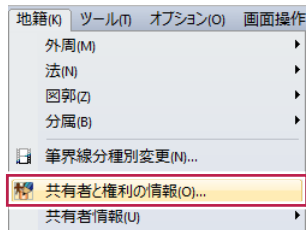
➤ 共有者情報

共有者の編集・インポート・エクスポートをおこないます。



➤ 共有者情報の編集

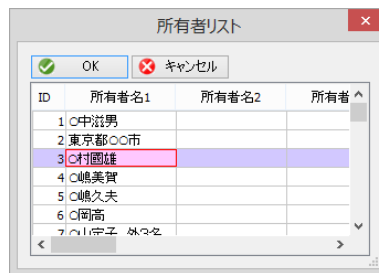
共有者情報を編集します。



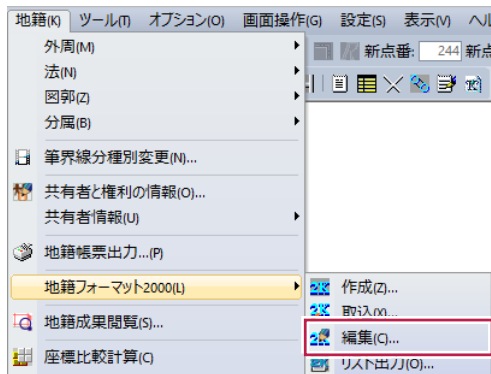
【地籍】-【共有者と権利の情報】を指示します。



対象画地をモニタから選択し、所有者・旧所有者の変更、共有者の追加・変更・削除を行います。



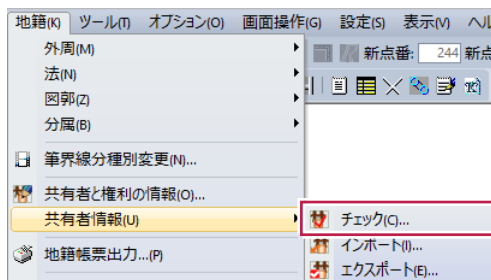
共有者情報は、【地籍フォーマット 2000】-【編集】の【筆属性情報】で確認することができます。



共有者情報を編集し、登録後は【共有者情報の有無】が【有り】【所有者】が【他〇名】に変更されます。

➤ 共有者情報のチェック

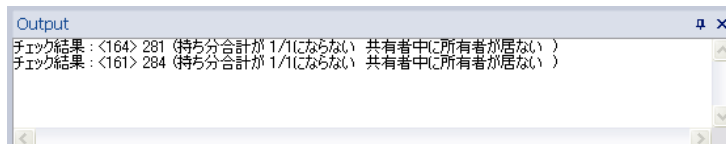
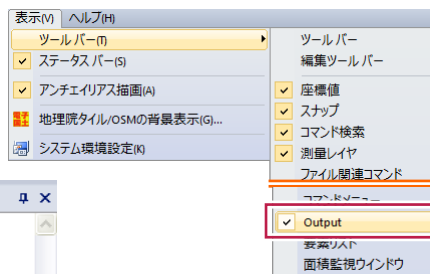
共有者情報をチェックします。



【地籍】-【共有者情報】-【チェック】を指示します。



【チェック】の結果を表示するために、【ツールバー】-【Output】を表示させます。



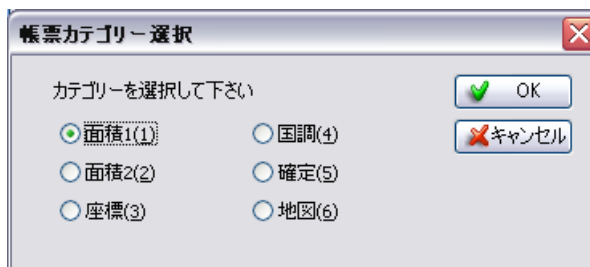
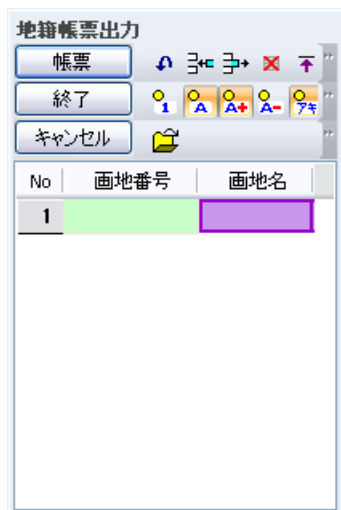
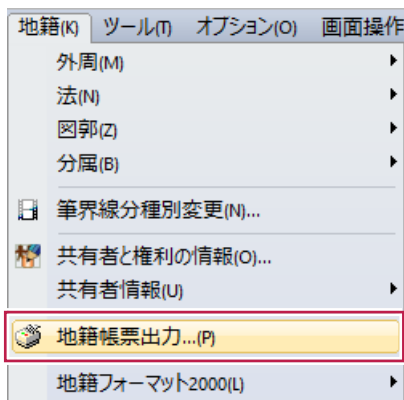
【持分の合計】と【所有者情報】の検査をおこない

エラーがあれば【Output】に対象の筆番号が表示されます。

編集は【地籍】-【共有者と権利の情報】で変更します。

● 第 11 章 地籍帳票の出力

地籍帳票の出力をおこないます。

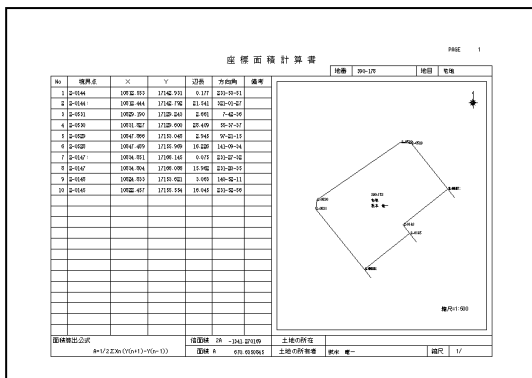


以下の分類に分けています。

【面積 1】【面積 2】【座標】【国調】【確定】【地図】

➤ 帳票内地図条件の設定

【面積 1】-【一筆座標面積計算書(罫線)】の作図条件を設定します。



【帳票内地図条件】

【基本設定】

豆図条件設定

基本設定

主面地

隣地

その他

マージン
上辺: 0.0
左辺: 0.0 右辺: 0.0
下辺: 0.0

特線
 描かない
 描く

スケール
 自動
 半自動
 固定 1/ 1

スケール文字
 描かない
 1/XXXX
 XXXX

タイトルID: 縮尺= 1:XXXX タイトルと値との離れ: 0.0
 右上
 右下
 左上
 左下
高さ: 2.0 幅: 2.0

方位マーカー
 描かない
 描く
ファイル名: 方位記号1.PRT
 右上
 右下
 左上
 左下
基準からの離れ 横: 0.0 縦: 0.0
大きさ 横: 5.0 縦: 10.0

OK キャンセル ヘルプ

【主面地】

豆図条件設定

基本設定

主面地

隣地

その他

境界点
 描かない
 描く 形状: 1: ①
 条件
 測点
 測点優先
外径: 0.0 内径: 0.0
 描かない
 点名
 点番
 連番
高さ: 2.0 幅: 2.0 離れ: 0.1

辺長
 描かない
 描く 高さ: 2.0 幅: 2.0

面地内文字
 描かない
 描く
タイトルと値との離れ: 2.0

	描画	高さ	幅
面地名	<input type="radio"/>	2.00	2.00
所有者	<input type="radio"/>	2.00	2.00
地目	<input type="radio"/>	2.00	2.00
面積	<input checked="" type="radio"/>	2.00	2.00
大字	<input checked="" type="radio"/>	2.00	2.00
小字	<input checked="" type="radio"/>	2.00	2.00
住所	<input checked="" type="radio"/>	2.00	2.00
台帳面積	<input checked="" type="radio"/>	2.00	2.00
経緯座標	<input checked="" type="radio"/>	2.00	2.00

OK キャンセル ヘルプ

【隣地】

豆図条件設定

基本設定

主面地

隣地

その他

境界点
 描かない
 描く 形状: 1: ①
 条件
 測点
 測点優先
 描かない
 点名
 点番
 連番
高さ: 2.0 幅: 2.0

境界線
 描かない
 線として描く
 描く
 枠内面地の境界線全て作画
線長: 10.0

面地内文字
 描かない
 描く
タイトルと値との離れ: 2.0

	描画	高さ	幅
面地名	<input checked="" type="radio"/>	2.00	2.00
所有者	<input checked="" type="radio"/>	2.00	2.00
地目	<input checked="" type="radio"/>	2.00	2.00
面積	<input checked="" type="radio"/>	2.00	2.00
大字	<input checked="" type="radio"/>	2.00	2.00
小字	<input checked="" type="radio"/>	2.00	2.00
住所	<input checked="" type="radio"/>	2.00	2.00
台帳面積	<input checked="" type="radio"/>	2.00	2.00

OK キャンセル ヘルプ

【その他】

豆図条件設定

基本設定

主面地

隣地

その他

境界点
 描かない
 描く 形状: 1: ①
 条件
 測点
 測点優先
 右上
 右下
 左上
 左下
基準からの離れ 横: 0.0 縦: 0.0
高さ: 2.0 幅: 2.0
 図郭線描かない
 図郭線描く

その他
図郭
 描かない
 描く
図郭名
 描かない
 描く
 右上
 右下
 左上
 左下
基準からの離れ 横: 0.0 縦: 0.0
高さ: 2.0 幅: 2.0
 図郭線描かない
 図郭線描く

図郭点
 描かない
 描く
面積
 描かない
 描く

OK キャンセル ヘルプ

【字指定】

作業対象画地を選択します

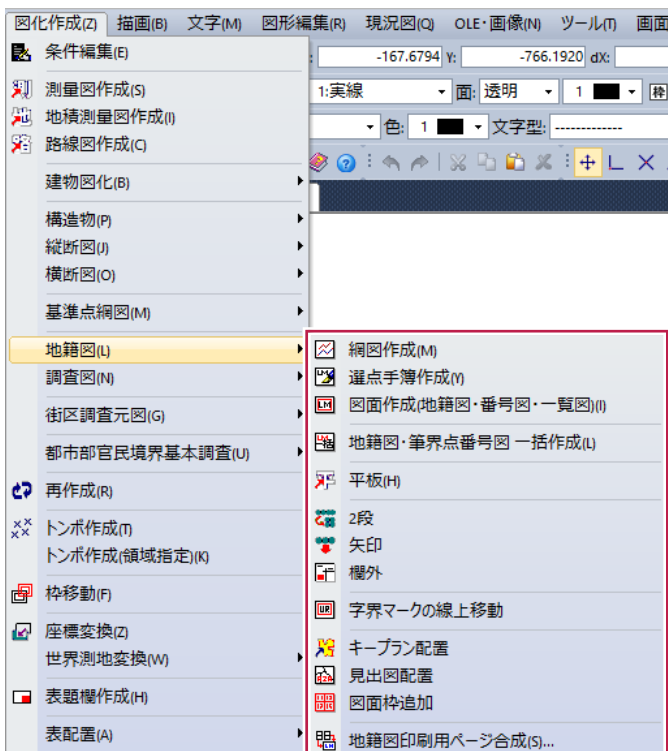
大字: 0:全て
小字: 0:全て

全選択 全解除

画地番号	画地名	地目	所有者	大字	小字
1	913-1	3:宅地	1:中沼男	1:田	1:宇○郷
2	914-2	3:宅地	3:村岡雄	1:田	1:宇○郷
3	914-1	3:宅地	3:村岡雄	1:田	1:宇○郷
4	915-1	3:宅地	4:嶋美賀	1:田	1:宇○郷
5	916-1	2:畑	7:山定子...	1:田	1:宇○郷
6	916-2	3:宅地	8:山康作...	1:田	1:宇○郷
7	916-3	19:公衆用...	2:東京都...	1:田	1:宇○郷
8	915-4	3:宅地	6:岡高	1:田	1:宇○郷
9	915-7	3:宅地	6:岡高	1:田	1:宇○郷
10	915-3	3:宅地	5:嶋久夫	1:田	1:宇○郷
11	915-5	19:公衆用...	2:東京都...	1:田	1:宇○郷
12	921-1	3:宅地	13:中塚吉	1:田	1:宇○郷
13	921-2	19:公衆用...	2:東京都...	1:田	1:宇○郷
14	913-2	19:公衆用...	2:東京都...	1:田	1:宇○郷
15	919-1	2:畑	13:中塚吉	1:田	1:宇○郷
16	919-2	19:公衆用...	2:東京都...	1:田	1:宇○郷
17	920-2	19:公衆用...	2:東京都...	1:田	1:宇○郷

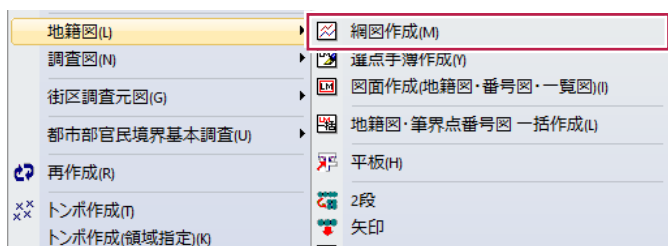
● 第12章 図面作成

地籍調査の図面作成・編集をおこないます。



➤ 網図の作成

網図を作成します。



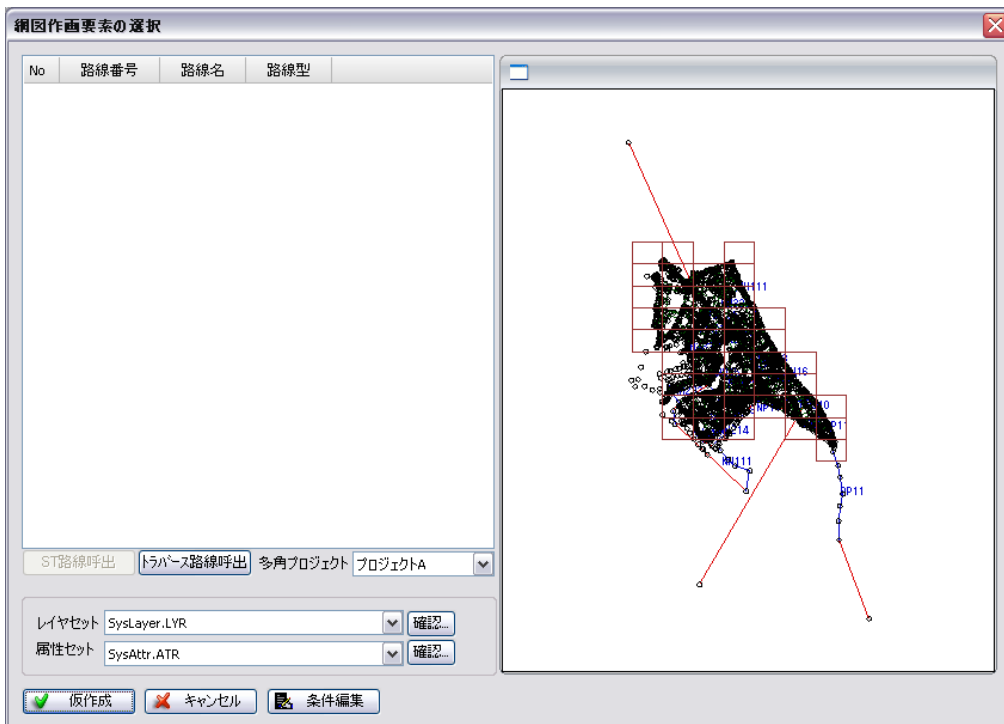
【地籍図】-【網図作成】を指示します。

◇ 図化条件の読込



地籍網図条件を選択します。

◇ 網図作画要素の選択



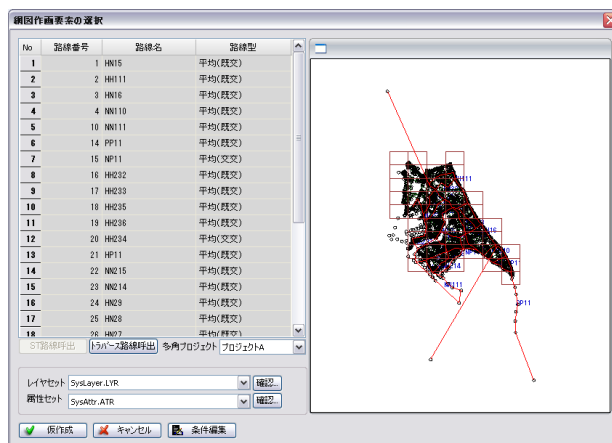
【トラバース路線呼出】で、作図する路線を選択します。



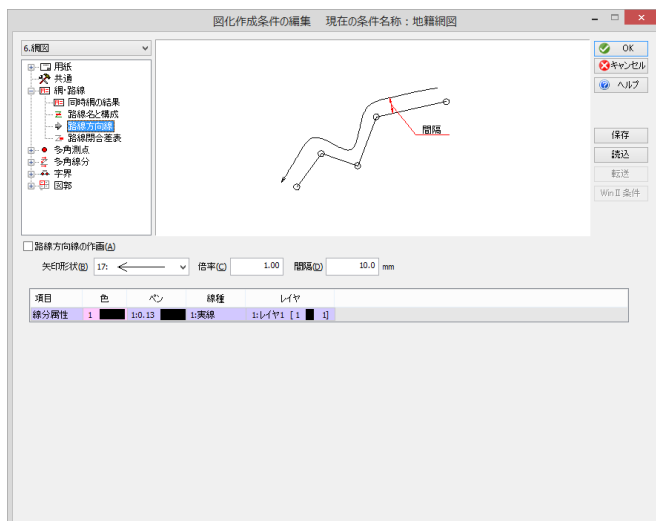
路線が展開され、モニタ表示します。

【路線名】【次数】項目欄を指示して並べ替えが可能です。

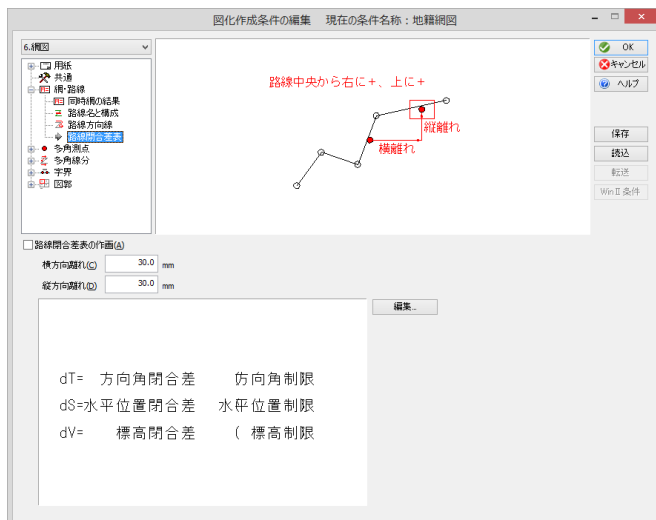
全路線を選択しますので、右ボタンで【一覧選択】-【全てを選択】を指示し【OK】します。



【網・路線】-【路線方向線】



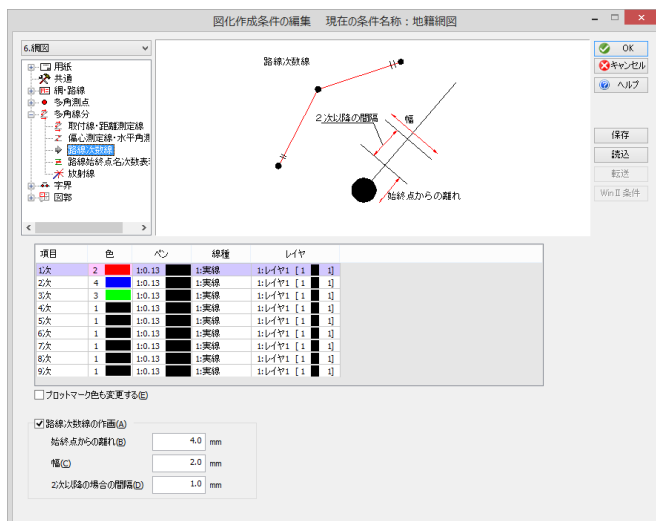
【網・路線】-【路線閉合差表】



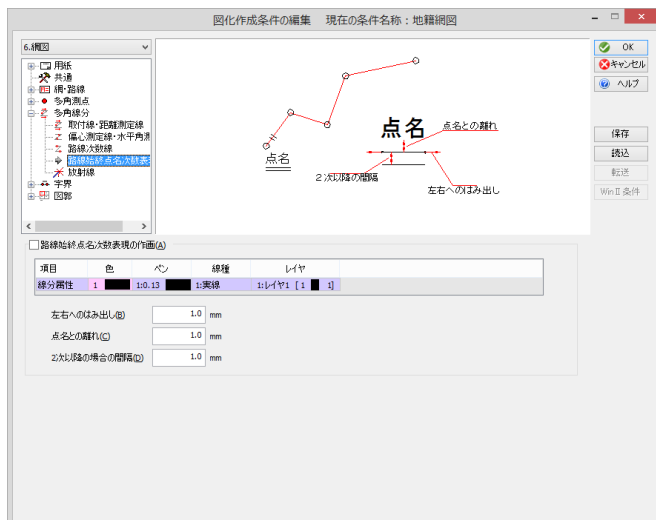
【多角測点】-【マーク】



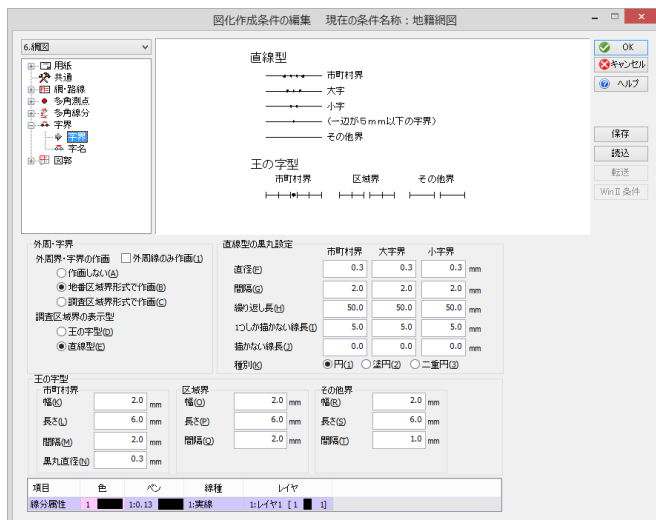
【多角線分】-【路線次数線】



【多角線分】-【路線始終点名次数表現】



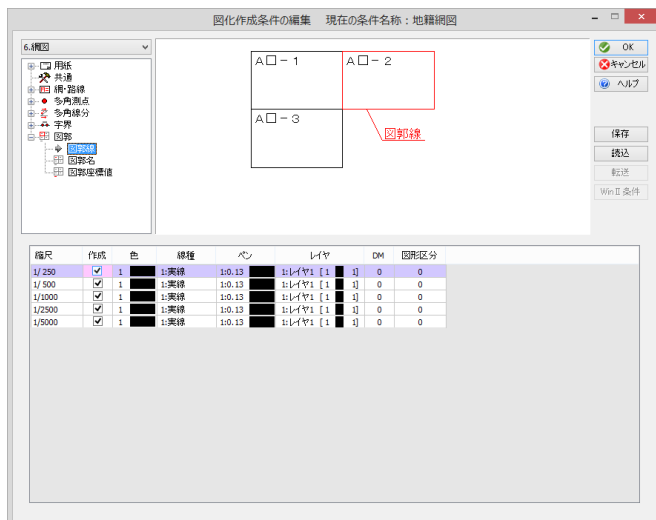
【字界】-【字界】



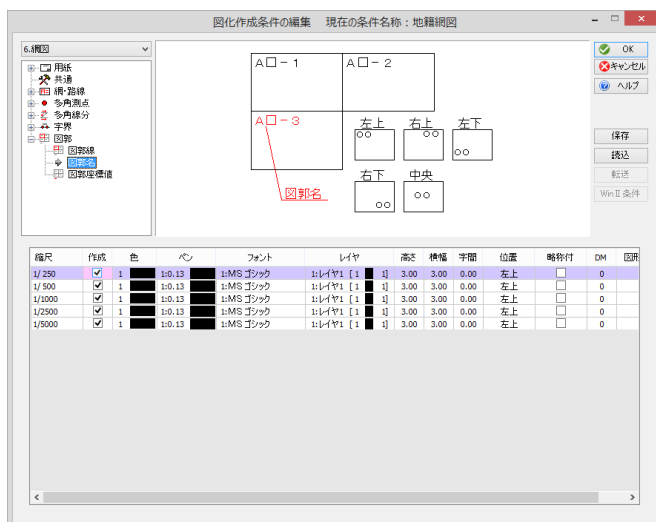
【字界】-【字名】



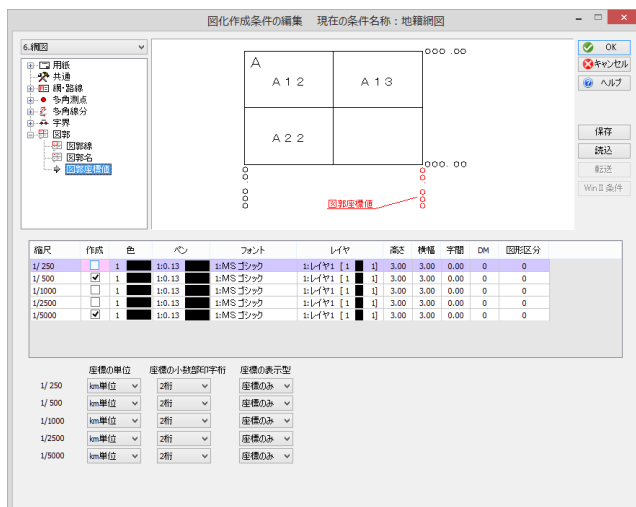
【図郭】-【図郭線】



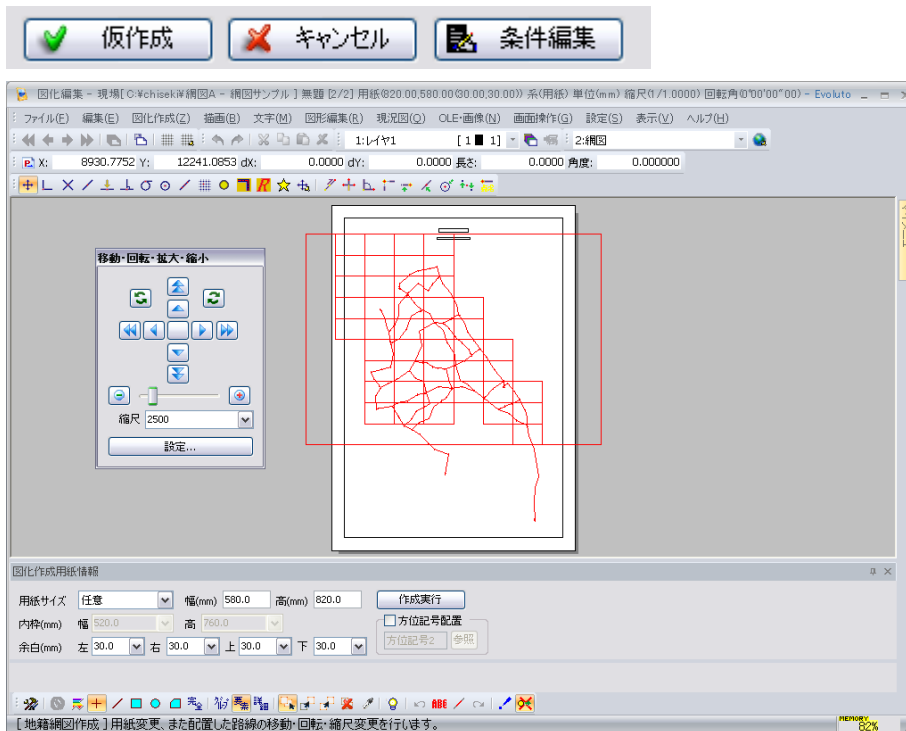
【図郭】-【図郭名】



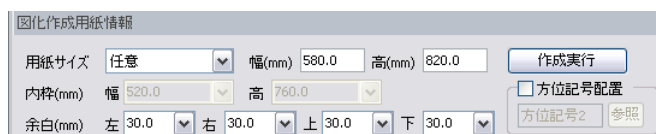
【図郭】-【図郭座標値】

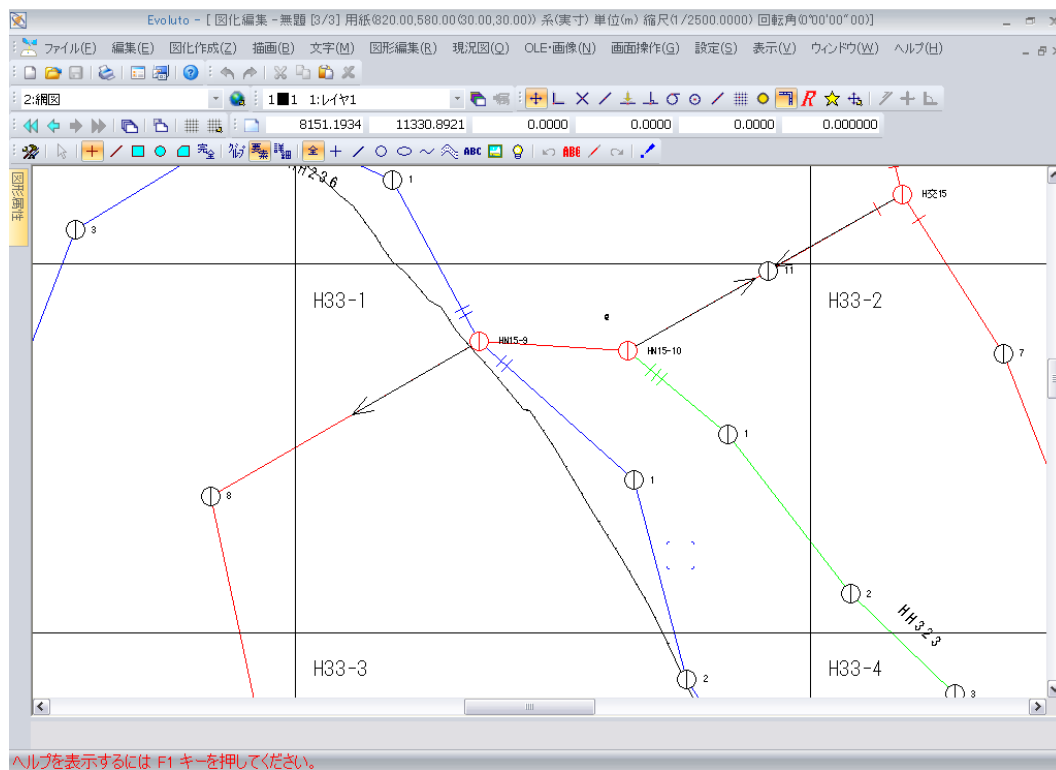
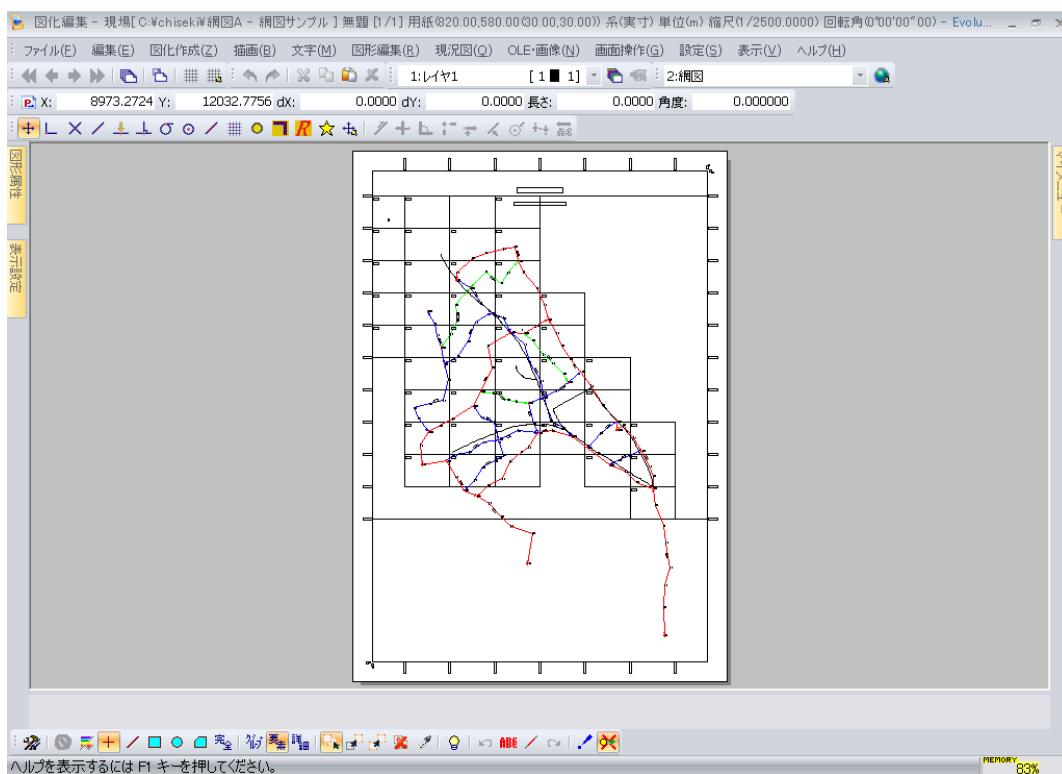


● 網図の仮作成



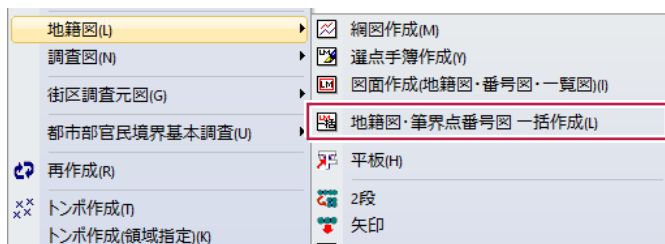
【移動・回転・拡大・縮小】で位置を微調整します。
位置確定後に【作成実行】を指示します。





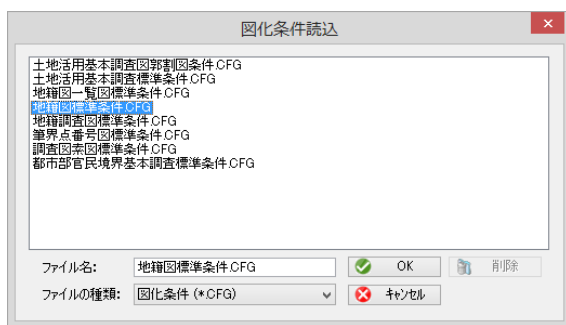
➤ 地籍図の作成

地籍図を作成します。



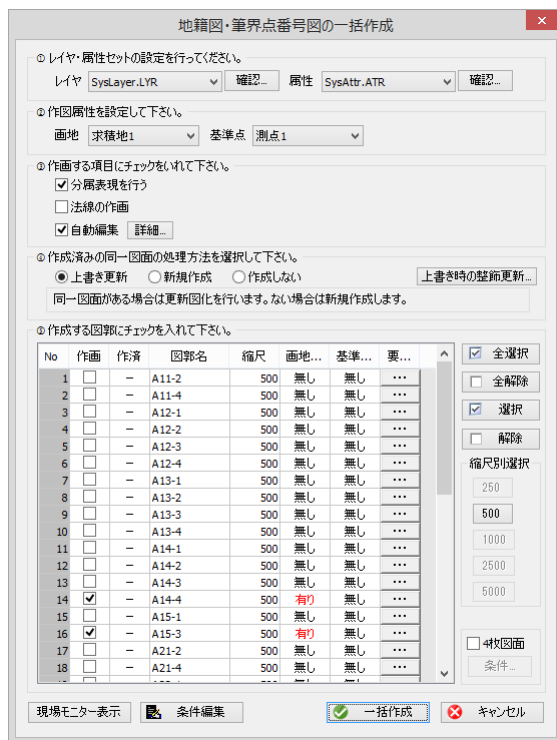
【図化作成】-【地籍図】-【地籍図・筆界点番号図一括作成】を指示します。

◇ 図化条件の読込



【地籍図標準条件】を選択します。

◇ 地籍図の一括作成の設定



地籍図の一括作成の条件を設定します。

①レイヤ、属性セットの設定

① レイヤ・属性セットの設定を行ってください。

レイヤ 確認... 属性 確認...

②作図属性の設定

② 作図属性を設定して下さい。

画地 基準点

③作図項目の設定

③ 作画する項目にチェックをいれて下さい。

分属表現を行う
 法線の作画
 自動編集

④同一図面の処理方法の設定

④ 作成済みの同一図面の処理方法を選択して下さい。

上書き更新 新規作成 作成しない

同一図面がある場合は更新図化を行います。ない場合は新規作成します。

⑤作図する図郭の設定

⑤ 作成する図郭にチェックを入れて下さい。

No	作画	作済	図郭名	縮尺	画地...	基準...	要...
1	<input type="checkbox"/>	-	A11-2	500	無し	無し	...
2	<input type="checkbox"/>	-	A11-4	500	無し	無し	...
3	<input type="checkbox"/>	-	A12-1	500	無し	無し	...
4	<input type="checkbox"/>	-	A12-2	500	無し	無し	...
5	<input type="checkbox"/>	-	A12-3	500	無し	無し	...
6	<input type="checkbox"/>	-	A12-4	500	無し	無し	...
7	<input type="checkbox"/>	-	A13-1	500	無し	無し	...
8	<input type="checkbox"/>	-	A13-2	500	無し	無し	...
9	<input type="checkbox"/>	-	A13-3	500	無し	無し	...
10	<input type="checkbox"/>	-	A13-4	500	無し	無し	...
11	<input type="checkbox"/>	-	A14-1	500	無し	無し	...
12	<input type="checkbox"/>	-	A14-2	500	無し	無し	...
13	<input type="checkbox"/>	-	A14-3	500	無し	無し	...
14	<input checked="" type="checkbox"/>	-	A14-4	500	有り	無し	...
15	<input type="checkbox"/>	-	A15-1	500	無し	無し	...
16	<input checked="" type="checkbox"/>	-	A15-3	500	有り	無し	...
17	<input type="checkbox"/>	-	A21-2	500	無し	無し	...
18	<input type="checkbox"/>	-	A21-4	500	無し	無し	...

全選択
 全解除
 選択
 解除
 縮尺別選択

 4枚図面

● 地籍図の作図条件の設定

現場モニター表示 **条件編集** 一括作成 キャンセル

【図根点】-【図根点設定】

図化作成条件の編集 現在の条件名称：地籍図標準条件

形状条件
 条件 ... 指定した形状、内径、外径で作成。
 測点 ... 現場データの測点形状を参照。
 測点優先 ... 現場データの測点形状を参照。
 現場の形状が「なし」の場合は、指定した形状、内径、外径で作成。

DWコード ... デジタルマッピング
 分種コード(4桁)
 ※ 0は無効
 図形区分 ... デジタルマッピング
 図形区分0～89まで。

形状	内径	外径	形状条件	色	ペン	レイヤ	DM	図形区分
基本三角点	107: △	0.10 3.50	条件 2	10.13	1レイヤ [1] 1]	0	0	
四角三角点	107: △	0.10 3.50	条件 2	10.13	1レイヤ [1] 1]	0	0	
標定点	108: ○	0.10 2.50	条件 2	10.13	1レイヤ [1] 1]	0	0	
地籍図根三角点	109: ∇	0.10 3.50	条件 2	10.13	1レイヤ [1] 1]	0	0	
地籍図根多角点	110: ○	0.10 2.50	条件 2	10.13	1レイヤ [1] 1]	0	0	
補測図根点	111: ○	0.10 2.00	条件 2	10.13	1レイヤ [1] 1]	0	0	
その他の図根点	118: ○	0.10 2.00	条件 2	10.13	1レイヤ [1] 1]	0	0	
航測図根点	127: ○	0.10 2.50	条件 2	10.13	1レイヤ [1] 1]	0	0	
図解図根点	119: ○	0.30 2.00	条件 2	10.13	1レイヤ [1] 1]	0	0	
19条2項の図根(指定点)	101: ○	0.10 1.50	条件 2	10.13	1レイヤ [1] 1]	0	0	
公示標定点	101a: ○	0.10 1.50	条件 2	10.13	1レイヤ [1] 1]	0	0	
街区三角点	101: ○	0.10 1.50	条件 2	10.13	1レイヤ [1] 1]	0	0	
街区多角点	101b: ○	0.10 1.50	条件 2	10.13	1レイヤ [1] 1]	0	0	
街区三角点(節点)	1: ○	0.10 1.20	条件 1	10.13	1レイヤ [1] 1]	0	0	
街区多角点(節点)	1: ○	0.10 1.20	条件 1	10.13	1レイヤ [1] 1]	0	0	
補測点	1: ○	0.10 1.20	条件 1	10.13	1レイヤ [1] 1]	0	0	

図根基準線のマーク変更
 緑色: 1 [色選択] 中塗り色: 3 [色選択]

【図根点】-【筆界基準杭】

図化作成条件の編集 現在の条件名称：地籍図標準条件

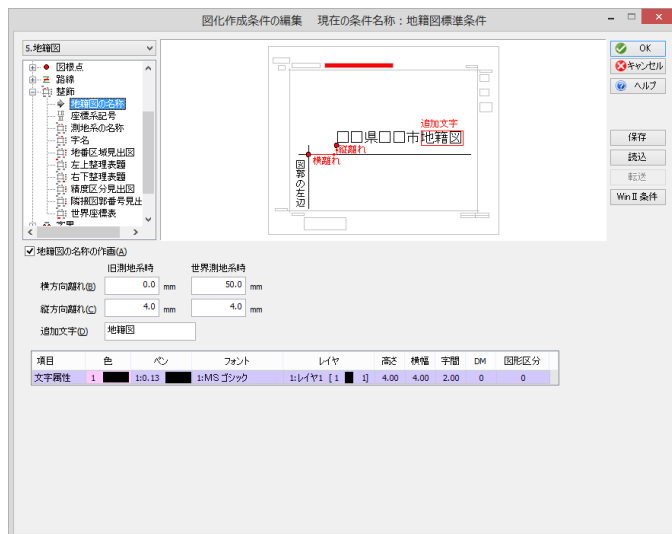
形状条件
 条件 ... 指定した形状、内径、外径で作成。
 測点 ... 現場データの測点形状を参照。
 測点優先 ... 現場データの測点形状を参照。
 現場の形状が「なし」の場合は、指定した形状、内径、外径で作成。

DWコード ... デジタルマッピング
 分種コード(4桁)
 ※ 0は無効
 図形区分 ... デジタルマッピング
 図形区分0～89まで。

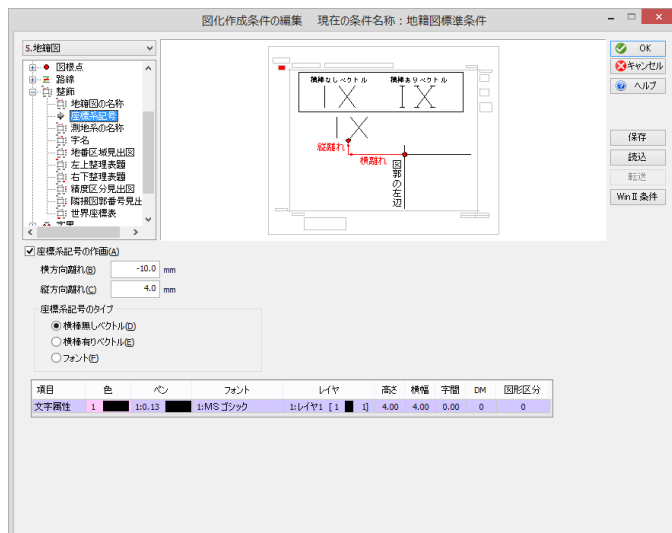
形状	内径	外径	形状条件	色	ペン	レイヤ	DM	図形区分
筆界基準杭	101: ○	0.10 2.00	2	10.13	1レイヤ [1] 1]	0	0	

筆界基準線を筆界基準杭をカギングする(C)

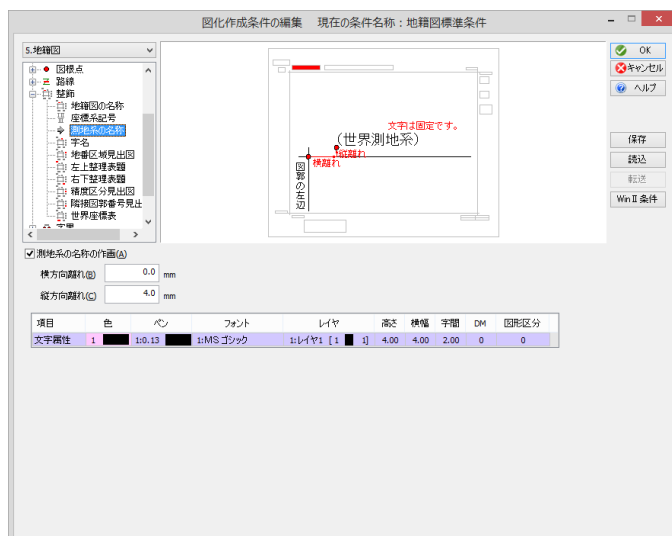
【整飾】-【地籍図の名称】



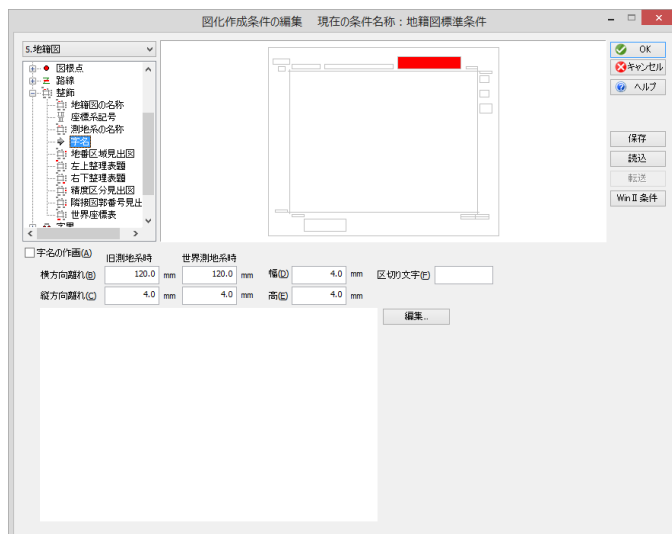
【整飾】-【座標系記号】



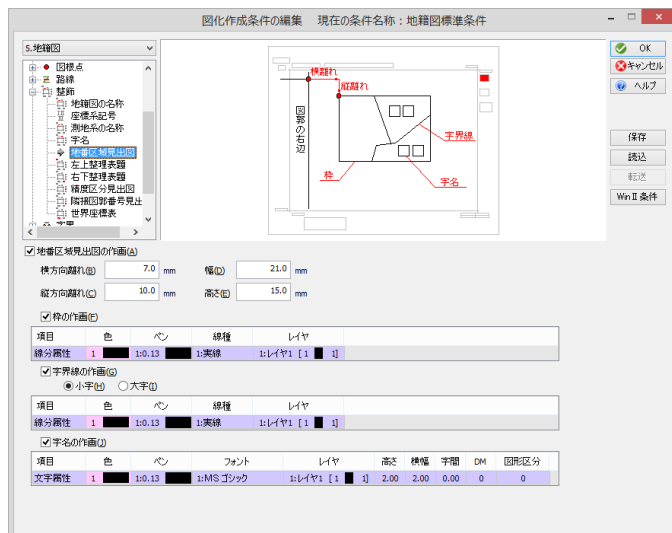
【整飾】-【測地系の名称】



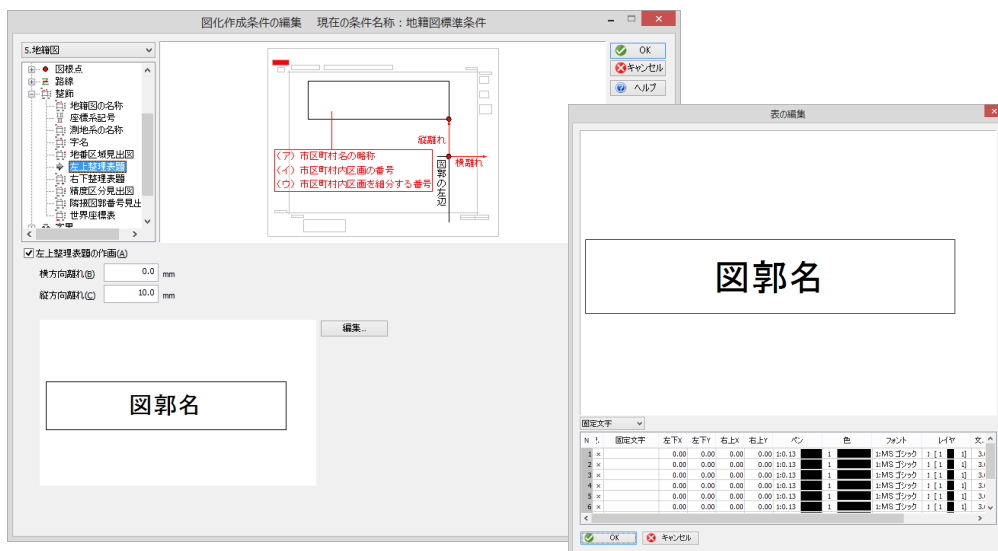
【整飾】-【字名】



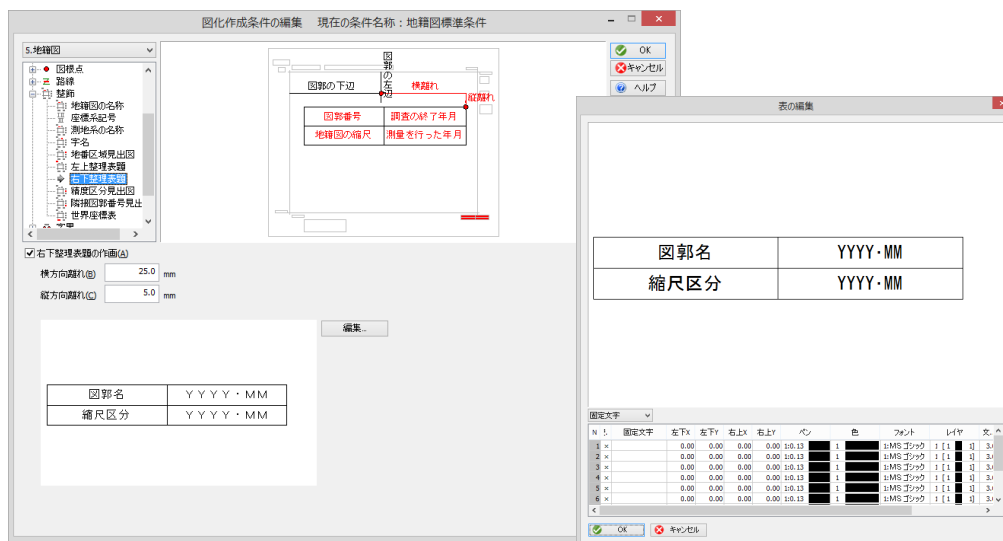
【整飾】-【地番区域見出図】



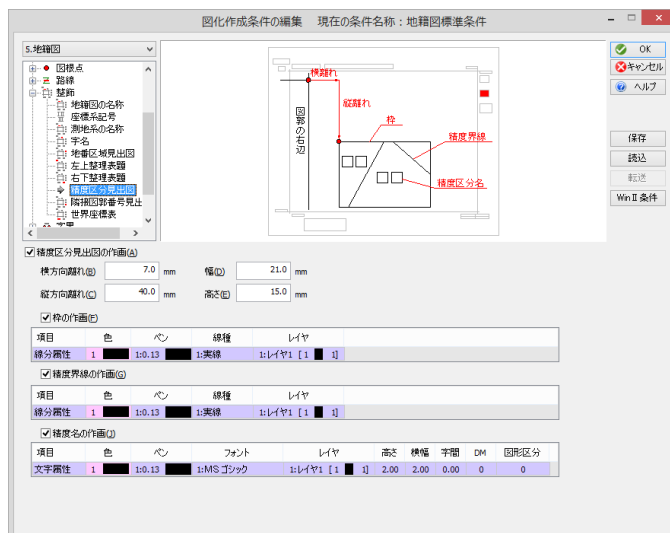
【整飾】-【左上整理表題】



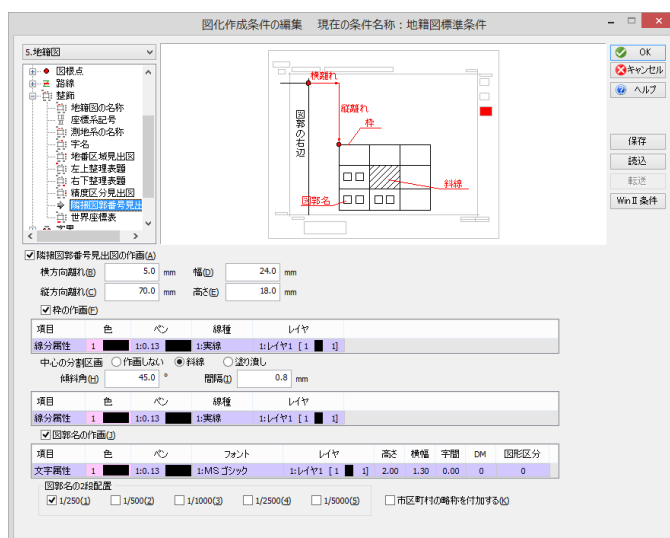
【整飾】-【右下整理表題】



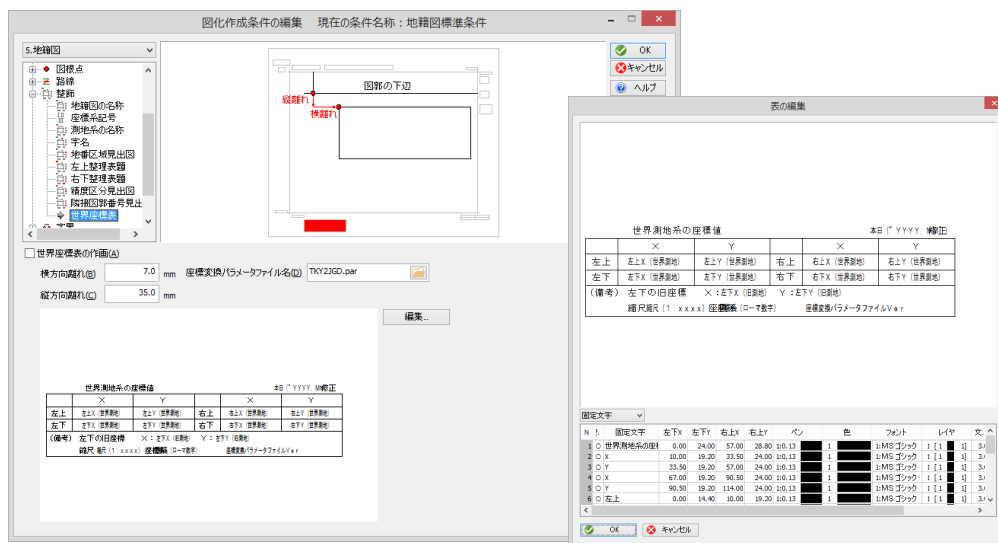
【整飾】-【精度区分見出図】



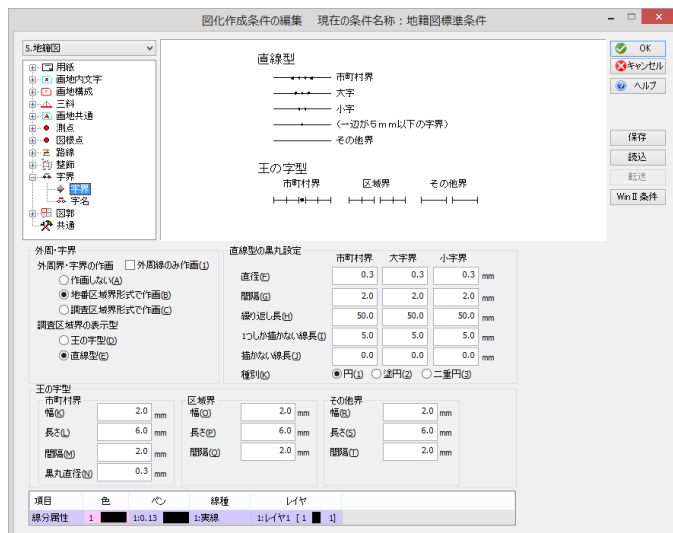
【整飾】-【隣接図郭番号見出し図】



【整飾】-【世界座標系】



【字界】-【字界】



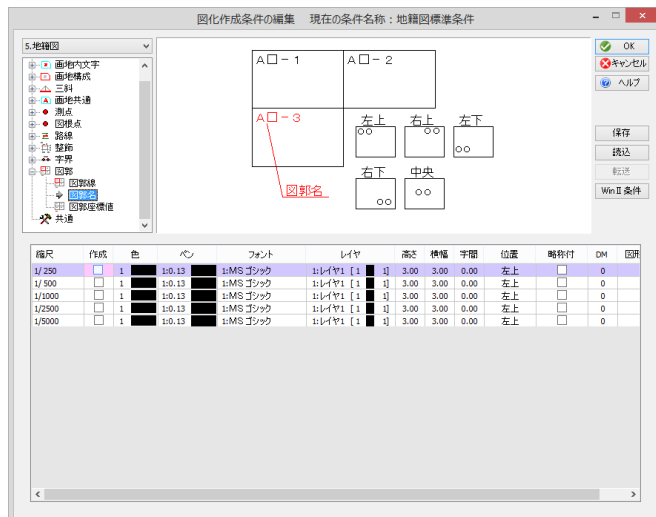
【字界】-【字名】



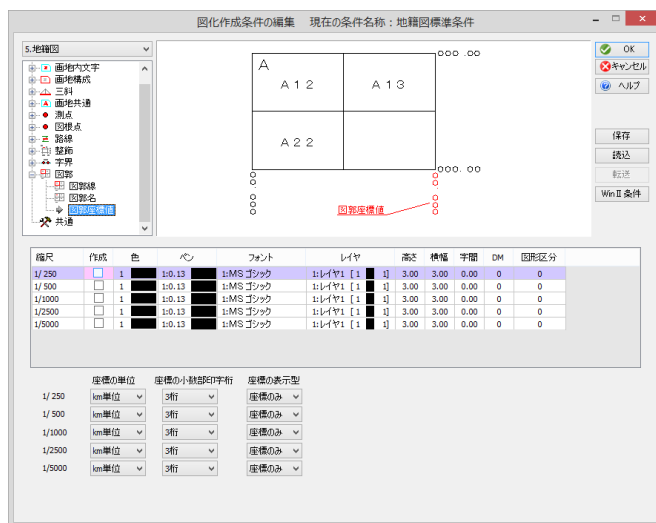
【図郭】-【図郭線】



【図郭】-【図郭名】

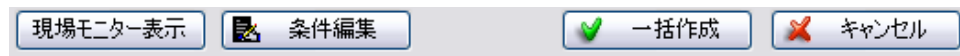


【図郭】-【図郭座標値】

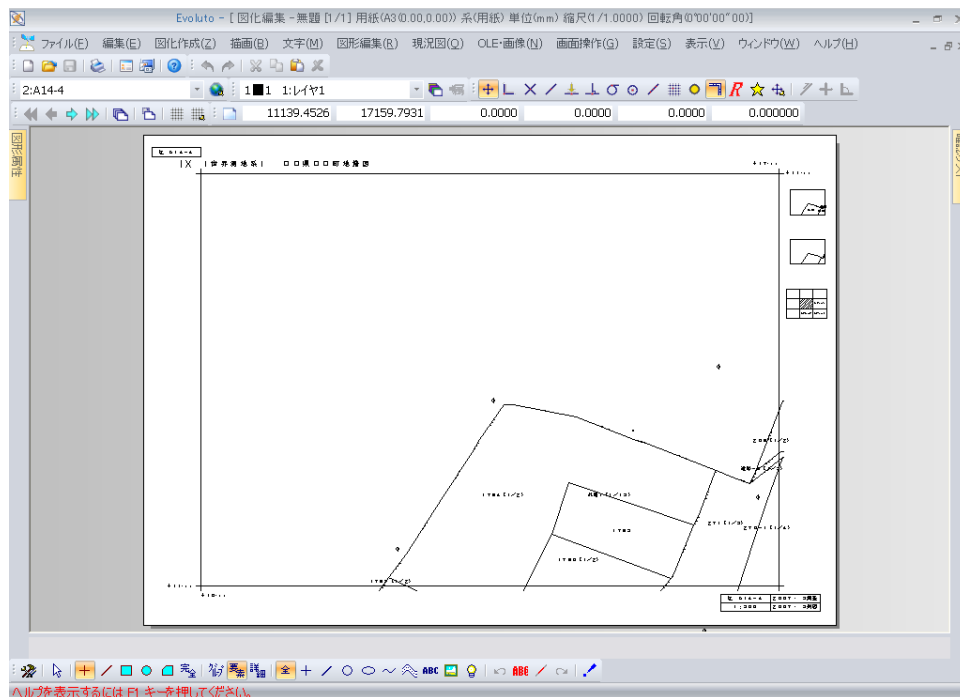


◇ 地籍図の一括作成の実行

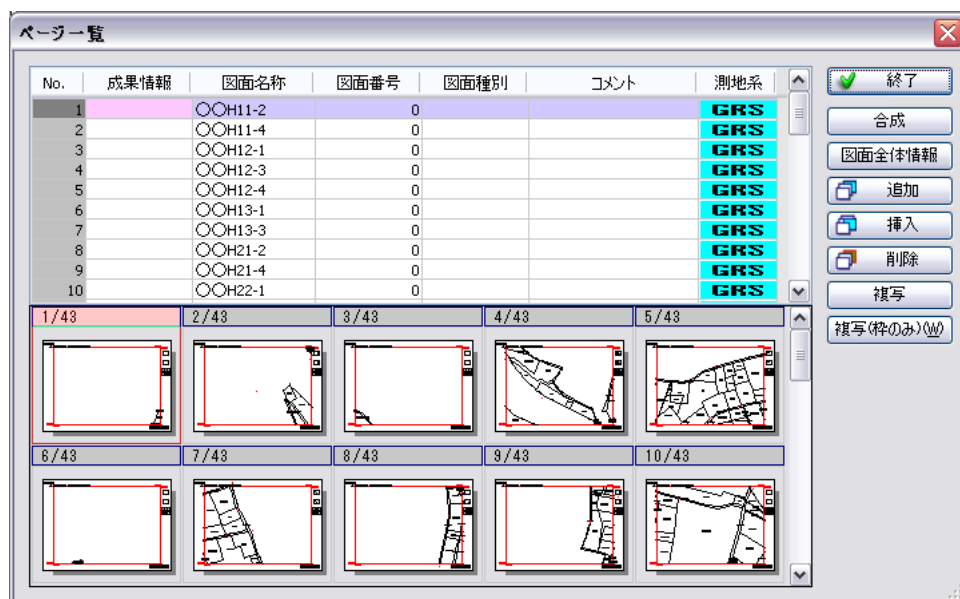
地籍図の一括作成を実行します。



地籍図が作成されます。

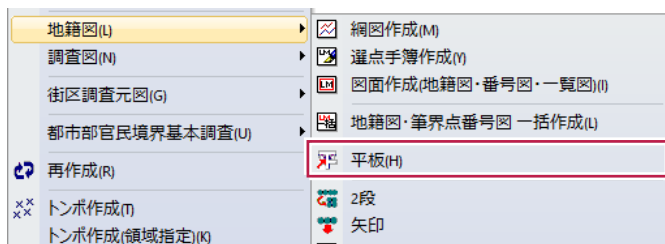


【ページ設定】で図面の作成が確認できます。



➤ 平板処理

地籍図⇔筆界点番号図を作成します。

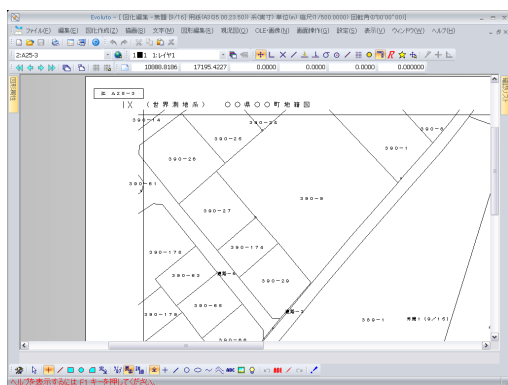


【図化作成】-【地籍図】-【平板】を指示します。

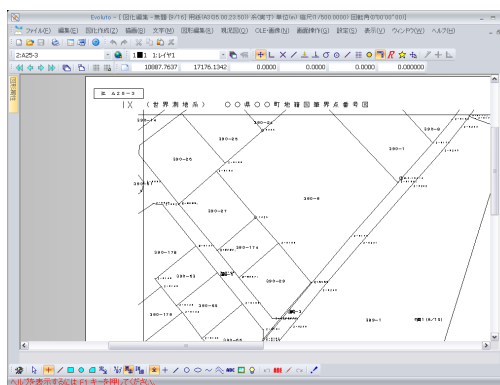
◇ 平板処理の設定



【地籍図】

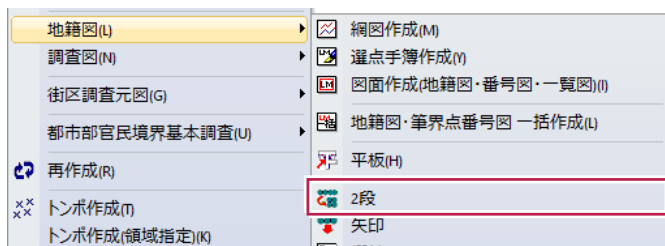


【筆界点番号図】

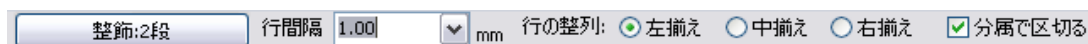


➤ **2 段処理**

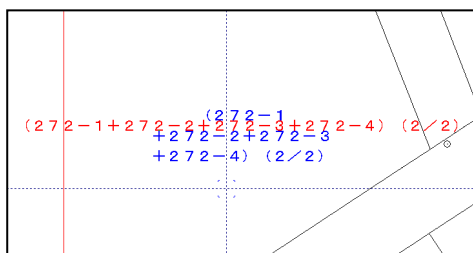
文字列の 2 段処理をおこないます。



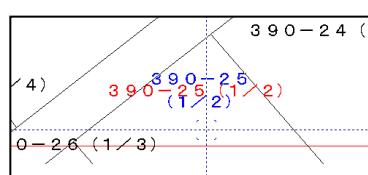
【図化作成】-【地籍図】-【2 段】を指示します。



【筆界未定地番】



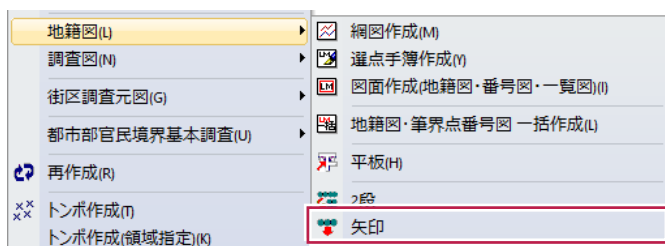
【地番分属記号】



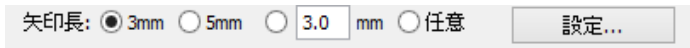
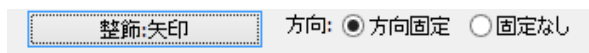
筆界未定地番の場合は、文字列の【+】と【()】を区切り文字として処理をおこないます。
 地番分属記号の場合は、文字列の【()】を区切り文字として処理をおこないます。

➤ **矢印処理**

文字列の矢印処理をおこないます。



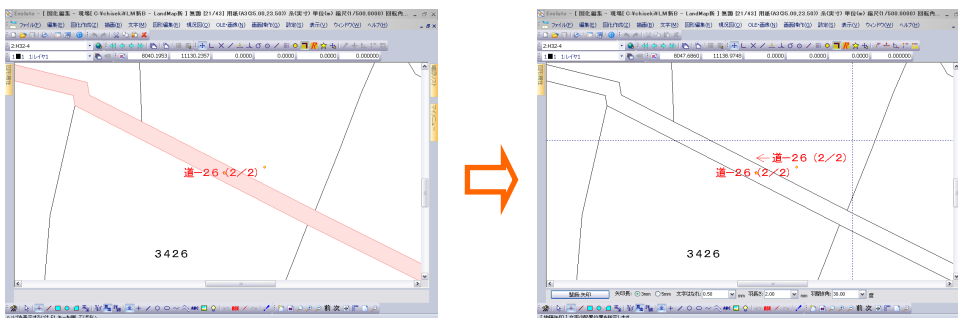
【図化作成】-【地籍図】-【矢印】を指示します。



方向・・・【方向固定】【固定なし】を選択します。
 矢印長・・・矢印長を設定します。
 設定・・・矢印の形状(羽長さ・羽開き角)、文字はなれ・点離れを mm 単位で設定します。



長狭物(道・水)等で文字回転配置できない場合には【矢印】処理をおこないます。



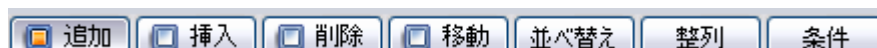
対象の文字を選択し、矢印位置をマウス指示して配置します。
文字を選択すると、画地が強調表示されます。

➤ 欄外処理

文字列の欄外処理をおこないます。



【図化作成】-【地籍図】-【欄外】を指示します。



◇ 欄外の対象と領域

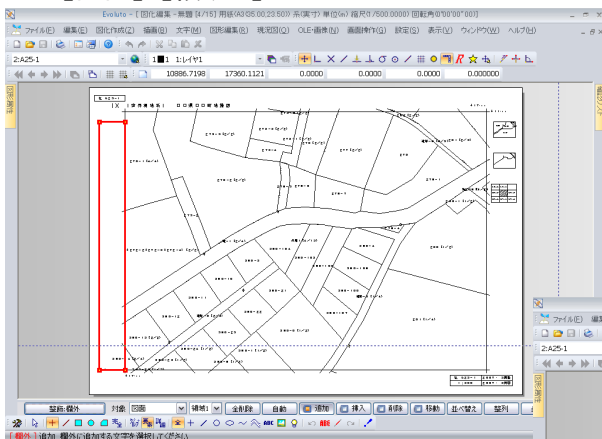
欄界の対象は 3 箇所あり、各々領域があります。

- 【図面】
- 【地番区域見出し図】
- 【精度区分見出し図】

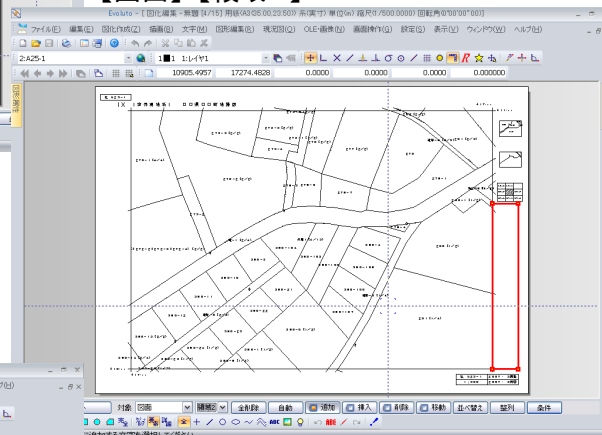


【条件】で位置と文字詳細の設定をおこないます。

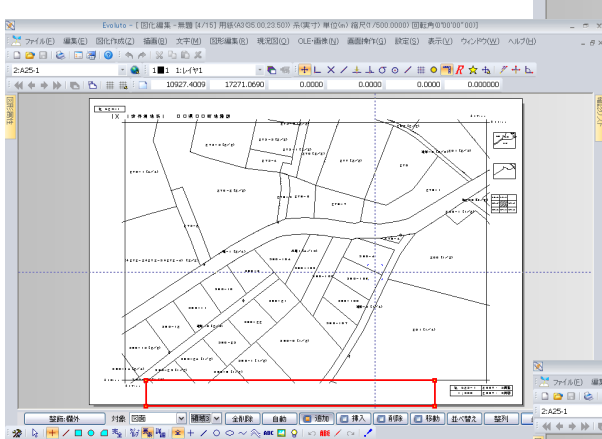
【図面】-【領域 1】



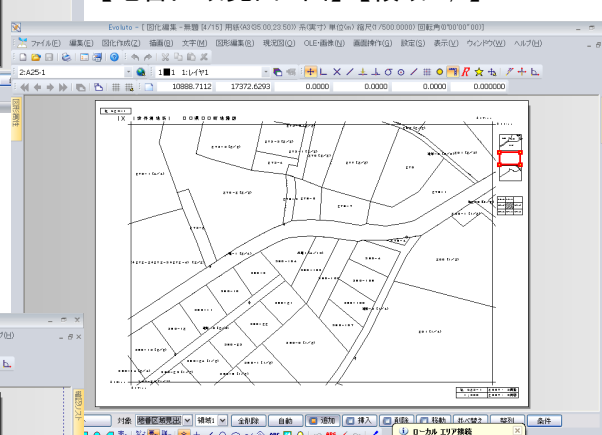
【図面】-【領域 2】



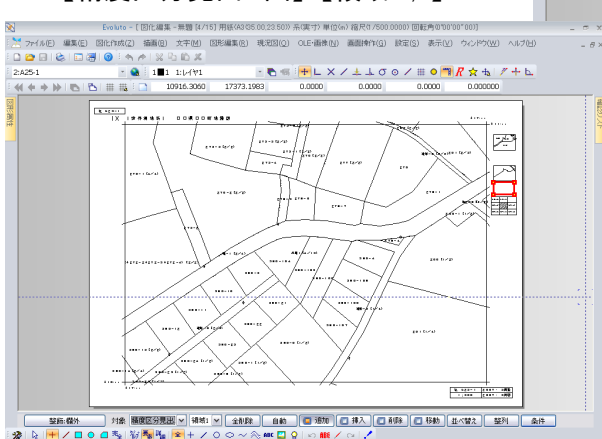
【図面】-【領域 3】



【地番区域見出し図】-【領域 1,2】

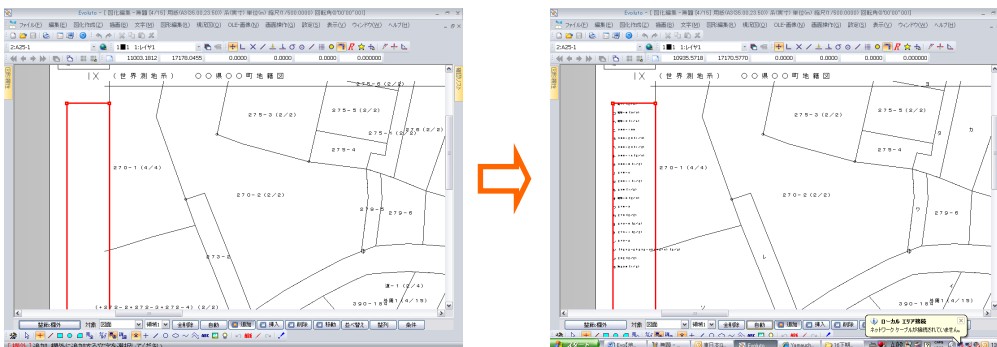


【精度区分見出し図】-【領域 1,2】



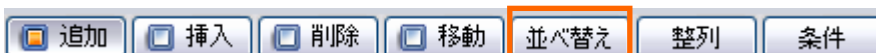
◇ 自動処理

条件にもとづき、【自動】で欄外処理を自動で行います。



◇ 並べ替え

欄外処理された地番は、【並べ替え】で並べ替えをおこないます。



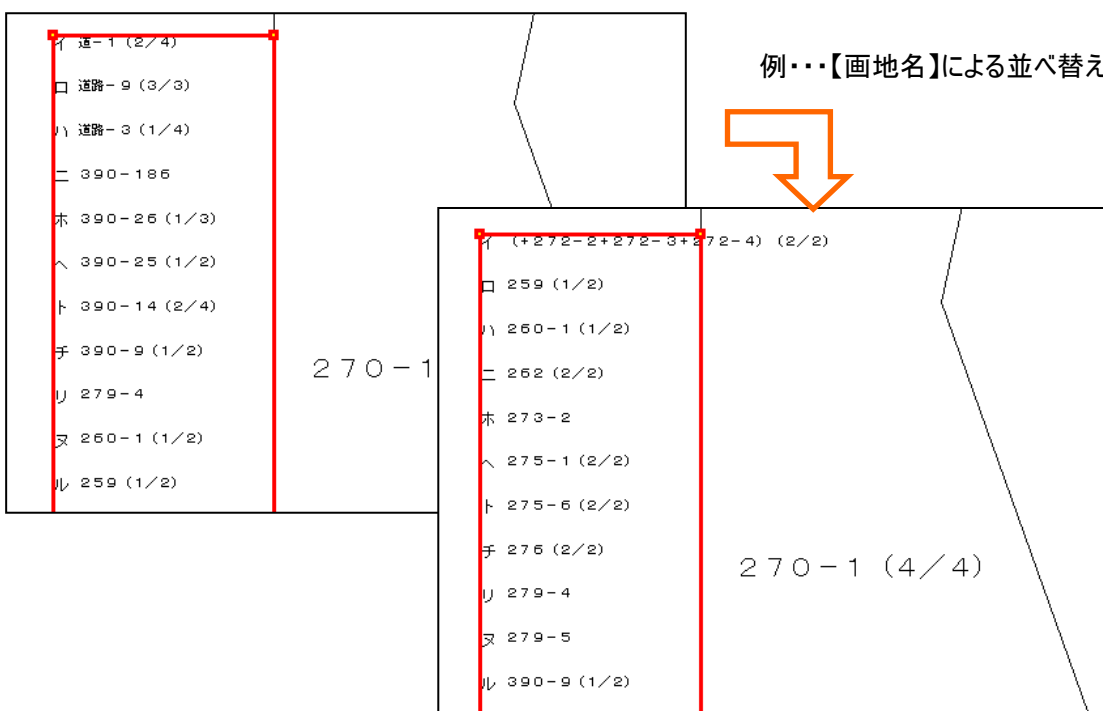
並べ替えの方法を選択します。

【画地名】

【X座標】

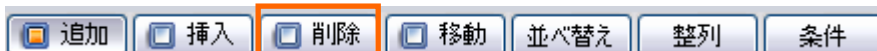
【Y座標】

【図郭に沿った並び】

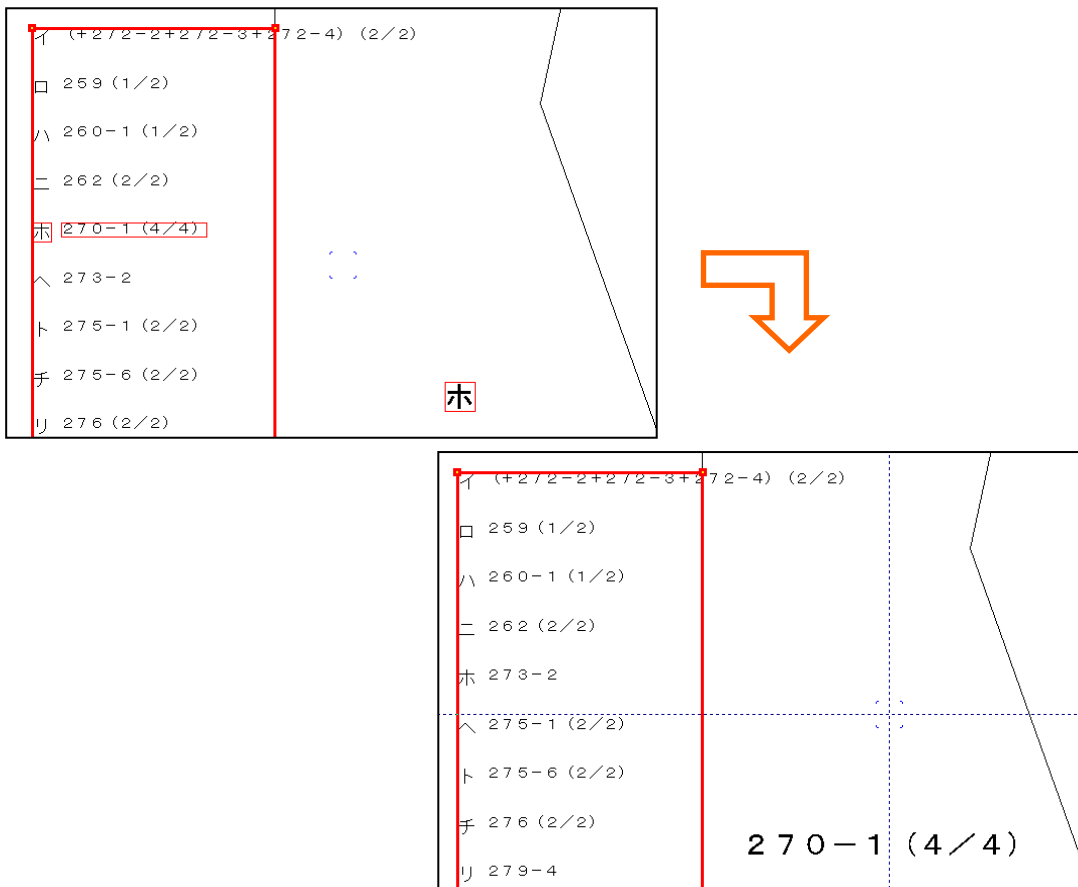


◇ 削除

欄外処理された地番は、【削除】で削除することができます。

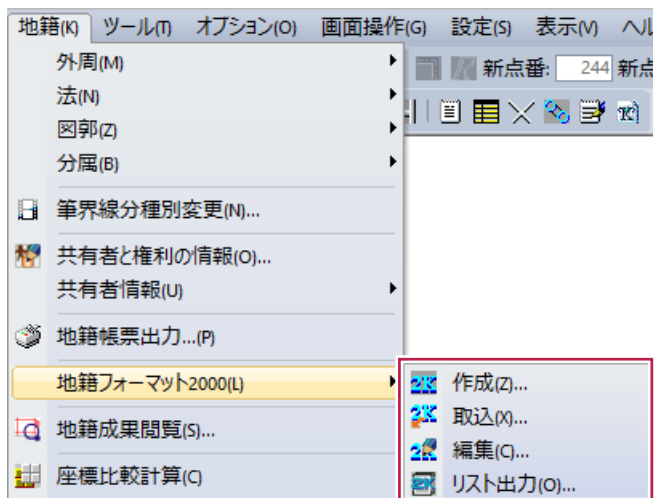


欄外情報を削除した場合は、図面上に地番が復元され、符号の並べ替えを自動で行います。



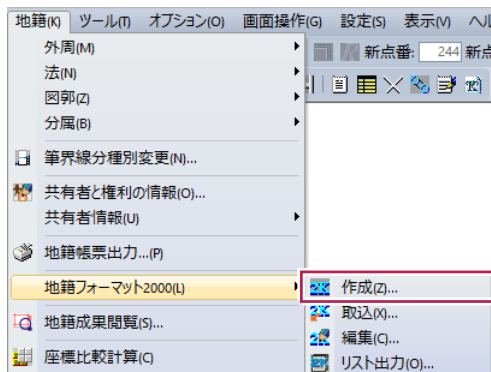
● 第 13 章 地籍フォーマット 2000 作成

地籍フォーマット 2000 のファイルを作成・編集をおこないます。

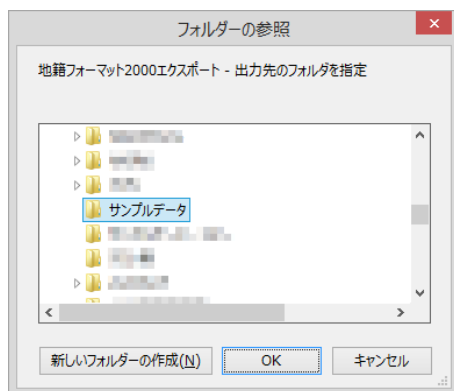


➤ 地籍フォーマット 2000 のファイル作成

地籍フォーマット 2000 の各ファイルを作成します。

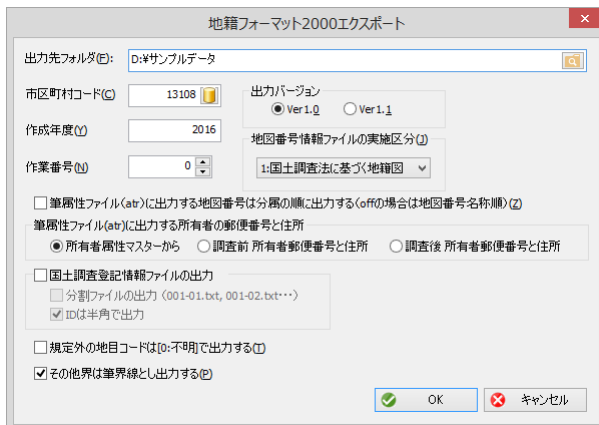


【地籍】-【地籍フォーマット 2000】-【作成】を指示します。



ファイルをエクスポートする【フォルダ】を参照(新規作成)します。

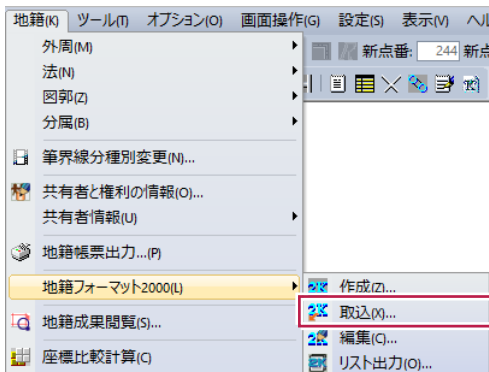




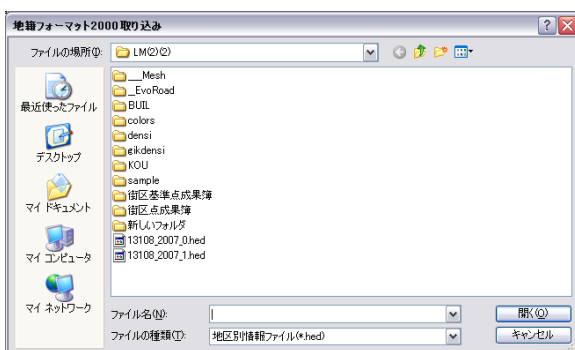
各項目を設定して、[OK]をクリックします。
ファイルが出力されます。

➤ 地籍フォーマット 2000 のファイル取込

地籍フォーマット 2000 の各ファイルを取り込みます。



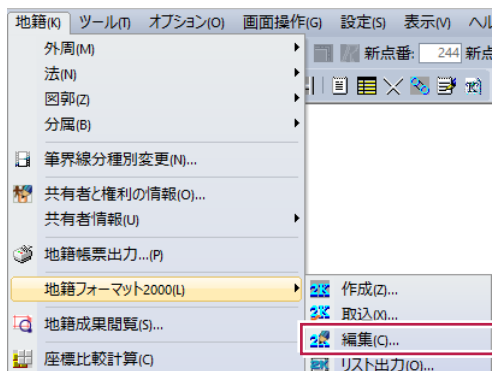
【地籍】-【地籍フォーマット 2000】-【取込】を
指示します。



取り込み先のフォルダを指定し、ヘッダファイル(hed)
を選択することにより取り込みを行います。

➤ **地籍フォーマット 2000 のファイル編集**

地籍フォーマット 2000 の各ファイルを編集します。



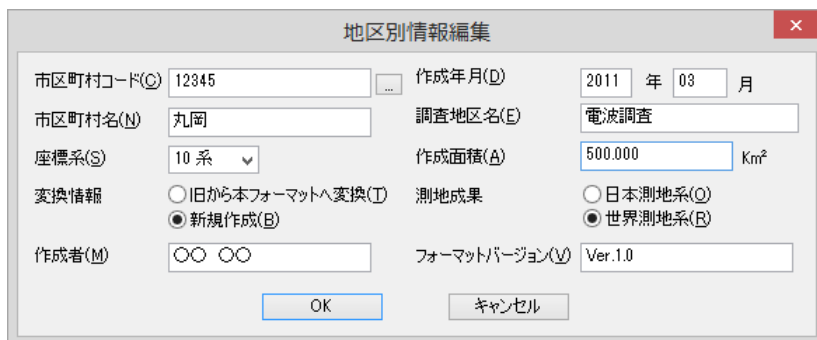
【地籍】-【地籍フォーマット 2000】-【編集】を指示します。



編集するファイルは以下の通りです。

- 【地区別情報(hed)】
- 【地図番号情報(map)】
- 【境界点情報(pnt)】
- 【筆属性情報(atr)】
- 【共有者情報(cos)】
- 【筆界未定構成筆属性情報(und)】
- 【図根点情報(icp)】
- 【国土調査登記情報(txt)】

【地区別情報(HED)】



【地図番号情報(MAP)】

地籍フォーマット2000 図郭情報編集

実行 終了

No	地図番号	縮尺	図郭左下X座標	図郭左下Y座標	図郭左上X座標	図郭左上Y座標
1	江A0014-4	2:500	11000.000	16975.000	11125.000	16975.000
2	江A0015-3	2:500	11000.000	17150.000	11125.000	17150.000
3	江A0024-2	2:500	10875.000	16975.000	11000.000	16975.000
4	江A0024-3	2:500	10750.000	16800.000	10875.000	16800.000
5	江A0024-4	2:500	10750.000	16975.000	10875.000	16975.000
6	江A0025-1	2:500	10875.000	17150.000	11000.000	17150.000
7	江A0025-2	2:500	10875.000	17325.000	11000.000	17325.000
8	江A0025-3	2:500	10750.000	17150.000	10875.000	17150.000
9	江A0025-4	2:500	10750.000	17325.000	10875.000	17325.000

【筆界点情報(PNT)】

地籍フォーマット2000 筆界点情報編集

実行 終了

No	筆界点名	X座標	Y座標	標高	筆界点の区分	標識区分	材質区分
1	1-0001	10794.537	16974.063	0.000	1:筆界点	0:不明	0:不明等
2	1-0003	10792.755	16970.307	0.000	1:筆界点	0:不明	0:不明等
3	1-0004	10806.355	16971.382	0.000	1:筆界点	0:不明	0:不明等
4	1-0006	10819.679	16971.084	0.000	1:筆界点	0:不明	0:不明等
5	1-0008	10833.808	16971.714	0.000	1:筆界点	0:不明	0:不明等
6	1-0010	10837.747	16972.873	0.000	1:筆界点	0:不明	0:不明等
7	1-0010*	10837.857	16972.465	0.000	1:筆界点	0:不明	0:不明等
8	1-0013	10828.008	17007.722	0.000	1:筆界点	0:不明	0:不明等
9	1-0014	10807.352	16999.494	0.000	1:筆界点	0:不明	0:不明等

【筆属性情報(ATR)】

地籍フォーマット2000 筆属性情報編集

実行 終了

No	行種別	大字コード	小字コード	大字名称	小字名称	地番	精度区分	図解法
1	0:筆属性	1	1	山川	風波	277	1:甲1	2:数値法 4:
2	0:筆属性	1	1	山川	風波	278	1:甲1	2:数値法 4:
3	0:筆属性	1	1	山川	風波	279-1	1:甲1	2:数値法 4:
4	0:筆属性	1	1	山川	風波	279-5	1:甲1	2:数値法 4:
5	0:筆属性	1	1	山川	風波	279-6	2:甲2	2:数値法 4:
6	0:筆属性	1	1	山川	風波	279-7	2:甲2	2:数値法 4:
7	0:筆属性	1	1	山川	風波	392-1	2:甲2	2:数値法 4:
8	0:筆属性	1	1	山川	風波	1794	2:甲2	2:数値法 4:

【共有者情報(COS)】

地籍フォーマット2000 共有者情報編集

実行 終了

No	行種別	大字コード	小字コード	大字名称	小字名称	地番	所有者レコード数
1	0:筆	1	1	山川	風波	261	2
2	0:筆	1	1	山川	風波	263	3
3	0:筆	1	1	山川	風波	269	3
4	0:筆	1	2	山川	里村	281	2
5	0:筆	1	2	山川	里村	284	3
6							

No	行種別	所有者コード	所有者名カナ	所有者	郵便番号	住所	持分分子	持分母	備考
1	1:共有者	28		片山		〇〇県〇〇 1	3		
2	1:共有者	5		花田		〇〇県〇〇 1	3		

【筆界未定構成筆属性情報(UND)】

地籍フォーマット2000 筆界未定構成筆属性情報編集

実行 終了

No	行種別	未定大字コード	未定小字コード	未定仮地番	未定地番数
1	0:未定地番	1	2	筆界未定地- 1	0
2					

No	行種別	大字コード	小字コード	大字名称	小字名称	地番	筆状態	一筆地調査年月	地目
1									

【図根点情報(TCP)】

地籍フォーマット2000 図根点等情報編集

実行 終了

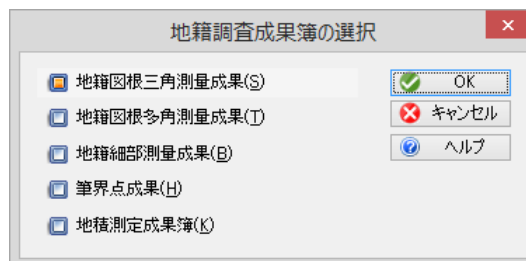
No	図根点名称	X座標	Y座標	標高	図根点種別	図根点の等級または次数
1	H003	9317.641	10654.376	0.000	4:地籍図根三角点	0:不明
2	H0033-4-A	8482.267	10885.547	4.190	6:細部図根点	0:不明
3	H004	8427.345	11052.800	0.000	4:地籍図根三角点	0:不明
4	H0044-2-A	8381.856	11197.201	5.739	6:細部図根点	0:不明
5	H0054-2-A	8037.890	11144.304	-2.602	6:細部図根点	0:不明
6	H0055-3-A	7952.880	11464.265	10.038	6:細部図根点	0:不明
7	H0055-4-A	7865.898	11523.767	10.347	6:細部図根点	0:不明
8	H00H00111-1	8454.392	11053.053	0.000	5:地籍図根多角点	0:不明
9	H00H00111-2	8509.817	11119.088	0.000	5:地籍図根多角点	0:不明

➤ 地籍調査成果ファイル出力

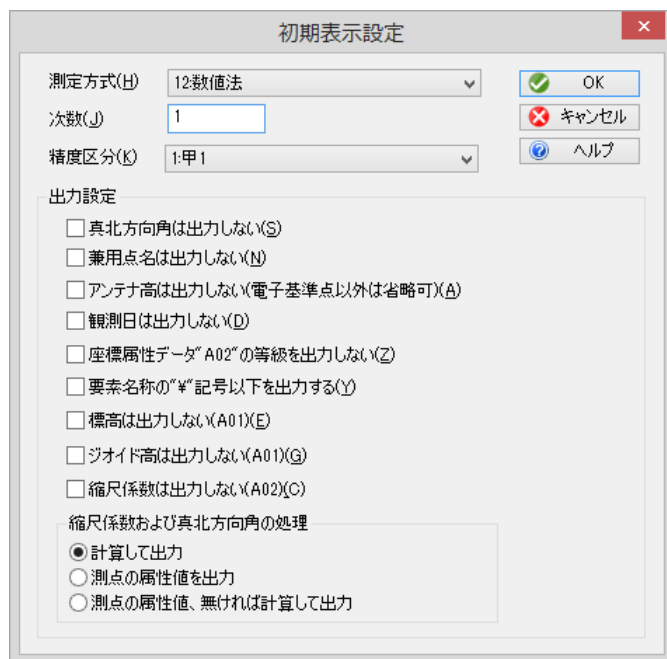
地籍調査成果ファイルを作成します。



地籍調査成果簿の形式を選択します。



ファイル作成の初期設定は以下の通りです。



地籍調査成果電子納品に基づき、成果簿(txt)を作成します。